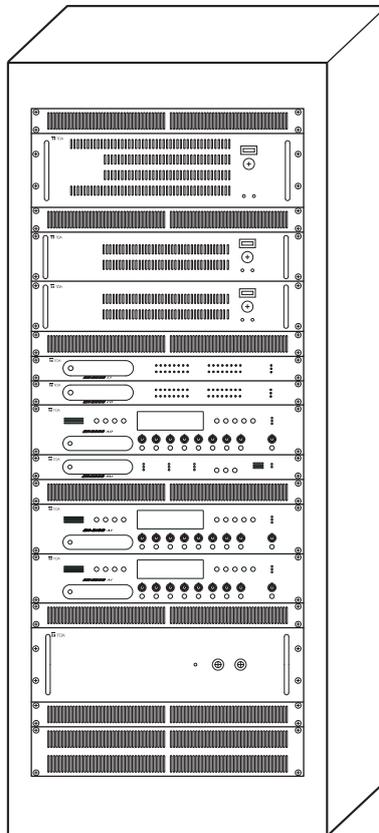




# 設置説明書

## スマートマトリクスシステム

### SX-2000 シリーズ



このたびは、TOA スマートマトリクスシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
正しくご使用いただくために、必ずこの設置説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

# 目次

## 各部の名称とはたらき

システムマネージャー SX-2000SM	5
音声入力ユニット SX-2000AI	9
音声入力ユニット SX-2100AI	14
音声出力ユニット SX-2000AO	19
制御入力ユニット SX-2000CI	25
制御出力ユニット SX-2000CO	27
リモートマイク RM-200SA	29
リモートマイク拡張ユニット RM-210	32
RJ45 端子盤 RM-200RJ	33
別売モジュール	
RM モジュール SX-200RM	34
マイク/ラインインプットモジュール D-921E	35
マイク/ラインインプットモジュール D-921F	35
マイク/ラインインプットモジュール D-922E	36
マイク/ラインインプットモジュール D-922F	36
ステレオインプットモジュール D-936R	37

## 設置のしかた

### SX-2000SM

システムリセットの有効/無効の設定 (DIP スイッチ 3 を操作)	38
故障リセットの操作方法の設定 (DIP スイッチ 4 を操作)	39

### SX-2000AI、SX-2100AI

モジュールの取り付けかた	40
機器番号の設定	41
制御出力の出力形式を変更するとき (SX-2100AI のみ)	42

### SX-2000AO

機器番号の設定	44
非常断 24 V 入力の設定 (DIP スイッチ 8 を操作)	45
出力をトランス出力にするとき	46

### SX-2000CO

緊急一斉放送時に制御出力を ON にする方法	49
------------------------	----

ラックへの取り付けかた	51
-------------	----

### RM-200SA、RM-210

RM-200SA の機器番号の設定 (DIP スイッチ 1~3 を操作)	52
入力感度の調節 (DIP スイッチ 4 を操作)	53
CPU オフ機能 (緊急一斉放送) の設定 (DIP スイッチ 5 を操作)	54
RM 通信機能の設定 (DIP スイッチ 6 を操作)	54
外部マイクを使用するとき	55
コンプレッサー機能の設定	57
マイク故障検知機能の設定	58
RM-200SA と RM-210 の連結のしかた (卓上設置のとき)	59
壁掛け設置のしかた	60
リモートマイクの表示ラベルの取り付け	62

システム構成例	
システム構成例 1	66
システム構成例 2	67
接続のしかた	
着脱式ターミナルプラグの接続	68
電源の接続 (SX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AO、SX-2000CI、SX-2000CO)	
電源の二重化をする場合	69
電源の二重化をしない場合	70
入力機器の接続	
SX-200RM と RM-200SA の接続および RM-200RJ の接続	71
その他入力機器の接続	74
出力機器の接続	
SX-2000AO とパワーアンプとの接続	76
制御入出力の接続	
SX-2000SM	77
SX-2100AI	79
SX-2000AO	82
SX-2000CI	85
SX-2000CO	86
SX リンクの接続	87
スイッチングハブの二重化をする場合	88
スイッチングハブの二重化をしない場合	89
CI/CO リンクの接続	
SX-2000CI または SX-2000CO を 1 台接続する場合	90
SX-2000CI と SX-2000CO を 1 台ずつ接続する場合	90
アナログリンクの接続	91
制御ラインの故障検知をする場合の接続	92
非常用システムとの組み合わせ	
スピーカーもアンプも別系統の場合	93
スピーカーは共通でアンプは別系統の場合	94
スピーカーもアンプも共通の場合 (1)	95
スピーカーもアンプも共通の場合 (2)	96
CF カードを挿入する	
設定データの使いかた	98
CF カードの挿入のしかた (SX-2000SM の DIP スイッチ 2 を操作)	98
時刻設定をする	99
キーロックの設定と解除	
SX-2000AI、SX-2100AI (DIP スイッチ 1 を操作)	100
SX-2000AO (DIP スイッチ 1 を操作)	101
履歴データの取り込み (SX-2000SM の DIP スイッチ 1、2 を操作)	102

## 異常表示

SX-2000SM	103
SX-2000AI、SX-2100AI	104
SX-2000AO	106
SX-2000CI	108
SX-2000CO	108
RM-200SA	108

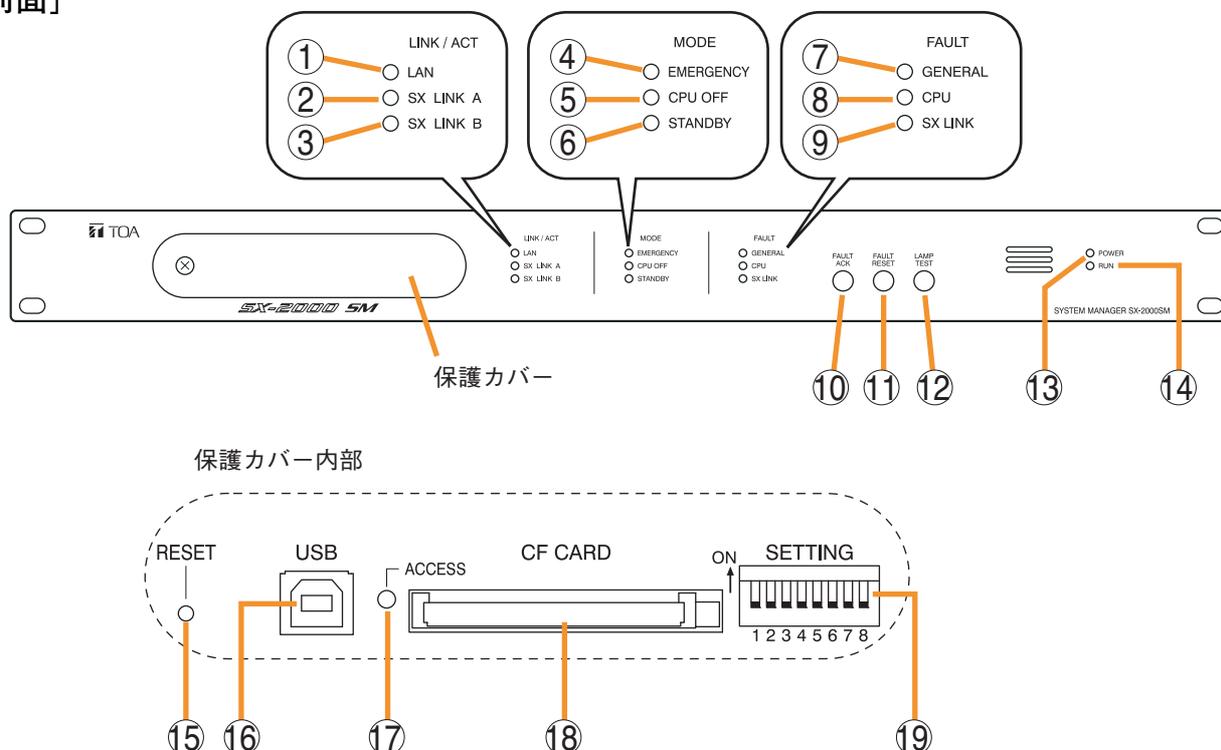
## 仕 様

システムマネージャー SX-2000SM	109
音声入力ユニット SX-2000AI	111
音声入力ユニット SX-2100AI	112
音声出力ユニット SX-2000AO	113
制御入力ユニット SX-2000CI	114
制御出力ユニット SX-2000CO	115
リモートマイク RM-200SA	116
リモートマイク拡張ユニット RM-210	117
RJ45 端子盤 RM-200RJ	117
RM モジュール SX-200RM	117
マイク/ラインインプットモジュール D-921E	118
マイク/ラインインプットモジュール D-921F	118
マイク/ラインインプットモジュール D-922E	119
マイク/ラインインプットモジュール D-922F	119
ステレオインプットモジュール D-936R	120
スマートマトリクス IP モジュール SX-200IP	120

# 各部の名称とはたらき

## ■ システムマネージャー SX-2000SM

[前面]



### 1. LAN 表示灯 [LAN] (緑)

後面の LAN 接続端子が接続されると点灯し、LAN 通信中は点滅します。

### 2. SX LINK A 表示灯 [SX LINK A] (緑)

後面の SX リンク A 端子が接続されると点灯し、SX リンク A での通信中は点滅します。

### 3. SX LINK B 表示灯 [SX LINK B] (緑)

後面の SX リンク B 端子が接続されると点灯し、SX リンク B 上での通信中は点滅します。

### 4. EMERGENCY 表示灯 [EMERGENCY] (赤)

緊急一斉放送中 (P. 54) または緊急放送中に点灯します。

システム内のいずれかの SX-2000AO に非常断 24 V\*が発生したときに点滅します。

\* SX-2000 システムは、非常音声入力を制御するための非常断 24 V 入力端子を SX-2000AO 後面に備えています。他の非常用システムと組み合わせて使用する場合、通常はこの端子に DC24 V を供給し、非常時に DC24 V 入力を断つこと (非常断 24 V) により SX-2000 システムの業務放送を停止して他のシステムの非常用に切り換わります。(詳しくは、P. 45、P. 93 をお読みください。)

### 5. CPU OFF 表示灯 [CPU OFF] (赤)

緊急一斉放送中 (CPU オフ状態) に点灯します。  
(P. 54)

### 6. STANDBY 表示灯 [STANDBY] (緑)

SX-2000 設定ソフトウェアによるシステムリセットができなかったときに点灯します。この表示灯が点灯した場合、ご使用の SX-2000SM はソフトウェアからの再起動ができない仕様になっています。システムリセットをしたいときは、保護カバー内のリセットキー (15) を押して再起動してください。

### 7. GENERAL 表示灯 [GENERAL] (黄)

緊急一斉放送中 (P. 54) または SX-2000SM に異常のあるときに点灯します。システムに異常のあるときに点灯または点滅します。

### 8. CPU 表示灯 [CPU] (黄)

緊急一斉放送中 (P. 54) または SX-2000SM に異常のあるときに点灯します。

### 9. SX LINK 表示灯 [SX LINK] (黄)

後面の SX リンク A/B 端子のどちらにも接続されていないときに点滅します。

**10. FAULT ACK キー [FAULT ACK]**

SX-2000 システム内で異常があるとき、ブザーが鳴る場合があります。このキーを押すことで、ブザーを止めることができます。

**11. FAULT RESET キー [FAULT RESET]**

このキーを押すことで、SX-2000 システム全体の異常情報（ブザーおよび表示灯）が一旦リセットされます。

操作モードを DIP スイッチ 4（19）で設定します。

**12. ランプテストキー [LAMP TEST]**

SX-2000SM 前面の各表示灯のテスト用キーです。このキーを押している間は、MODE と FAULT のすべての表示灯（4）～（9）が点灯し、ブザーが鳴ります。

**13. 電源表示灯 [POWER]（青）**

電源を入れると点灯します。

**14. RUN 表示灯 [RUN]（緑）**

通常は点滅しています。

緊急一斉放送中（P. 54）は消灯します。

**15. リセットキー [RESET]**

このキーを押すと、SX-2000SM を再起動します。SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AO を含め、システム全体が再起動されます。

**ご注意**

- 再起動すると、現在行われている放送は停止します。
- 1 秒以上押し続けしないでください。本機が動作しなくなります。動作しなくなったときは、リセットキーを押す時間が 1 秒以内になるように押し直してください。

**16. USB 端子 [USB]**

使用しません。

**17. CF カードアクセス表示灯 [ACCESS]（緑）**

CF カードへの読み書き中に点滅します。

**ご注意**

点滅中は、CF カードの抜き差しや DIP スイッチ（19）の操作は行わないでください。

**18. CF カードスロット [CF CARD]**

設定データの運用、履歴データのカードへの書き込みのときに、CF カードを挿入するスロットです。

※ CF カードの挿入のしかた Ⅱ☞ P. 98

履歴データの取り込みかた Ⅱ☞ P. 102

**ご注意**

CF カードを抜き差しするためには、DIP スイッチの設定が必要です。

DIP スイッチを正しく設定しないで CF カードを抜き差しすると、設定データや CF カードが破損する可能性があります。

**19. DIP スイッチ [SETTING]****● DIP スイッチ 1**

履歴データの取り込みを行います。

（Ⅱ☞ P. 102）

ON : CF カードに履歴データが取り込まれます。

OFF : 通常は OFF で使用します。

**● DIP スイッチ 2**

CF カードのアクセス設定を行います。

（Ⅱ☞ P. 98）

ON : CF カードへのアクセスを停止します。

OFF : 通常は OFF で使用します。

**● DIP スイッチ 3**

SX-2000 設定ソフトウェアを使用してオンラインで制御できるかどうかを設定します。

（Ⅱ☞ P. 38）

ON : オンラインでの設定データの書き込みとシステムリセットを禁止します。

OFF : 通常は OFF で使用します。

**● DIP スイッチ 4**

FAULT RESET キー（11）で異常情報（ブザーおよび表示灯）をリセットするときの操作方法を設定します。（Ⅱ☞ P. 39）

FAULT RESET キーによる操作と同様に、情報入力端子（26）の RES 端子をここで設定されたタイミングで短絡することにより異常情報をリセットすることができます。

ON : 誤操作防止モードになります。

OFF : ワンタッチモードになります。

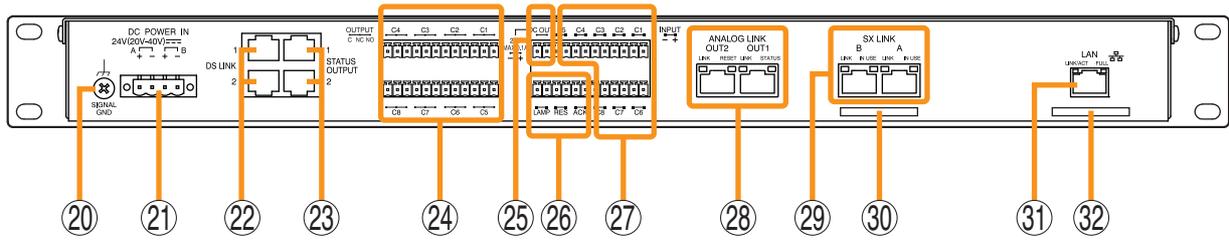
（各モードでの操作方法 Ⅱ☞ 別冊の操作説明書「故障検知機能の使いかた」）

**● DIP スイッチ 5～8**

使用しません。

※ 工場出荷時は、DIP スイッチ 1～8 はすべて OFF に設定されています。

[後面]



20. 機能アース端子 [SIGNAL GND]

本機に外部機器を接続してノイズが多いときは、この端子と外部機器の機能アース端子を接続してください。ノイズが少なくなることがあります。  
※ 安全アースではありません。

21. DC 電源入力端子 [DC POWER IN]

別売の直流電源パネルを接続します。DC 電源は、接続するシステムの消費電流値を考慮して選定します。電源の二重化\*をしない場合、A 入力と B 入力の+端子と-端子をそれぞれ接続してください。( P. 69、P. 70)

\* 別々の電源を各電源入力に接続する、または常用電源とバックアップ電源を接続することにより、断線や停電によるシステムダウンを防ぐ方法。

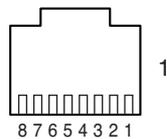
22. DS リンク端子 [DS LINK]

使用しません。

23. 状態出力端子 [STATUS OUTPUT]

リレーを用いたメイク接点出力です。リレーの接点定格は、耐電圧：DC40 V、制御電流：2 mA～300 mA です。出力数 4 RJ45 コネクタのピン配置は、以下のとおりです。

[上段]



4 pin	3 pin	2 pin	1 pin
未使用	CPU FAULT	CPU FAULT	CPU FAULT
	NC	NO	COM

8 pin	7 pin	6 pin	5 pin
GENERAL FAULT	GENERAL FAULT	未使用	GENERAL FAULT
NC	NO		COM

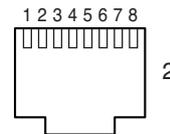
● CPU FAULT

CPU 異常発生中 : 1 pin - 2 pin 短絡  
正常 : 1 pin - 3 pin 短絡

● GENERAL FAULT

何らかの異常が発生中 : 5 pin - 7 pin 短絡  
正常 : 5 pin - 8 pin 短絡

[下段]



1 pin	2 pin	3 pin	4 pin
BUZZER	BUZZER	BUZZER	未使用
COM	NO	NC	

5 pin	6 pin	7 pin	8 pin
CPU OFF	未使用	CPU OFF	CPU OFF
COM		NO	NC

● BUZZER

ブザー発生中 : 1 pin - 2 pin 短絡  
未発生 : 1 pin - 3 pin 短絡

● CPU OFF

RM-200SA から緊急一斉放送中 : 5 pin - 7 pin 短絡  
未発生 : 5 pin - 8 pin 短絡

[RJ45 コネクタのピン No. と線色]

RJ45 ピン No.	線色 (T568B の場合)	線色 (T568A の場合)
①	橙/白	緑/白
②	橙	緑
③	緑/白	橙/白
④	青	青
⑤	青/白	青/白
⑥	緑	橙
⑦	茶/白	茶/白
⑧	茶	茶
Shield	—	—

24. 制御出力端子 [OUTPUT C1～C8]

リレーを用いたメイク接点出力です。リレーの接点定格は、耐電圧：DC40 V、制御電流：2 mA～300 mA です。この端子は、SX-2000 設定ソフトウェアにより制御されます。(別冊のソフトウェア取扱説明書「パターン設定」)

25. DC24 V 出力端子 [DC OUT]

外部機器に DC24 V を 100 mA まで給電できます。

26. 情報入力端子 [ACK/RES/LAMP]

フォトカプラー入力です。  
短絡時は約 2 mA の電流が流れ、開放時の電圧は約 DC24 V になります。

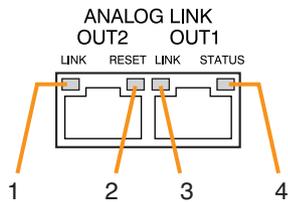
- ACK  
SX-2000SM に異常があるとき、ブザーが鳴る場合があります。この端子を短絡することで、ブザーを止めることができます。  
ACK 入力短絡中の故障発生は、自動的に受理になります。  
前面の FAULT ACK キー (10) と同じはたらきをします。
- RES  
DIP スイッチ 4 (19) の設定に応じてこの端子を短絡することで、SX-2000SM の異常情報 (ブザーおよび表示灯) が一旦リセットされます。  
前面の FAULT RESET キー (11) と同じはたらきをします。
- LAMP  
SX-2000SM 前面の各表示灯のテスト用です。  
ON にしている間は MODE と FAULT のすべての表示灯 (4) ~ (9) が点灯し、ブザーが鳴ります。

27. 制御入力端子 [INPUT C1 ~ C8]

フォトカプラー入力です。  
短絡時は約 2 mA の電流が流れ、開放時の電圧は約 DC24 V になります。  
SX-2000 設定ソフトウェアを使ってこの端子に各種機能を割り当てることができます。(別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」)

28. アナログリンク出力端子 [ANALOG LINK OUT 1/2]

SX-2000AI、SX-2100AI、または SX-2000AO のアナログリンク入力端子に接続します。



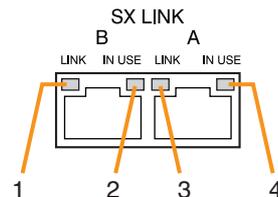
	機能	LED 点灯	LED 消灯
1	OUT2 接続確認	接続 OK	未接続
2	OUT RESET 出力	RESET 中	正常
3	OUT1 接続確認	接続 OK	未接続
4	OUT STANDBY 起動出力	起動	正常

29. SX リンク端子 [SX LINK A/B]

システム構成用の端子です。  
SX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AO の SX リンク端子をスイッチングハブを介して接続します。SX LINK A、B それぞれを同じスイッチングハブまたはスター接続された異なるスイッチングハブに接続してください。

【ご注意】

- 必ず A、B 端子とも接続してください。
  - 接続後、リセットキーを押して、SX-2000SM を再起動させてください。
- ※ スwitchングハブについては、当社営業所にお問い合わせください。



	機能	LED 点灯/点滅	LED 消灯
1	B 接続確認	接続 OK	未接続
2	B 動作中表示	動作中	未動作
3	A 接続確認	接続 OK	未接続
4	A 動作中表示	動作中	未動作

30. SX リンク用 MAC アドレス

本機の SX リンク用の MAC アドレスです。

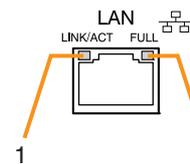
31. LAN 接続端子 [LAN]

動作履歴に記録する時刻を設定するときに使います。10BASE-T/100BASE-TX に対応したスイッチングハブに接続します。時刻設定はパソコンで行いますので、パソコンもスイッチングハブに接続してください。

【ご注意】

- スwitchングハブを LAN に接続しないでください。
- SX-2000SM を直接、パソコンにクロスケーブルで接続することはやめてください。

(本機の IP アドレスなどの設定は別冊のソフトウェア取扱説明書「基本設定」)



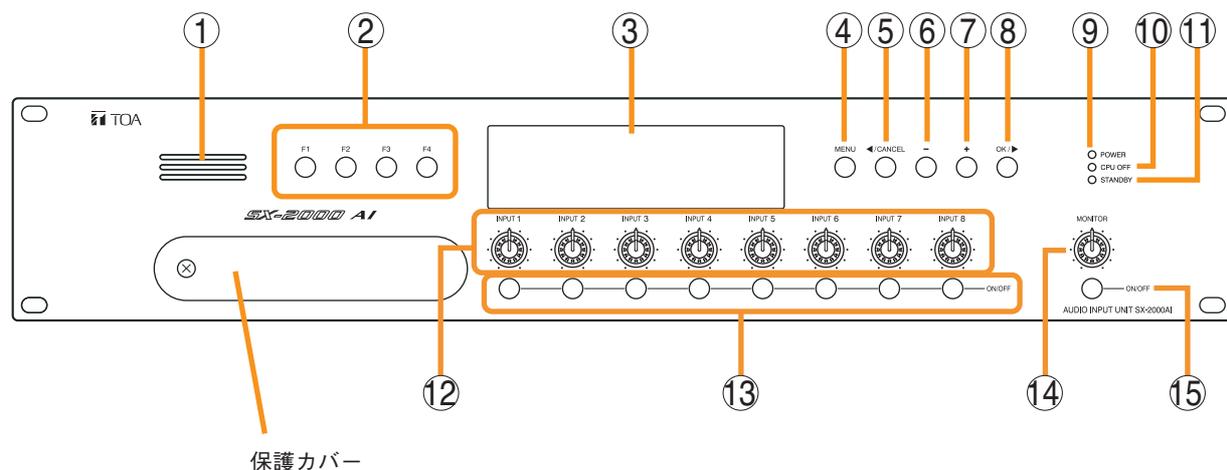
	機能	LED 点灯/点滅	LED 消灯
1	接続確認	接続 OK	未接続
2	全二重通信検出	検出	未検出

32. LAN 用 MAC アドレス

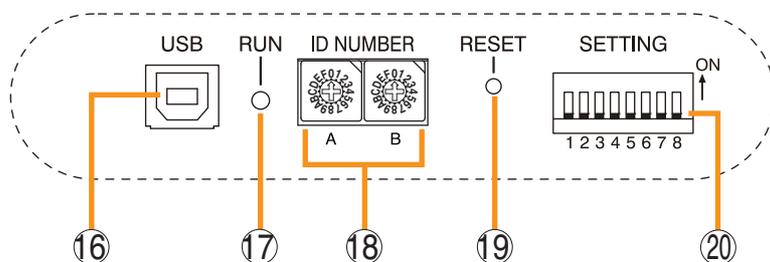
ネットワーク機器につけられた機器固有のアドレスで、12 桁の 16 進数で表現されています。

# ■ 音声入力ユニット SX-2000AI

[前面]



保護カバー内部



## 1. モニタースピーカー

任意の入力チャンネルをモニターすることができます。

## 2. 機能キー [F1、F2、F3、F4]

各キーを押すと、SX-2000設定ソフトウェアで割り当てた機能が実行できます。  
(別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」)

## 3. 蛍光表示部

デフォルトでは機器番号とファームウェアのバージョンが表示されます。



現在のSX-2000AIの動作状態や入力レベルなどが表示されます。(別冊の操作説明書「音声入力ユニットSX-2000AI」)

## 4. メニューキー [MENU]

このキーを押すと、蛍光表示部にメニュー画面が表示されます。メニューのどの画面が表示されているときでも、このキーを押すと、デフォルト表示に戻ります。

## 5. キャンセルキー [◀/CANCEL]

メニュー画面での移動に使用します。

## 6. マイナスキー [-]

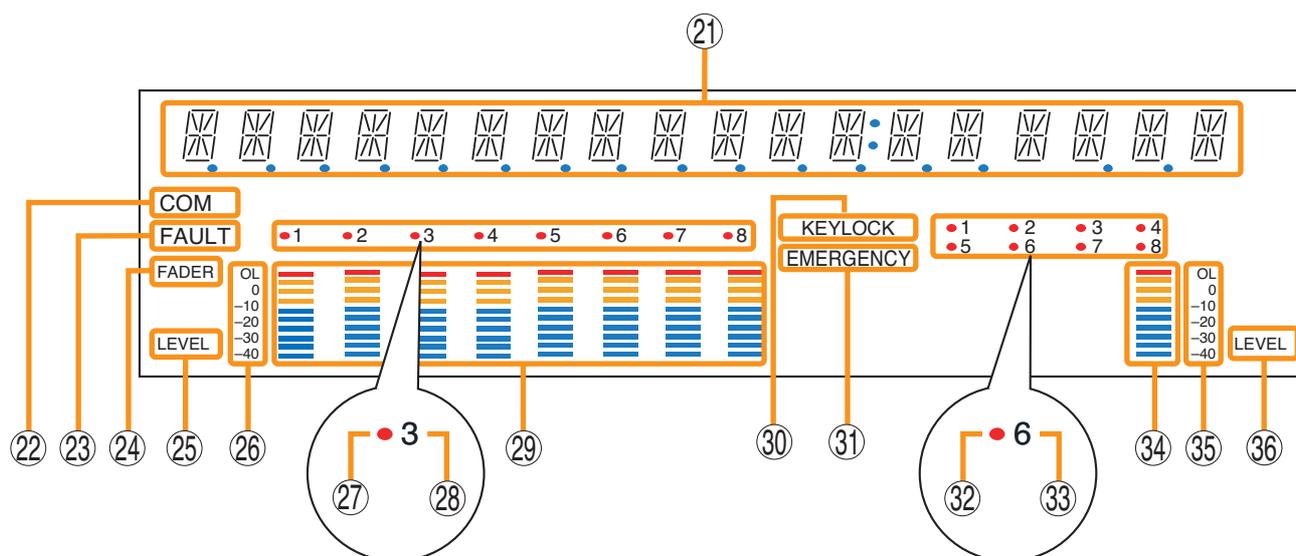
メニュー画面での移動に使用します。  
モニター ON/OFF キー (15) を ON にしたときは、マイナスキーを押して、モニターするチャンネルを選択します。チャンネル番号は、マイナスキーを押すごとに、大きい番号から順に小さい番号へ移動します。

## 7. プラスキー [+]

メニュー画面での移動に使用します。  
モニター ON/OFF キー (15) を ON にしたときは、プラスキーを押して、モニターするチャンネルを選択します。チャンネル番号は、プラスキーを押すごとに、小さい番号から順に大きい番号へ移動します。

8. OKキー [OK/▶]  
メニュー画面での移動に使用します。
9. 電源表示灯 [POWER] (青)  
電源を入れると点灯します。
10. CPU OFF 表示灯 [CPU OFF] (赤)  
緊急一斉放送中 (CPU オフ状態) に点灯します。  
([P. 54](#))
11. STANDBY 表示灯 [STANDBY] (緑)  
電源投入時または再起動時の初期化中は点灯します。  
蛍光表示部が消灯モードで消灯している状態のときに点滅します。
12. 入力音量つまみ [INPUT 1～8]  
各入力チャンネルの入力音量を調節できます。  
反時計方向いっぱいに戻すと、そのチャンネルの入力音源はミュートされ、蛍光表示部の入力 ON/OFF 表示 (28) が消灯します。  
SX-2000 設定ソフトウェアで入力チャンネルの音源のタイプを「緊急」に設定したときは、バイパスされます。(別冊のソフトウェア取扱説明書「システム設定」)
13. チャンネルキー [ON/OFF]  
各入力チャンネルを ON/OFF します。押すたびに ON/OFF が切り換わります。  
SX-2000 設定ソフトウェアで機能を割り当てることもできます。(別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」)  
SX-2000 設定ソフトウェアで入力チャンネルの音源のタイプを「緊急」に設定したときは、バイパスされます。(別冊のソフトウェア取扱説明書「システム設定」)
14. モニター音量つまみ [MONITOR]  
モニタースピーカー (1) の音量を調節できます。
15. モニター ON/OFF キー [ON/OFF]  
選択した入力チャンネルの音声モニター機能を ON/OFF します。押すたびに ON/OFF が切り換わります。
16. USB 端子 [USB]  
使用しません。
17. RUN 表示灯 [RUN] (緑)  
常時、点滅しています。
18. ID スイッチ [ID NUMBER]  
SX-2000AI の機器番号を設定することができます。(別冊 P. 41)
19. リセットキー [RESET]  
このキーを押すと、SX-2000AI が再起動します。  
**ご注意**
- 再起動すると、一部のゾーンまたはシステム全体の放送が停止します。
  - 1秒以上押し続けしないでください。本機が動作しなくなります。動作しなくなったときは、リセットキーを押す時間が1秒以内になるように押し直してください。
20. DIP スイッチ [SETTING]  
キーロックの設定を行います。(別冊 P. 100)
- DIP スイッチ 1  
ON : 前面パネルの入力音量つまみとチャンネルキーの操作を無効にします。  
OFF : キーロックを解除します。
  - DIP スイッチ 2～8  
使用しません。
- ※ 工場出荷時は、DIP スイッチ 1～8 はすべて OFF に設定されています。

## [蛍光表示部]



※ SX-2000 設定ソフトウェアで蛍光表示部の消灯タイマーを設定することができます。(別冊のソフトウェア取扱説明書「基本設定」)  
消灯タイマーが設定されている場合、5分以上SX-2000AIの操作を行わなかったときに蛍光表示部がすべて消灯し、STANDBY表示灯(11)が点滅します。前面パネルの機能キー以外のいずれかのキーを押すと、画面表示は復帰します。

## 21. テキスト表示部

各種機能キーを押すと、それぞれのメニュー画面や情報が表示されます。

## 22. COM表示 [COM]

通信異常時に点滅します。

## 23. FAULT表示 [FAULT]

システム故障、構成異常\*、通信異常時に点滅します。異常状態が解消されるまで、点滅し続けます。

\* システム機器の構成またはモジュールの構成が、SX-2000 設定ソフトウェアで設定された内容と異なるとき

## 24. 入力レベルメーター FADER表示 [FADER]

入力レベルメーターがSX-2000 設定ソフトウェアまたは入力音量つまみで設定された音量を表示しているときに点灯します。

## 25. 入力レベルメーター LEVEL表示 [LEVEL]

入力レベルメーターがSX-2000AIに入力されているレベルを表示しているときに点灯します。

## 26. 入力レベルメーター目盛り

## 27. 入力選択表示

モニターする入力チャンネルが赤色に点灯します。

## 28. 入力ON/OFF表示

チャンネルキーの状態を表示します。チャンネルキーに割り当てられた機能により、表示が異なります。

チャンネルキーの機能	ONのとき	OFFのとき
入力ON/OFF	点灯*	消灯
業務パターン放送の起動・終了	点滅	点灯

\* ただし、入力音量がミュートされているときは消灯。

## 29. 入力レベルメーター

各入力チャンネルの実際に入力されているレベル、または設定された音量値を表示します。

## 30. KEY LOCK表示 [KEY LOCK]

入力音量つまみとチャンネルキーがロックされているときに点灯します。  
(キーロックの設定と解除 P. 100)

## 31. EMERGENCY表示 [EMERGENCY]

SX-2000 システムが緊急放送状態のときに点灯します。

## 32. リモートマイク放送状態表示

リモートマイクRM-200SA/210からの放送中に赤色に点灯します。

## 33. リモートマイク接続状態表示

SX-2000AIに接続されているリモートマイクの機器番号が点灯します。

34. モニターレベルメーター

現在モニターしている入力チャンネルの音量の大きさを表示します。

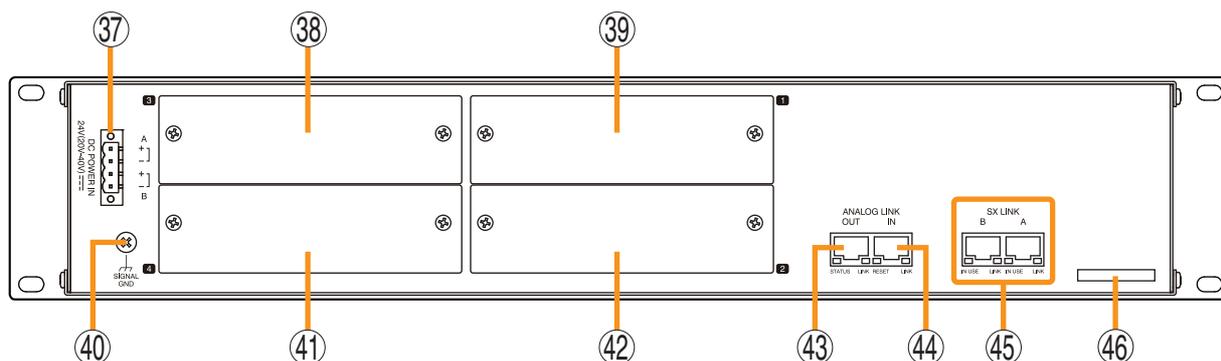
35. モニターレベルメーター目盛り

モニター ON/OFF キー (15) が ON のときに点灯します。

36. モニター ON/OFF 表示 [LEVEL]

モニター ON/OFF キー (15) が ON のときに点灯します。

[後面]



37. DC 電源入力端子 [DC POWER IN]

別売の直流電源パネルを接続します。DC 電源は、接続するシステムの消費電流値を考慮して選定します。電源の二重化\*をしない場合、A 入力と B 入力の+端子と一端子をそれぞれ接続させてください。

\* 別々の電源を各電源入力に接続する、または常用電源とバックアップ電源を接続することにより、断線や停電によるシステムダウンを防ぐ方法。

38. モジュールスロット 3 [3]

入力チャンネル 5、6 のスロットです。

39. モジュールスロット 1 [1]

入力チャンネル 1、2 のスロットです。

40. 機能アース端子 [SIGNAL GND]

本機に外部機器を接続してノイズが多いときは、この端子と外部機器の機能アース端子を接続してください。ノイズが少なくなることがあります。  
※ 安全アースではありません。

41. モジュールスロット 4 [4]

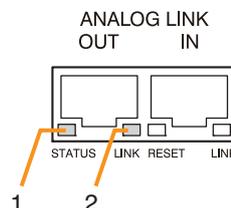
入力チャンネル 7、8 のスロットです。

42. モジュールスロット 2 [2]

入力チャンネル 3、4 のスロットです。

43. アナログリンク出力端子 [ANALOG LINK OUT]

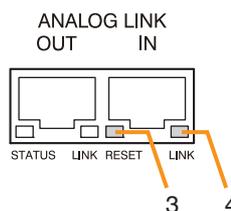
SX-2000AI、SX-2100AI、または SX-2000AO のアナログリンク入力端子に接続します。



	機能	LED 点灯	LED 消灯
1	使用しません。		
2	OUT 接続確認	接続 OK	未接続

44. アナログリンク入力端子 [ANALOG LINK IN]

SX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、または SX-2000AO のアナログリンク出力端子に接続します。



	機能	LED 点灯	LED 消灯
3	RESET 入力	RESET 中	通常
4	使用しません。		

#### 45. SXリンク端子 [SX LINK]

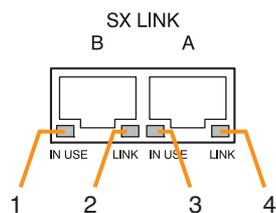
システム構成用の端子です。

SX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AOのSXリンク端子をスイッチングハブを介して接続します。SX LINK A、Bそれぞれを同じスイッチングハブまたはスター接続された異なるスイッチングハブに接続してください。

##### ご注意

- 必ずA、B端子とも接続してください。
- 接続後、リセットキーを押して、SX-2000AIを再起動させてください。

※ スwitchングハブについては、当社営業所にお問い合わせください。



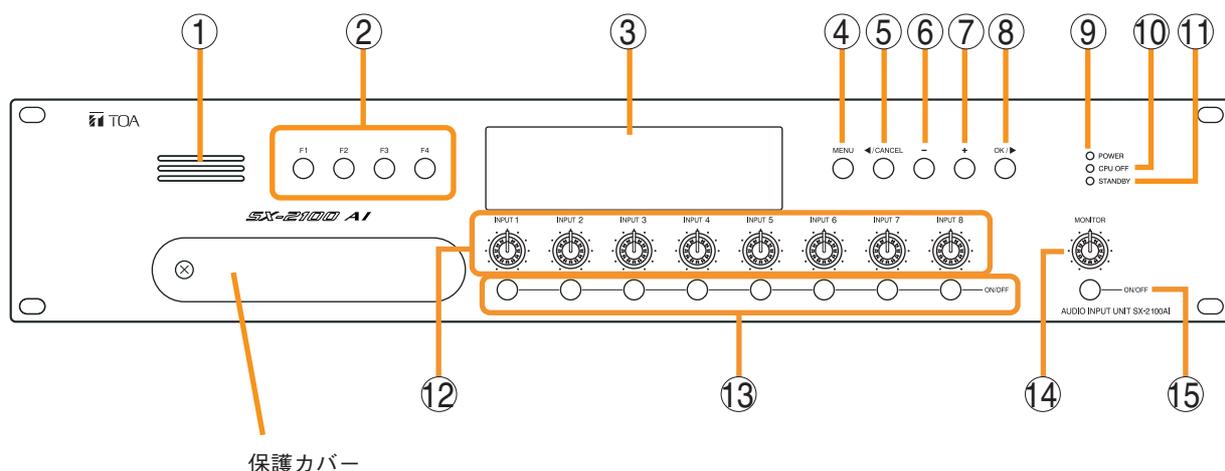
	機能	LED点灯/点滅	LED消灯
1	B動作中表示	動作中	未動作
2	B接続確認	接続OK	未接続
3	A動作中表示	動作中	未動作
4	A接続確認	接続OK	未接続

#### 46. MACアドレス

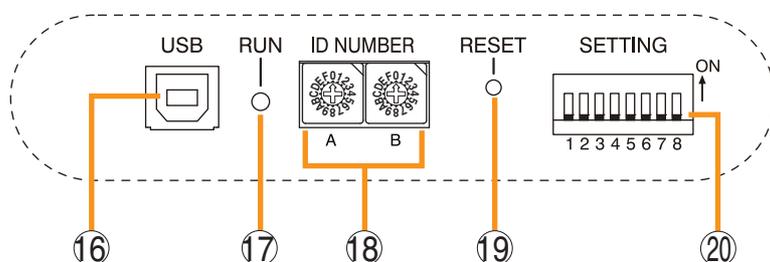
本機のSXリンク用のMACアドレスです。

# ■ 音声入力ユニット SX-2100AI

[前面]



保護カバー内部



## 1. モニタースピーカー

任意の入力チャンネルをモニターすることができます。

## 2. 機能キー [F1、F2、F3、F4]

各キーを押すと、SX-2000設定ソフトウェアで割り当てた機能が実行できます。  
(別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」)

## 3. 蛍光表示部

デフォルトでは機器番号とファームウェアのバージョンが表示されます。



現在のSX-2100AIの動作状態や入力レベルなどが表示されます。(別冊の操作説明書「音声入力ユニットSX-2100AI」)

## 4. メニューキー [MENU]

このキーを押すと、蛍光表示部にメニュー画面が表示されます。メニューのどの画面が表示されているときでも、このキーを押すと、デフォルト表示に戻ります。

## 5. キャンセルキー [◀/CANCEL]

メニュー画面での移動に使用します。

## 6. マイナスキー [-]

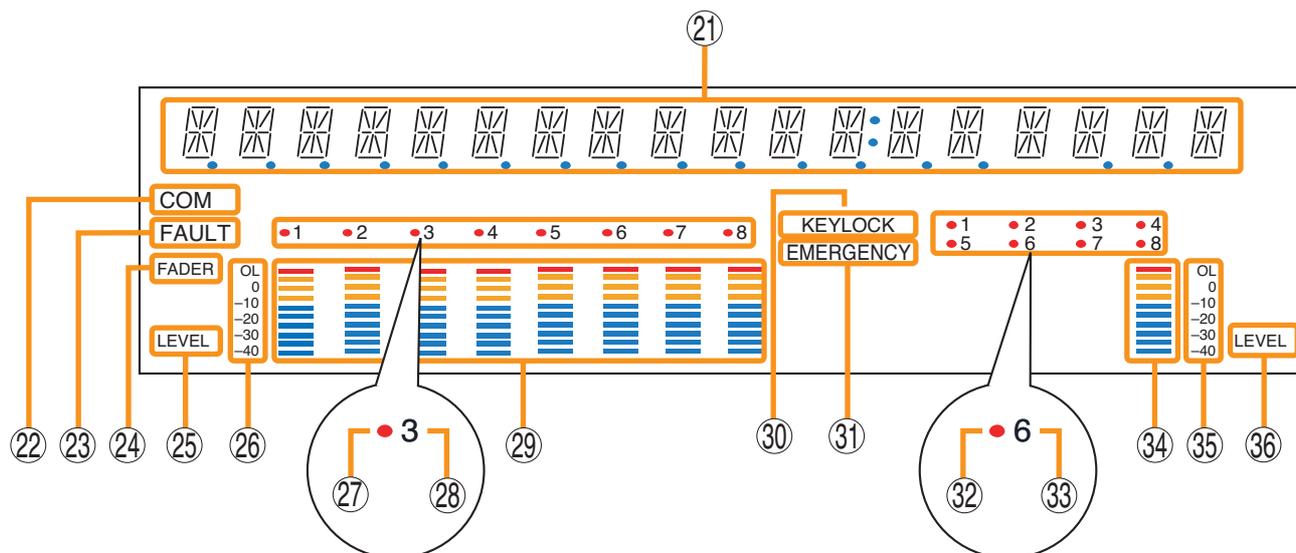
メニュー画面での移動に使用します。  
モニターON/OFFキー(15)をONにしたときは、マイナスキーを押して、モニターするチャンネルを選択します。チャンネル番号は、マイナスキーを押すごとに、大きい番号から順に小さい番号へ移動します。

## 7. プラスキー [+]

メニュー画面での移動に使用します。  
モニターON/OFFキー(15)をONにしたときは、プラスキーを押して、モニターするチャンネルを選択します。チャンネル番号は、プラスキーを押すごとに、小さい番号から順に大きい番号へ移動します。

8. OKキー [OK/▶]  
メニュー画面での移動に使用します。
9. 電源表示灯 [POWER] (青)  
電源を入れると点灯します。
10. CPU OFF 表示灯 [CPU OFF] (赤)  
緊急一斉放送中 (CPU オフ状態) に点灯します。  
([P. 54](#))
11. STANDBY 表示灯 [STANDBY] (緑)  
電源投入時または再起動時の初期化中は点灯します。  
蛍光表示部が消灯モードで消灯している状態のときに点滅します。
12. 入力音量つまみ [INPUT 1～8]  
各入力チャンネルの入力音量を調節できます。  
反時計方向いっぱいに戻すと、そのチャンネルの入力音源はミュートされ、蛍光表示部の入力 ON/OFF 表示 (28) が消灯します。  
SX-2000 設定ソフトウェアで入力チャンネルの音源のタイプを「緊急」に設定したときは、バイパスされます。(別冊のソフトウェア取扱説明書「システム設定」)
13. チャンネルキー [ON/OFF]  
各入力チャンネルを ON/OFF します。押すたびに ON/OFF が切り換わります。  
SX-2000 設定ソフトウェアで機能を割り当てることもできます。(別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」)  
SX-2000 設定ソフトウェアで入力チャンネルの音源のタイプを「緊急」に設定したときは、バイパスされます。(別冊のソフトウェア取扱説明書「システム設定」)
14. モニター音量つまみ [MONITOR]  
モニタースピーカー (1) の音量を調節できます。
15. モニター ON/OFF キー [ON/OFF]  
選択した入力チャンネルの音声モニター機能を ON/OFF します。押すたびに ON/OFF が切り換わります。
16. USB 端子 [USB]  
使用しません。
17. RUN 表示灯 [RUN] (緑)  
常時、点滅しています。
18. ID スイッチ [ID NUMBER]  
SX-2100AI の機器番号を設定することができます。(別冊 P. 41)
19. リセットキー [RESET]  
このキーを押すと、SX-2100AI が再起動します。  
**ご注意**
- 再起動すると、一部のゾーンまたはシステム全体の放送が停止します。
  - 1秒以上押し続けしないでください。本機が動作しなくなります。動作しなくなったときは、リセットキーを押す時間が1秒以内になるように押し直してください。
20. DIP スイッチ [SETTING]  
キーロックの設定を行います。(別冊 P. 100)
- DIP スイッチ 1  
ON : 前面パネルの入力音量つまみとチャンネルキーの操作を無効にします。  
OFF : キーロックを解除します。
  - DIP スイッチ 2～8  
使用しません。
- ※ 工場出荷時は、DIP スイッチ 1～8 はすべて OFF に設定されています。

[蛍光表示部]



※ SX-2000 設定ソフトウェアで蛍光表示部の消灯タイマーを設定することができます。(別冊のソフトウェア取扱説明書「基本設定」)  
 消灯タイマーが設定されている場合、5分以上SX-2100AIの操作を行わなかったときに蛍光表示部がすべて消灯し、STANDBY表示灯(11)が点滅します。前面パネルの機能キー以外のいずれかのキーを押すと、画面表示は復帰します。

21. テキスト表示部

各種機能キーを押すと、それぞれのメニュー画面や情報が表示されます。

22. COM表示 [COM]

通信異常時に点滅します。

23. FAULT表示 [FAULT]

システム故障、構成異常\*、通信異常時に点滅します。異常状態が解消されるまで、点滅し続けます。

\* システム機器の構成またはモジュールの構成が、SX-2000 設定ソフトウェアで設定された内容と異なるとき

24. 入力レベルメーター FADER表示 [FADER]

入力レベルメーターがSX-2000 設定ソフトウェアまたは入力音量つまみで設定された音量を表示しているときに点灯します。

25. 入力レベルメーター LEVEL表示 [LEVEL]

入力レベルメーターがSX-2100AIに入力されているレベルを表示しているときに点灯します。

26. 入力レベルメーター目盛り

27. 入力選択表示

モニターする入力チャンネルが赤色に点灯します。

28. 入力ON/OFF表示

チャンネルキーの状態を表示します。チャンネルキーに割り当てられた機能により、表示が異なります。

チャンネルキーの機能	ONのとき	OFFのとき
入力ON/OFF	点灯*	消灯
業務パターン放送の起動・終了	点滅	点灯

\* ただし、入力音量がミュートされているときは消灯。

29. 入力レベルメーター

各入力チャンネルの実際に入力されているレベル、または設定された音量値を表示します。

30. KEY LOCK表示 [KEY LOCK]

入力音量つまみとチャンネルキーがロックされているときに点灯します。(キーロックの設定と解除 P. 100)

31. EMERGENCY表示 [EMERGENCY]

SX-2000 システムが緊急放送状態のときに点灯します。

32. リモートマイク放送状態表示

リモートマイクRM-200SA/210からの放送中に赤色に点灯します。

33. リモートマイク接続状態表示

SX-2100AIに接続されているリモートマイクの機器番号が点灯します。

34. モニターレベルメーター

現在モニターしている入力チャンネルの音量の大きさを表示します。

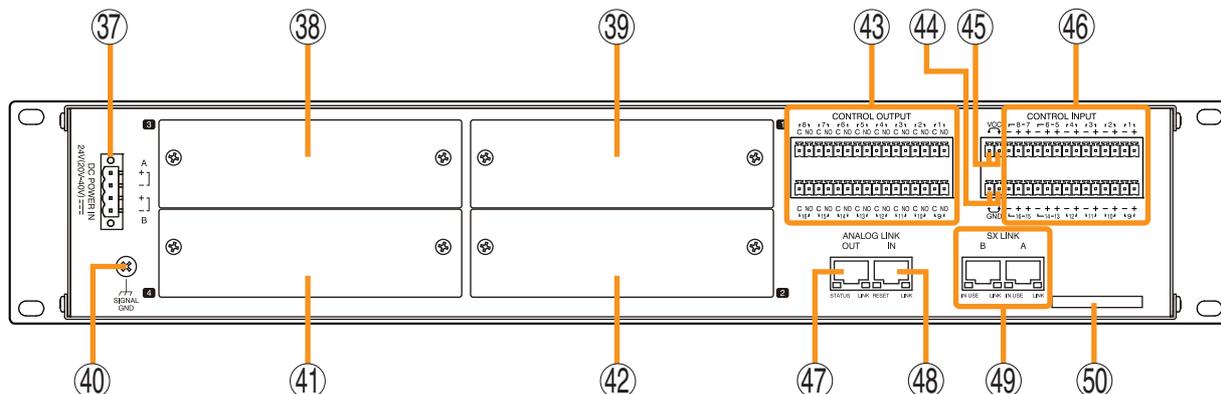
35. モニターレベルメーター目盛り

モニター ON/OFF キー (15) が ON のときに点灯します。

36. モニター ON/OFF 表示 [LEVEL]

モニター ON/OFF キー (15) が ON のときに点灯します。

[後面]



37. DC 電源入力端子 [DC POWER IN]

別売の直流電源パネルを接続します。  
DC 電源は、接続するシステムの消費電流値を考慮して選定します。  
電源の二重化\*をしない場合、A 入力と B 入力の + 端子と - 端子をそれぞれ接続させてください。

\* 別々の電源を各電源入力に接続する、または常用電源とバックアップ電源を接続することにより、断線や停電によるシステムダウンを防ぐ方法。

38. モジュールスロット 3 [3]

入力チャンネル 5、6 のスロットです。

39. モジュールスロット 1 [1]

入力チャンネル 1、2 のスロットです。

40. 機能アース端子 [SIGNAL GND]

本機に外部機器を接続してノイズが多いときは、この端子と外部機器の機能アース端子を接続してください。ノイズが少なくなることがあります。

※ 安全アースではありません。

41. モジュールスロット 4 [4]

入力チャンネル 7、8 のスロットです。

42. モジュールスロット 2 [2]

入力チャンネル 3、4 のスロットです。

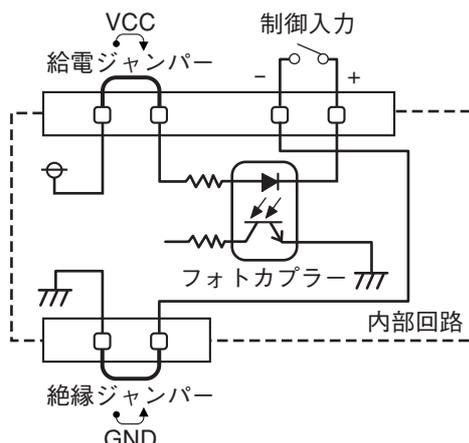
43. 制御出力端子 [CONTROL OUTPUT 1 ~ 16]

リレーを用いたメイク接点出力です。  
出荷時はノーマルオープン形式ですが、内部のジャンパー設定により、ノーマルクローズに変更することもできます。(参照 P. 42)  
リレーの接点定格は、耐電圧：DC40 V、制御電流：2 mA ~ 300 mA です。  
この端子は、SX-2000 設定ソフトウェアにより制御されます。(参照 別冊のソフトウェア取扱説明書「パターン設定」)

44. 絶縁ジャンパー [GND]

付属の着脱式ターミナルプラグにジャンパーが装着されています。  
接続状態では、すべて (1 ~ 16) の制御入力のマイナス端子が電源に接続されています。  
このジャンパーを外すと、マイナス端子が機器から切り離され、絶縁されます。(下図参照)

[給電ジャンパーと絶縁ジャンパーのはたらき]



### 45. 給電ジャンパー [VCC]

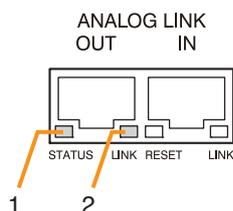
付属の着脱式ターミナルプラグにジャンパーが装着されています。  
 接続状態では、すべて（1～16）の制御入力の回路に機器内部から電源を供給します。  
 このジャンパーを外すと、内部電源が切り離されますので、外部から電源を供給します。  
 ( 前ページ「給電ジャンパーと絶縁ジャンパーのはたらき」)

### 46. 制御入力端子 [CONTROL INPUT 1～16]

フォトカプラー入力です。  
 短絡時は約2 mAの電流が流れ、開放時の電圧は40 V以下になります。100 msec以上の入力が必要です。  
 この接点入力は、給電ジャンパーおよび絶縁ジャンパーを切断することにより、本機と絶縁できます。  
 絶縁した場合の接点入力は、最大印加電圧40 V、ループ電流が約2 mAになります。  
 各端子に定電流回路で電流制限をしていますので、外部での電流制限は不要です。  
 一端子は、すべて共通です。  
 SX-2000 設定ソフトウェアを使ってこの端子に各種機能を割り当てることができます。  
 ( 別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」)

### 47. アナログリンク出力端子 [ANALOG LINK OUT]

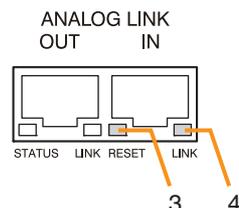
SX-2000AI、SX-2100AI、またはSX-2000AOのアナログリンク入力端子に接続します。



	機能	LED点灯	LED消灯
1	使用しません。		
2	OUT 接続確認	接続OK	未接続

### 48. アナログリンク入力端子 [ANALOG LINK IN]

SX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、またはSX-2000AOのアナログリンク出力端子に接続します。



	機能	LED点灯	LED消灯
3	RESET入力	RESET中	通常
4	使用しません。		

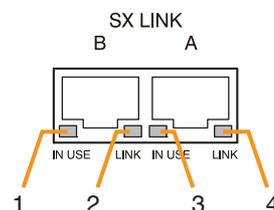
### 49. SXリンク端子 [SX LINK]

システム構成用の端子です。  
 SX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AOのSXリンク端子をスイッチングハブを介して接続します。SX LINK A、Bそれぞれを同じスイッチングハブまたはスター接続された異なるスイッチングハブに接続してください。

#### ご注意

- 必ずA、B端子とも接続してください。
- 接続後、リセットキーを押して、SX-2100AIを再起動させてください。

※スイッチングハブについては、当社営業所にお問い合わせください。



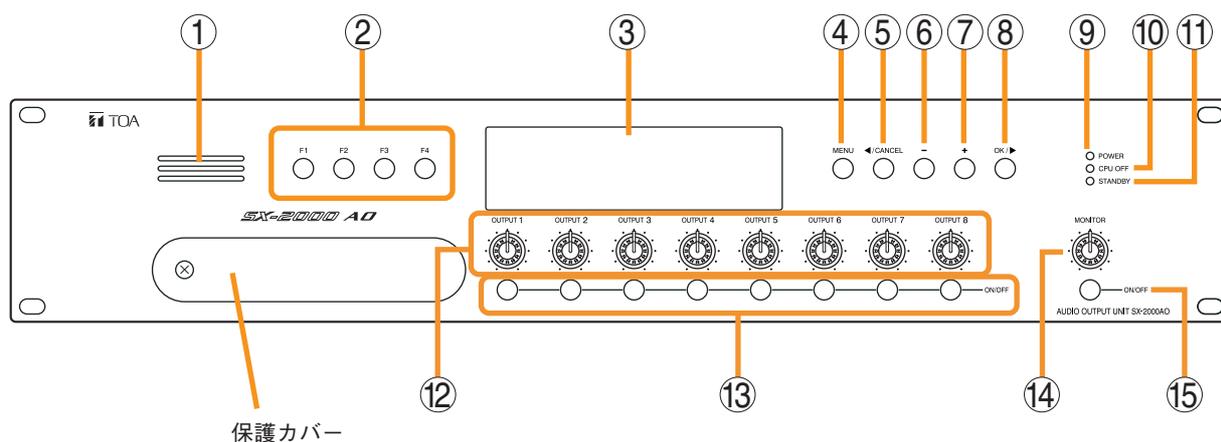
	機能	LED点灯/点滅	LED消灯
1	B動作中表示	動作中	未動作
2	B接続確認	接続OK	未接続
3	A動作中表示	動作中	未動作
4	A接続確認	接続OK	未接続

### 50. MACアドレス

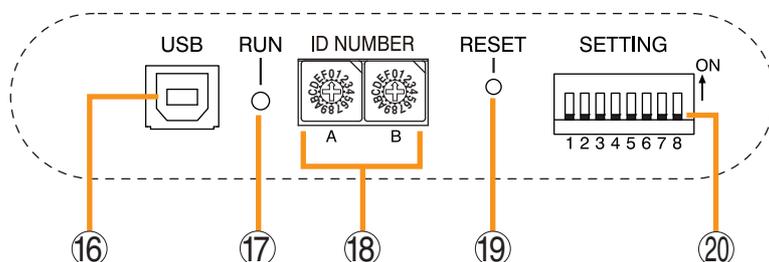
本機のSXリンク用のMACアドレスです。

# ■ 音声出力ユニット SX-2000AO

[前面]



保護カバー内部



## 1. モニタースピーカー

任意の出力チャンネルをモニターすることができます。

## 2. 機能キー [F1、F2、F3、F4]

各キーを押すと、SX-2000 設定ソフトウェアで割り当てた機能が実行できます。  
(別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」)

## 3. 蛍光表示部

デフォルトでは機器番号とファームウェアのバージョンが表示されます。



現在の SX-2000AO の動作状態や出力レベルなどが表示されます。(別冊の操作説明書「音声出力ユニット SX-2000AO」)

## 4. メニューキー [MENU]

このキーを押すと、蛍光表示部にメニュー画面が表示されます。メニューのどの画面が表示されているときでも、このキーを押すと、デフォルト表示に戻ります。

## 5. キャンセルキー [◀/CANCEL]

メニュー画面での移動に使用します。

## 6. マイナスキー [-]

メニュー画面での移動に使用します。  
モニター ON/OFF キー (15) を ON にしたときは、マイナスキーを押して、モニターするチャンネルを選択します。チャンネル番号は、マイナスキーを押すごとに、大きい番号から順に小さい番号へ移動します。

## 7. プラスキー [+]

メニュー画面での移動に使用します。  
モニター ON/OFF キー (15) を ON にしたときは、プラスキーを押して、モニターするチャンネルを選択します。チャンネル番号は、プラスキーを押すごとに、小さい番号から順に大きい番号へ移動します。

## 8. OK キー [OK/▶]

メニュー画面での移動に使用します。

## 9. 電源表示灯 [POWER] (青)

電源を入れると点灯します。

## 10. CPU OFF 表示灯 [CPU OFF] (赤)

緊急一斉放送中 (CPU オフ状態) に点灯します。  
(P. 54)

**11. STANDBY表示灯 [STANDBY] (緑)**

電源投入時または再起動時の初期化中は点灯します。

蛍光表示部が消灯モードで消灯している状態のときに点滅します。

**12. 出力音量つまみ [OUTPUT 1～8]**

各出力チャンネルの出力音量を調節できます。反時計方向いっぱいに戻すと、そのチャンネルの出力音量はミュートされ、蛍光表示部の出力ON/OFF表示(28)が消灯します。

緊急放送されている出力チャンネルは、バイパスされます。

**13. チャンネルキー [ON/OFF]**

各出力チャンネルをON/OFFします。押すたびにON/OFFが切り換わります。

SX-2000 設定ソフトウェアで機能を割り当てることもできます。(別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」)

緊急放送されている出力チャンネルは、バイパスされます。

**14. モニター音量つまみ [MONITOR]**

モニタースピーカー(1)の音量を調節できます。

**15. モニター ON/OFF キー [ON/OFF]**

選択した出力チャンネルの音声モニター機能をON/OFFします。押すたびにON/OFFが切り換わります。

**16. USB 端子 [USB]**

使用しません。

**17. RUN表示灯 [RUN] (緑)**

常時、点滅しています。

**18. ID スイッチ [ID NUMBER]**

SX-2000AOの機器番号を設定することができます。(P.44)

**19. リセットキー [RESET]**

このキーを押すと、SX-2000AOが再起動します。

**ご注意**

- 再起動すると、現在そのSX-2000AOを使って行われている放送は停止します。
- 1秒以上押し続けないでください。本機が動作しなくなります。動作しなくなったときは、リセットキーを押す時間が1秒以内になるように押し直してください。

**20. DIP スイッチ [SETTING]****● DIP スイッチ 1**

キーロックの設定を行います。(P.101)

ON : 前面パネルの出力音量つまみとチャンネルキーの操作を無効にします。

OFF : キーロックを解除します。

**● DIP スイッチ 2～7**

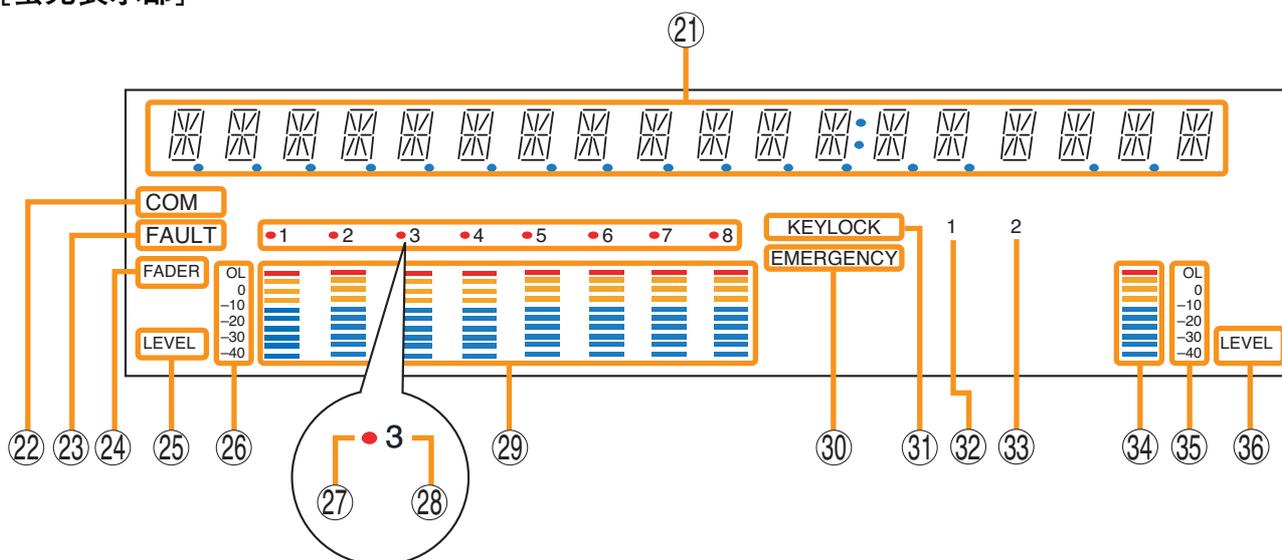
使用しません。

**● DIP スイッチ 8**

後面の非常断 24 V 入力端子(47)を使用するかしないかの設定を行います。(P.45)

※工場出荷時は、DIP スイッチ 1～8 はすべて OFF に設定されています。

[蛍光表示部]



※ SX-2000 設定ソフトウェアで蛍光表示部の消灯タイマーを設定することができます。(別冊のソフトウェア取扱説明書「基本設定」)  
 消灯タイマーが設定されている場合、5分以上SX-2000AOの操作を行わなかったときに蛍光表示部がすべて消灯し、STANDBY表示灯(11)が点滅します。前面パネルの機能キー以外のいずれかのキーを押すと、画面表示は復帰します。

21. テキスト表示部

各種機能キーを押すと、それぞれのメニュー画面や情報が表示されます。

22. COM表示 [COM]

通信異常時に点滅します。

23. FAULT表示 [FAULT]

システム故障、構成異常\*1、通信異常時に点滅します。異常状態が解消されるまで、点滅し続けます。

\*1 システム機器の構成またはモジュールの構成が、SX-2000 設定ソフトウェアで設定された内容と異なるとき

24. 出力レベルメーター FADER表示 [FADER]

出力レベルメーターがSX-2000 設定ソフトウェアまたは出力音量つまみで設定された音量を表示しているときに点灯します。

25. 出力レベルメーター LEVEL表示 [LEVEL]

出力レベルメーターがSX-2000AOから出力されているレベルを表示しているときに点灯します。

26. 出力レベルメーター目盛り

27. 出力選択表示

モニターする出力チャンネルが赤色に点灯します。

28. 出力ON/OFF表示

チャンネルキーの状態を表示します。チャンネルキーに割り当てられた機能により、表示が異なります。

チャンネルキーの機能	ONのとき	OFFのとき
出力ON/OFF	点灯*	消灯
業務パターン放送の起動・終了	点滅	点灯

\* ただし、出力音量がミュートされているときは消灯。

29. 出力レベルメーター

各出力チャンネルの実際に出力されているレベル、または設定された音量値を表示します。

30. EMERGENCY表示 [EMERGENCY]

SX-2000 システムが緊急放送状態のときに点灯します。非常断 24 V 入力\*2 を使用している場合、非常断 24 V が発生したときに点滅します。

\*2 SX-2000AO は、非常音声入力を制御するための非常断 24 V 入力端子 (49) を後面に備えています。SX-2000 システムを非常用システムと組み合わせて使用する場合、通常はこの端子に DC24 V を供給し、非常時に DC24 V 入力を断つこと (非常断 24 V) により SX-2000 システムの業務放送を停止します。(P. 45、P. 93)

**ご注意**

保護カバー内部の DIP スイッチ 8 で非常断 24 V 入力端子を使用しない設定にした場合、非常断 24 V 入力に 24 V が切れても、EMERGENCY 表示は点滅しません。

**31. KEY LOCK 表示 [KEY LOCK]**

出力音量つまみとチャンネルキーがロックされているときに点灯します。  
(キーロックの設定と解除  P. 101)

**32. 制御入力ユニット接続状態表示 [1]**

SX-2000AO に SX-2000CI が接続されているときに点灯します。

**33. 制御出力ユニット接続状態表示 [2]**

SX-2000AO に SX-2000CO が接続されているときに点灯します。

**34. モニターレベルメーター**

現在モニターしている出力チャンネルの音量の大きさを表示します。

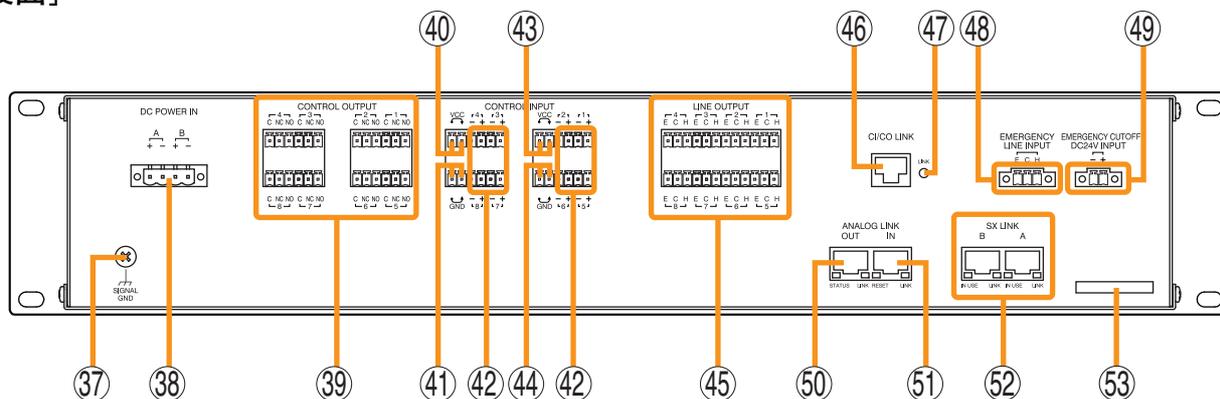
**35. モニターレベルメーター目盛り**

モニター ON/OFF キー (15) が ON のときに点灯します。

**36. モニター ON/OFF 表示 [LEVEL]**

モニター ON/OFF キー (15) が ON のときに点灯します。

## [後面]



## 37. 機能アース端子 [SIGNAL GND]

本機に外部機器を接続してノイズが多いときは、この端子と外部機器の機能アース端子を接続してください。ノイズが少なくなることがあります。

※ 安全アースではありません。

## 38. DC 電源入力端子 [DC POWER IN]

別売の直流電源パネルを接続します。

DC 電源は、接続するシステムの消費電流値を考慮して選定します。

電源の二重化\*をしない場合、A 入力と B 入力の+端子と-端子をそれぞれ接続させてください。

\* 別々の電源を各電源入力に接続する、または常用電源とバックアップ電源を接続することにより、断線や停電によるシステムダウンを防ぐ方法。

## 39. 制御出力端子 [CONTROL OUTPUT 1～8]

リレーを用いたメイク接点出力です。

リレーの接点定格は、耐電圧：DC40 V、制御電流：2 mA～300 mA です。

この端子は、SX-2000 設定ソフトウェアにより制御されます。( 別冊のソフトウェア取扱説明書「パターン設定」)

## 40. 給電ジャンパー 2 [VCC]

付属の着脱式ターミナルプラグにジャンパーが装着されています。

接続状態では、制御入力 3、4、7、8 の回路に機器内部から電源を供給します。

このジャンパーを外すと、内部電源が切り離されますので、外部から電源を供給します。

( 次ページ「給電ジャンパーと絶縁ジャンパーのはたらき」)

## 41. 絶縁ジャンパー 2 [GND]

付属の着脱式ターミナルプラグにジャンパーが装着されています。

接続状態では、制御入力 3、4、7、8 のマイナス端子が電源に接続されています。

このジャンパーを外すと、マイナス端子が機器

から切り離され、絶縁されます。

( 次ページ「給電ジャンパーと絶縁ジャンパーのはたらき」)

## 42. 制御入力端子 [CONTROL INPUT 1～8]

フォトプラー入力です。

短絡時は約 2 mA の電流が流れ、開放時の電圧は 40 V 以下になります。100 msec 以上の入力が必要です。

この接点入力は、給電ジャンパー 1 (43) と 2 (40)、および絶縁ジャンパー 1 (44) と 2 (41) を切断することにより、本機と絶縁できます。

絶縁した場合の接点入力は、最大印加電圧 40 V、ループ電流が約 2 mA になります。

各端子に定電流回路で電流制限をしていますので、外部での電流制限は不要です。

一端子は、1、2、5、6 と 3、4、7、8 がそれぞれ共通です。

SX-2000 設定ソフトウェアを使ってこの端子に各種機能を割り当てることができます。

( 別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」)

## 43. 給電ジャンパー 1 [VCC]

付属の着脱式ターミナルプラグにジャンパーが装着されています。

接続状態では、制御入力 1、2、5、6 の回路に機器内部から電源を供給します。

このジャンパーを外すと、内部電源が切り離されますので、外部から電源を供給します。

( 次ページ「給電ジャンパーと絶縁ジャンパーのはたらき」)

## 44. 絶縁ジャンパー 1 [GND]

付属の着脱式ターミナルプラグにジャンパーが装着されています。

接続状態では、制御入力 1、2、5、6 のマイナス端子が電源に接続されています。

このジャンパーを外すと、マイナス端子が機器から切り離され、絶縁されます。

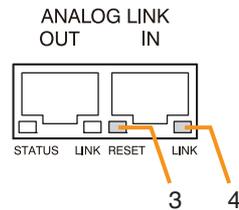
( 次ページ「給電ジャンパーと絶縁ジャンパーのはたらき」)

### 45. 音声出力端子 [LINE OUTPUT]

放送するための音声が出力される端子です。  
電子バランス出力です。  
別売のトランスIT-450を使って、トランス出力にすることができます。(P. 46「出力をトランス出力にするとき」)

**ご注意**

電子バランス出力のままでは、不平衡出力にはできません。  
不平衡出力をするには、別売のIT-450をお使いください。



	機能	LED点灯	LED消灯
3	RESET入力	RESET中	正常
4	使用しません。		

### 46. CI/CO リンク端子 [CI/CO LINK]

SX-2000CI、SX-2000COのCI/COリンクデータ端子と接続します。

### 47. CI/CO リンク接続表示灯 [LINK] (緑)

SX-2000CI、SX-2000COが接続されているとき点灯します。

### 48. 非常音声入力端子

#### [EMERGENCY LINE INPUT]

非常用機器などに接続します。  
電源が入っていないときや非常断24V入りに電源が印加されていないときに、この非常音声入力がすべての音声出力端子に接続されます。

### 49. 非常断24V入力端子

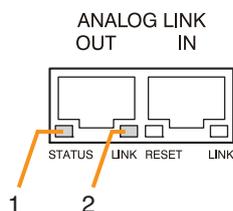
#### [EMERGENCY CUTOFF DC24V INPUT]

非常音声入力を制御するための端子です。  
DC24Vを印加して制御します。  
入力電流は、5mA以下です。

### 50. アナログリンク出力端子

#### [ANALOG LINK OUT]

SX-2000AI、SX-2100AI、またはSX-2000AOのアナログリンク入力端子に接続します。



	機能	LED点灯	LED消灯
1	使用しません。		
2	OUT接続確認	接続OK	未接続

### 51. アナログリンク入力端子

#### [ANALOG LINK IN]

SX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、またはSX-2000AOのアナログリンク出力端子に接続します。

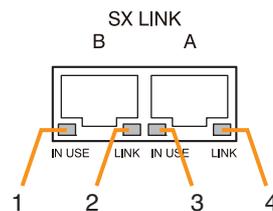
### 52. SXリンク端子 [SX LINK A/B]

システム構成用の端子です。  
SX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AOのSXリンク端子をスイッチングハブを介して接続します。SX LINK A、Bそれぞれを同じスイッチングハブまたはスター接続された異なるのスイッチングハブに接続してください。

**ご注意**

- 必ずA、B端子とも接続してください。
- 接続後、リセットキーを押して、SX-2000AOを再起動させてください。

※スイッチングハブについては、当社営業所にお問い合わせください。

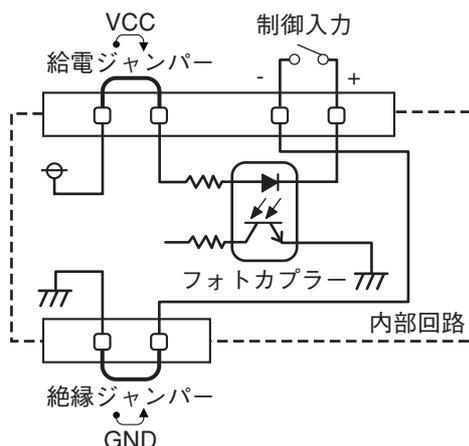


	機能	LED点灯/点滅	LED消灯
1	B動作中表示	動作中	未動作
2	B接続確認	接続OK	未接続
3	A動作中表示	動作中	未動作
4	A接続確認	接続OK	未接続

### 53. MACアドレス

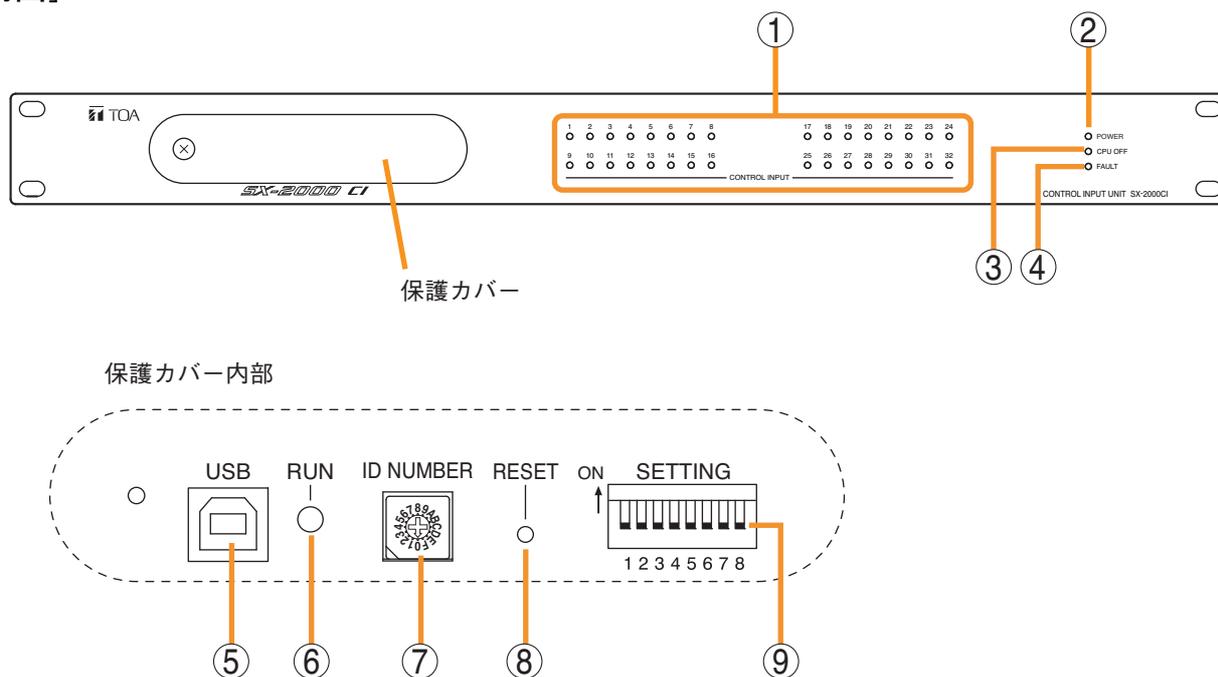
本機のSXリンク用のMACアドレスです。

#### [給電ジャンパーと絶縁ジャンパーのはたらき]



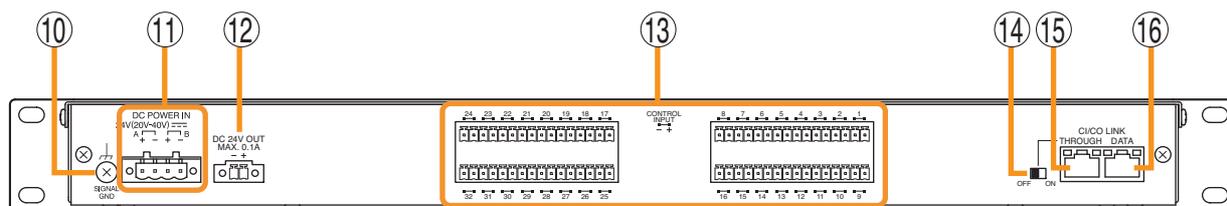
## ■ 制御入力ユニット SX-2000CI

[前面]



1. 制御入力表示灯 [CONTROL INPUT 1～32] (緑)  
制御入力が入ったときに点灯します。
2. 電源表示灯 [POWER] (青)  
電源を入れると点灯します。
3. CPU OFF 表示灯 [CPU OFF] (赤)  
緊急一斉放送中 (CPU オフ状態) に点灯します。  
(参照 P. 54)
4. FAULT 表示灯 [FAULT] (黄)  
緊急一斉放送中 (P. 54) または接続先の SX-2000AO との通信で 5 秒以上通信が途絶えたときに点灯します。  
システムに異常のあるときに点滅します。
5. USB 端子 [USB]  
使用しません。
6. RUN 表示灯 [RUN] (緑)  
常時、点滅しています。  
緊急一斉放送中 (P. 54) は消灯します。
7. ID スイッチ [ID NUMBER]  
使用しません。常時、「0」に設定しておいてください。  
※ 工場出荷時は「0」に設定されています。
8. リセットキー [RESET]  
このキーを押すと、SX-2000CI が再起動します。
9. DIP スイッチ [SETTING]  
使用しません。  
※ 工場出荷時は、DIP スイッチ 1～8 はすべて OFF に設定されています。

## [後面]



## 10. 機能アース端子 [SIGNAL GND]

本機に外部機器を接続してノイズが多いときは、この端子と外部機器の機能アース端子を接続してください。ノイズが少なくなることがあります。

※ 安全アースではありません。

## 11. DC電源入力端子 [DC POWER IN]

別売の直流電源パネルを接続します。DC電源は、接続するシステムの消費電流値を考慮して選定します。電源の二重化\*をしない場合、A入力とB入力の+端子と-端子をそれぞれ接続してください。(参照 P. 69、P. 70)

\* 別々の電源を各電源入力に接続する、または常用電源とバックアップ電源を接続することにより、断線や停電によるシステムダウンを防ぐ方法。

## 12. DC24 V出力端子 [DC 24 V OUT]

外部機器にDC24 Vを100 mAまで給電できます。

## 13. 制御入力端子 [CONTROL INPUT 1 ~ 32]

フォトカプラー入力です。短絡時は約2 mAの電流が流れ、開放時の電圧は約DC24 Vになります。

SX-2000設定ソフトウェアを使ってこの端子に各種機能を割り当てることができます。(参照別冊のソフトウェア取扱説明書「イベント設定」)

## 14. CI/COリンクスルースイッチ [ON/OFF]

CI/COリンクスルー端子を使用するとき、ONに設定します。(工場出荷時：OFF)

## 15. CI/COリンクスルー端子 [CI/CO LINK THROUGH]

SX-2000COのCI/COリンクデータ端子に接続します。

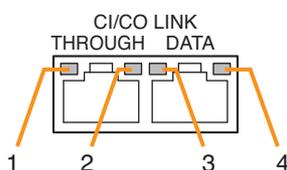
※ LEDの機能と状態については、下の表を参照してください。

## 16. CI/COリンクデータ端子 [CI/CO LINK DATA]

SX-2000AOのCI/COリンク端子またはSX-2000COのCI/COリンクスルー端子に接続します。

※ LEDの機能と状態については、下の表を参照してください。

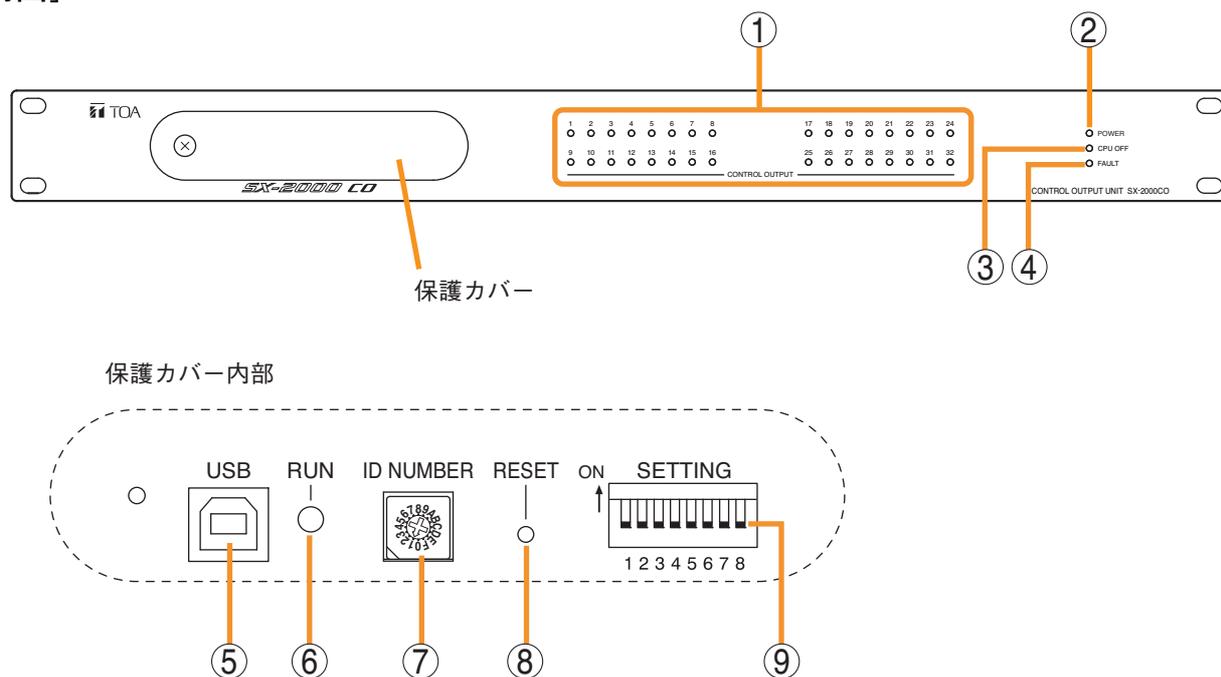
## [CI/COリンクスルー端子、リンクデータ端子のLEDの機能と状態]



	機能	LED点灯/点滅 (緑)	LED消灯	LED点灯 (橙)
1	CI/COリンクステータス	通信開始	通信停止	—
2	—	—	—	—
3	CI/COリンクステータス	通信開始	通信停止	—
4	CI/COリンク接続確認	—	未接続	接続

# ■ 制御出力ユニット SX-2000CO

[前面]



## 1. 制御出力表示灯

[CONTROL OUTPUT 1～32] (緑)

制御出力がONのときに点灯します。

工場出荷時の設定では、緊急一斉放送時には制御出力がOFFになり表示灯は消灯します。機器内部のDIPスイッチの設定を変更することにより、緊急一斉放送時に制御出力をONにして表示灯を点灯させることができます。(P. 49)

## 2. 電源表示灯 [POWER] (青)

電源を入れると点灯します。

## 3. CPU OFF 表示灯 [CPU OFF] (赤)

緊急一斉放送中 (CPU オフ状態) に点灯します。  
(P. 54)

## 4. FAULT 表示灯 [FAULT] (黄)

緊急一斉放送中 (P. 54) または接続先のSX-2000AOとの通信で5秒以上通信が途絶えたときに点灯します。  
システムに異常のあるときに点滅します。

## 5. USB 端子 [USB]

使用しません。

## 6. RUN 表示灯 [RUN] (緑)

常時、点滅しています。  
緊急一斉放送中 (P. 54) は消灯します。

## 7. ID スイッチ [ID NUMBER]

使用しません。常時、「1」に設定しておいてください。

※ 工場出荷時は「1」に設定されています。

## 8. リセットキー [RESET]

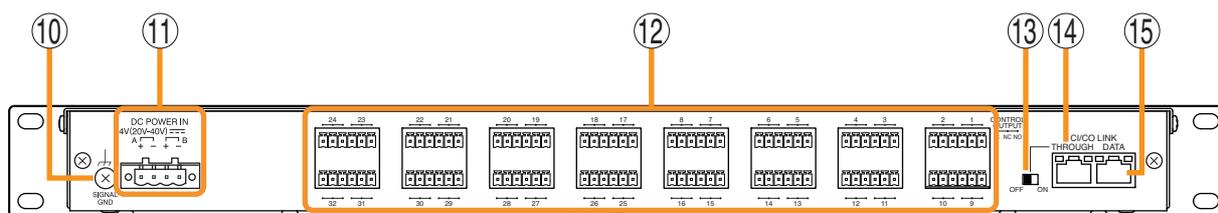
このキーを押すと、SX-2000COが再起動します。

## 9. DIP スイッチ [SETTING]

使用しません。

※ 工場出荷時は、DIP スイッチ 1～8 はすべて OFF に設定されています。

[後面]



10. 機能アース端子 [SIGNAL GND]

本機に外部機器を接続してノイズが多いときは、この端子と外部機器の機能アース端子を接続してください。ノイズが少なくなることがあります。

※ 安全アースではありません。

11. DC 電源入力端子 [DC POWER IN]

別売の直流電源パネルを接続します。DC 電源は、接続するシステムの消費電流値を考慮して選定します。電源の二重化\*をしない場合、A 入力と B 入力の+端子と-端子をそれぞれ接続してください。(参照 P. 69、P. 70)

\* 別々の電源を各電源入力に接続する、または常用電源とバックアップ電源を接続することにより、断線や停電によるシステムダウンを防ぐ方法。

12. 制御出力端子 [CONTROL OUTPUT 1 ~ 32]

リレーを用いたメイク接点出力です。リレーの接点定格は、耐電圧：DC40 V、制御電流：2 mA ~ 300 mA です。この端子は、SX-2000 設定ソフトウェアにより制御されます。(参照 別冊のソフトウェア取扱説明書「パターン設定」)

13. CI/CO リンクスルースイッチ [ON/OFF]

CI/CO リンクスルー端子を使用するときに、ON に設定します。(工場出荷時：OFF)

14. CI/CO リンクスルー端子 [CI/CO LINK THROUGH]

SX-2000CI の CI/CO リンクデータ端子に接続します。

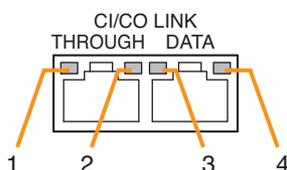
※ LED の機能と状態については、下の表を参照してください。

15. CI/CO リンクデータ端子 [CI/CO LINK DATA]

SX-2000AO の CI/CO リンク端子または SX-2000CI の CI/CO リンクスルー端子に接続します。

※ LED の機能と状態については、下の表を参照してください。

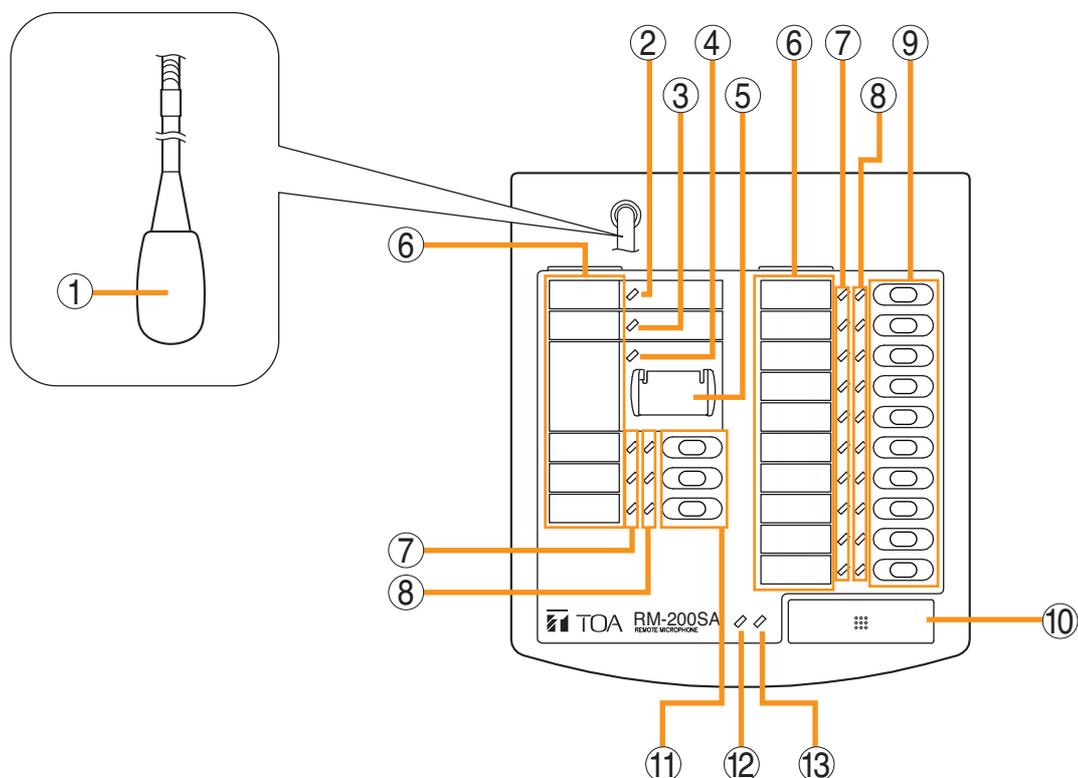
[CI/CO リンクスルー端子、リンクデータ端子の LED の機能と状態]



	機能	LED 点灯/点滅 (緑)	LED 消灯	LED 点灯 (橙)
1	CI/CO リンクステータス	通信開始	通信停止	—
2	—	—	—	—
3	CI/CO リンクステータス	通信開始	通信停止	—
4	CI/CO リンク接続確認	—	未接続	接続

## ■ リモートマイク RM-200SA

[上面]



### 1. マイク

マイク放送時に使用します。

### 2. 電源表示灯（緑）

電源を入れると点灯します。

### 3. 異常表示灯（橙／赤）

システム内で何らかの故障が検知された場合、橙色に点滅します。

接続先のSX-2000AIまたはSX-2100AIとの通信で5秒以上通信が途絶えた場合、橙色に点灯します。緊急一斉放送中（P. 54）およびRM-200SAのリセット中は赤色に点灯します。

### 4. 緊急表示灯（赤）

SX-2000システムが緊急放送状態のときに点灯します。

### 5. 緊急放送／緊急一斉放送キー（カバー付き）

SX-2000設定ソフトウェアで緊急放送パターン起動の機能が割り当てられているとき、このキーを押すと、SX-2000システムによる緊急放送を起動します。

また、SX-2000設定ソフトウェアでの設定とは関係なく、DIPスイッチ（14）の設定と組み合わせると、このキーを4秒以上押し続けると、CPU制御を介さないアナログ伝送による緊急一斉放送ができます。（P. 54）

### 6. 表示ラベル挿入部

表示ラベルを挿入するスペースです。

SX-2000設定ソフトウェアを使用して、ラベルを印刷できます。（別冊のソフトウェア取扱説明書「リモートマイクの表示ラベルを印刷する」）

### 7. 状態表示灯（橙／緑／赤）

機能キーの操作状態に連動して点灯、点滅、消灯します。

（別冊の操作説明書「リモートマイク RM-200SA リモートマイク拡張ユニット RM-210」 「操作のしかた」）

## 8. 選択表示灯（緑）

機能キーの操作状態に連動して点灯、消灯します。  
 (別冊の操作説明書「リモートマイク RM-200SA リモートマイク拡張ユニット RM-210」  
 「操作のしかた」)

## 9. 機能キー（R1～R10）

上から順に R1、R2、……、R10 となっています。  
 各キーを押すと、SX-2000 設定ソフトウェアで  
 そのキーに設定した機能が実行できます。  
 機能の割り当ては、SX-2000 設定ソフトウェア  
 で行います。(別冊のソフトウェア取扱説明書  
 「イベント設定」)

## 10. トークキー

マイク放送時に使用します。  
 PTT 式に設定されているときは、キーを押して  
 いる間だけ放送することができます。  
 ロック式に設定されているときは、押すと放送  
 が開始され、もう一度押すと放送が終了します。  
 放送開始・終了時のチャイムが設定されている  
 ときは、設定に従ってチャイム音が流れます。  
 操作の方式およびチャイムの設定は SX-2000 設  
 定ソフトウェアで行います。ただし、放送の種  
 類（タイプ）を「緊急／業務」に設定された  
 RM-200SA は PTT 式でチャイム設定なしに固定  
 されます。(別冊のソフトウェア取扱説明書  
 「システム設定」)

## 11. 機能キー（L1～L3）

上から順に L1、L2、L3 となっています。  
 このキーの動作は機能キー（R1～R10）(9) と  
 同じです。

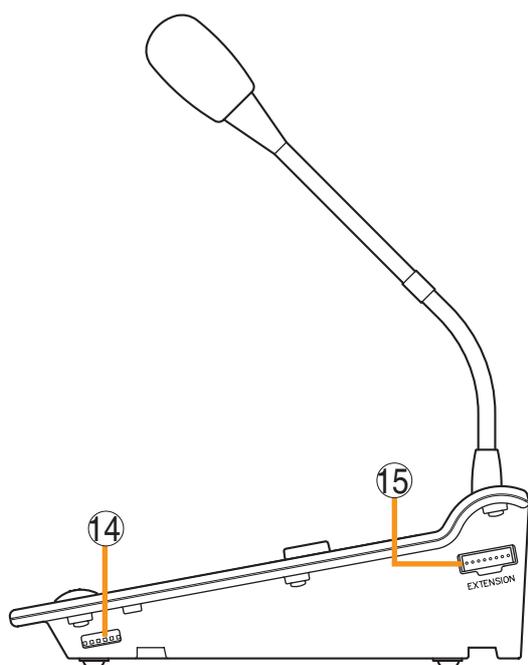
## 12. 放送状態表示灯（橙／緑）

トークキーの操作状態に連動して点灯、点滅、  
 消灯します。

## 13. マイク表示灯（緑）

トークキーの操作状態に連動して点灯、消灯し  
 ます。  
 チャイム起動中に点滅します。

### [側面]



## 14. DIP スイッチ

本体の設定をする DIP スイッチです。

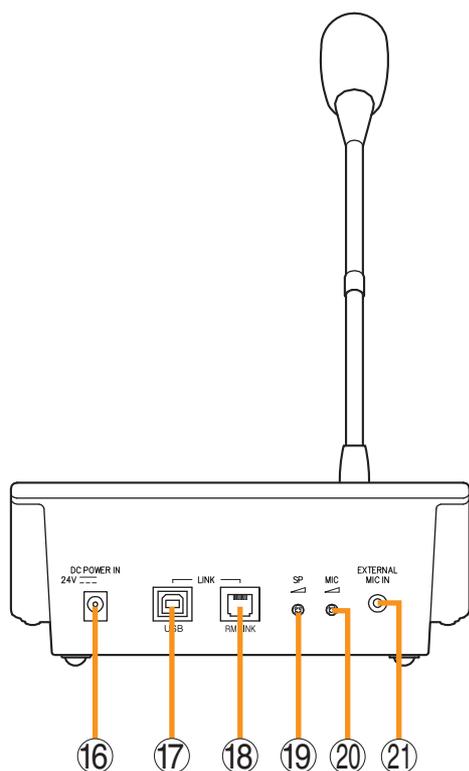
- DIP スイッチ 1～3  
 RM-200SA の機器番号（ID 番号）を設定するこ  
 とができます。(別冊 P. 52)
- DIP スイッチ 4  
 放送状態表示灯（12）を出力信号レベル表示機能  
 に切り換えることができます。(別冊 P. 53)
- DIP スイッチ 5  
 CPU オフ機能（緊急一斉放送）を使用するかしな  
 いかを設定します。(別冊 P. 54)
- DIP スイッチ 6  
 RM 通信機能の設定をします。(別冊 P. 54)

※ 工場出荷時は、DIP スイッチ 1～4 と 6 は OFF、  
 DIP スイッチ 5 は ON に設定されています。

## 15. RM-210 接続端子 [EXTENSION]

リモートマイク拡張ユニット RM-210 と接続します。  
 (別冊 P. 59、P. 61)

## [後面]

**16. 電源入力端子 [DC POWER IN]**

RM-200SA、RM-210 には RM モジュール SX-200RM から電源が供給されますが、接続ケーブルの延長距離を延ばしたい場合は、この端子に、別売の AC アダプター AD-246 を接続します。( P. 73)

**17. USB 端子 [USB]**

使用しません。

**18. RM リンク端子 [RM LINK]**

SX-200RM と接続します。STP カテゴリ 5 規格のケーブルを使用してください。

**19. スピーカー音量調節器 [SP]**

内蔵のスピーカーの音量を調節します。

**20. マイク音量調節器 [MIC]**

マイク (1) および外部マイク (21) の音量を調節します。

**21. 外部マイク入力端子 [EXTERNAL MIC IN]**

別売の外部マイク\*1を使用するときに接続します。使用するには、基板上のジャンパー設定が必要です。( P. 55)

-40 dB\*2、2.2 k $\Omega$ 、不平衡、ミニジャック、ファンタム電源付き

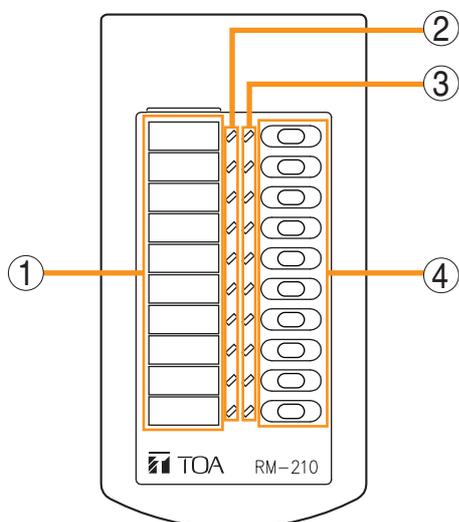
\*1 外部マイクには、WH-1000、WH-4000A、YP-M101、YP-M301 が使用できます。

\*2 0 dB = 1 V

## ■ リモートマイク拡張ユニット RM-210

**ご注意** リモートマイク RM-200SA 1 台に増設できる RM-210 は最大 4 台です。

[上面]



### 1. 表示ラベル挿入部

表示ラベルを挿入するスペースです。

SX-2000 設定ソフトウェアを使用して、ラベルを印刷できます。(別冊のソフトウェア取扱説明書「リモートマイクのラベルを印刷する」)

### 2. 状態表示灯 (橙/緑/赤)

機能キーの操作状態に連動して点灯、点滅、消灯します。

### 3. 選択表示灯 (緑)

機能キーの操作状態に連動して点灯、点滅、消灯します。

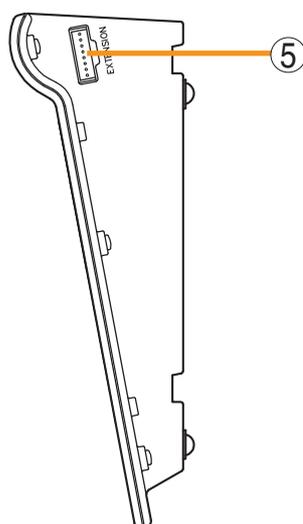
### 4. 機能キー (1～10)

上から順に 1、2、……、10 となっています。

各キーを押すと、SX-2000 設定ソフトウェアでそのキーに設定した機能が実行できます。

機能の割り当ては、SX-2000 設定ソフトウェアで行います。(別冊のソフトウェア取扱説明書「RM 機能キー設定」)

[側面]



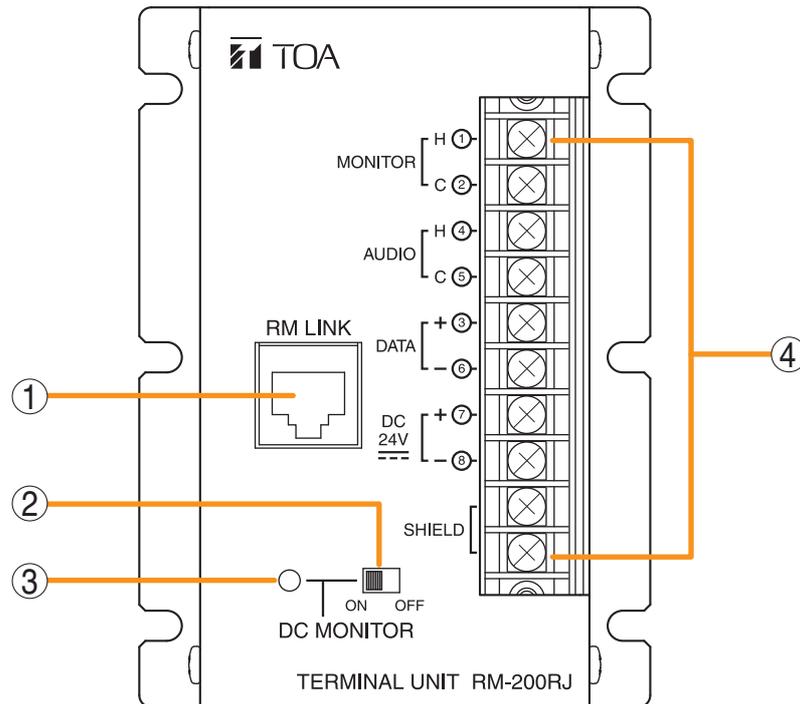
### 5. RM 接続端子 [EXTENSION]

リモートマイク RM-200SA または他の RM-210 と接続します。(P. 59、P. 61)

※ 反対側にも同じ端子があります。

# ■ RJ45 端子盤 RM-200RJ

[前面]



## 1. RM リンク端子 [RM LINK]

RM-200SA の RM リンク端子または SX-200RM の RM 接続端子に接続します。

## 2. 電源監視スイッチ [ON/OFF]

電源監視表示灯を使用するときに、ON に設定します。(工場出荷時：ON)

## 3. 電源監視表示灯 (緑)

電源監視スイッチが ON のとき、DC 電源入力の電源電圧が RM-200SA の最小動作電圧以上であれば点灯します。

## 4. ねじ端子台

RM リンク端子 (1) と内部で接続されています。各端子の横に表示されている①～⑧の数字は、RM リンク端子に接続される RJ45 コネクタのピン番号を表します。

- 音声モニター端子 [MONITOR H/C]  
SX-2000 システムから RM-200SA への音声モニターラインを接続します。
- 音声出力端子 [AUDIO H/C]  
RM-200SA から SX-2000 システムへの音声出力ラインを接続します。
- RM 通信端子 [DATA +/-]  
SX-2000 システムと RM-200SA の制御通信ラインを接続します。
- DC 電源入力端子 [DC 24 V +/-]  
SX-2000 システムから RM-200SA への DC 電源供給ラインを接続します。
- シールド端子 [SHIELD]  
ノイズ対応のシールドおよびシステム制御用に使用します。  
必ず1つ以上接続してください。

# 別売モジュール

SX-2000AI および SX-2100AI 後面の入力モジュールスロットには次のモジュールが使用できます。

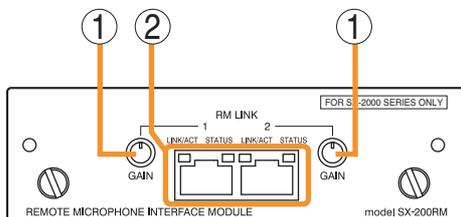
- SX-200RM : RM モジュール
- D-921E/921F/922E/922F : マイク/ラインインプットモジュール
- D-936R : ステレオインプットモジュール
- SX-200IP : IP モジュール

※ SX-200IP についての詳細は、SX-200IP に付属の取扱説明書をお読みください。

## ご注意

ここに記載されている以外のモジュールを SX-2000AI、SX-2100AI に挿入した場合は、すべての入力モジュールスロットを正しく認識することができません。

## ● RM モジュール SX-200RM



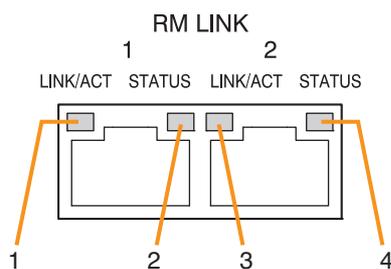
### 1. ゲイン調節つまみ [GAIN]

リモートマイク RM-200SA の音声レベルを 12 dB まで増幅できます。

### 2. RM 接続端子 [RM LINK 1/2]

リモートマイク RM-200SA を接続します。SX-2000 設定ソフトウェアで割り当てられた端子に、正しい機器番号 (ID 番号) の RM-200SA を接続してください。(P. 52)

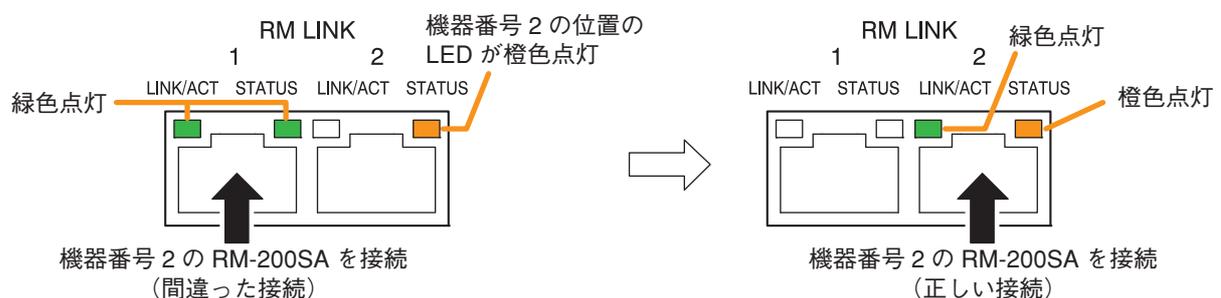
この端子で、各 RM-200SA/210 への電源を 1 A まで給電することができます。



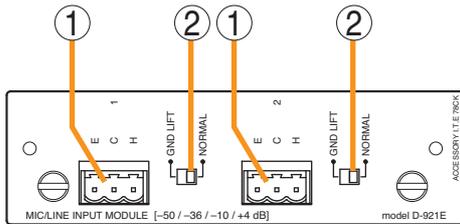
	機能	LED 点灯/点滅 (緑)	LED 消灯	LED 点灯 (橙)
1	RM1 接続確認	接続 OK	未接続	—
2	RM1 ステータス	通信開始	通信停止	制御開始
3	RM2 接続確認	接続 OK	未接続	—
4	RM2 ステータス	通信開始	通信停止	制御開始

※ RM-200SA を間違った端子に接続すると、この端子のステータス LED は緑色点灯のままになります。この場合、RM 接続端子と RM-200SA の機器番号が一致していませんので、RM-200SA の機器番号の設定、モジュールの装着位置を確認し、正しく接続してください。

(機器番号 2 の RM-200SA の接続例)



## ● マイク/ライン入力モジュール D-921E



### 1. モノラル入力端子 [1、2]

着脱式ターミナルブロックの電子バランス入力です。(H：ホット、C：コールド、E：アース)  
入力感度 (-50/-36/-10/+4 dB) およびファンタム電源 (+12 V) の ON/OFF は SX-2000 設定ソフトウェアで設定できます。

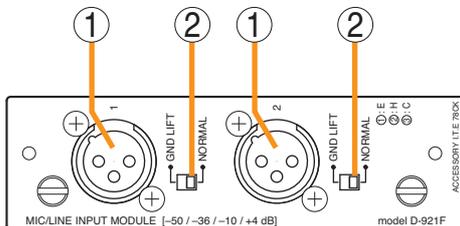
#### ご注意

接続には、必ず付属の着脱式ターミナルプラグ (3P) を使用してください。

### 2. グランドリフトスイッチ [GND LIFT/NORMAL]

SX-2000 システムを他の機器と接続したとき、アースがループをつくり「ブーン」という雑音 (ハム) を生じることがあります。このスイッチを GND LIFT 側に切り換えることで、そのアースループを切ることができます。

## ● マイク/ライン入力モジュール D-921F



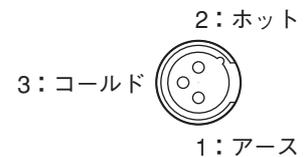
### 1. モノラル入力端子 [1、2] (XLR-3-31 相当品)

電子バランス型の入力端子です。

(1 番ピン：アース、2 番ピン：ホット、3 番ピン：コールド)

接続には、XLR-3-12C 相当品のコネクタを使用します。

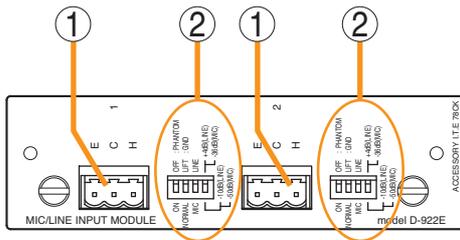
入力感度 (-50/-36/-10/+4 dB) およびファンタム電源 (+12 V) の ON/OFF は SX-2000 設定ソフトウェアで設定できます。



### 2. グランドリフトスイッチ [GND LIFT/NORMAL]

SX-2000 システムを他の機器と接続したとき、アースがループをつくりブーンという雑音 (ハム) を生じることがあります。このスイッチを GND LIFT 側に切り換えることで、そのアースループを切ることができます。

## ● マイク/ライン入力モジュール D-922E



### 1. モノラル入力端子 [1、2]

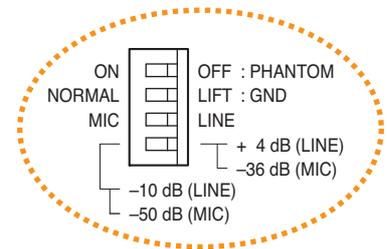
着脱式ターミナルブロックの電子バランス入力です。  
(H：ホット、C：コールド、E：アース)

#### ご注意

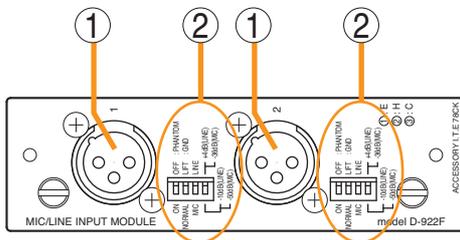
接続には、必ず付属の着脱式ターミナルプラグ (3P) を使用してください。

### 2. 入力感度設定スイッチ [PHANTOM、GND LIFT、MIC/LINE]

ファンタム電源(+12 V)のON/OFF (MIC時のみ有効)、グランドリフト、  
入力感度を設定する4極スイッチです。  
入力感度は、MIC のとき-50/-36 dB、LINE のとき-10/+4 dB の設定が  
できます。

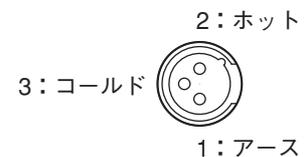


## ● マイク/ライン入力モジュール D-922F



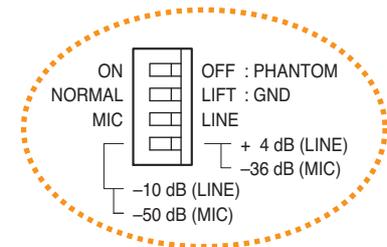
### 1. モノラル入力端子 [1、2] (XLR-3-31 相当品)

電子バランス型の入力端子です。  
(1番ピン：アース、2番ピン：ホット、3番ピン：コールド)  
接続には、XLR-3-12C相当品のコネクターを使用します。

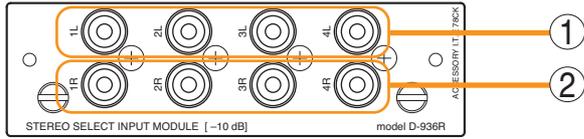


### 2. 入力感度設定スイッチ [PHANTOM、GND LIFT、MIC/LINE]

ファンタム電源(+12 V)のON/OFF (MIC時のみ有効)、グランドリフト、  
入力感度を設定する4極スイッチです。  
入力感度は、MIC のとき-50/-36 dB、LINE のとき-10/+4 dB の設定が  
できます。



## ● ステレオ入力モジュール D-936R



### ご注意

- このモジュールは、SX-2000 システムではモノラル入力機能でしか使用できません。
- モジュールのチャンネル表示と SX-2000 システムでのチャンネルは異なりますので、ご注意ください。

#### 1. モノラル1 入力端子 [1L/2L/3L/4L]

RCA ピンジャックの不平衡入力です。  
入力レベルは-10 dB です。

#### 2. モノラル2 入力端子 [1R/2R/3R/4R]

RCA ピンジャックの不平衡入力です。  
入力レベルは-10 dB です。

# 設置のしかた

## ■ SX-2000SM

### ● システムリセットの有効／無効の設定（DIP スイッチ 3 を操作）

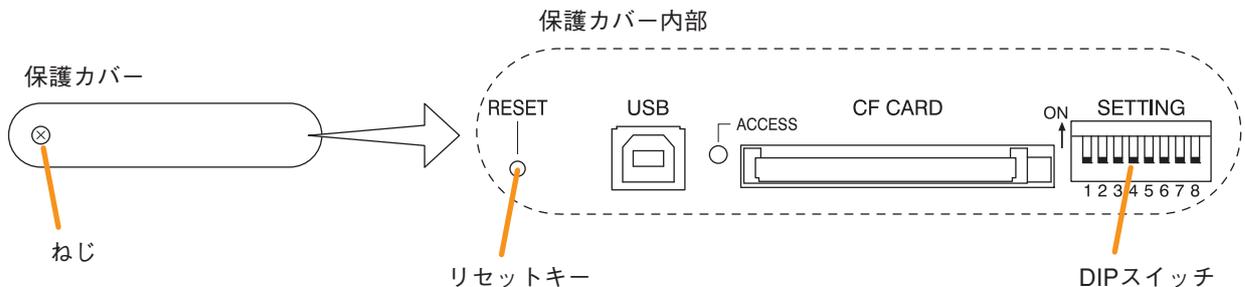
SX-2000SMのリセットキーによりシステム全体の再起動をすることができますが、同じことをSX-2000設定ソフトウェアのシステムリセットボタンの操作で行えるように設定できます。

SX-2000SMのDIPスイッチ3で、SX-2000設定ソフトウェアによるシステムリセットを許可する（有効）か許可しない（無効）かを設定します。

※ SX-2000設定ソフトウェアによるシステムリセットのしかたは、別冊のソフトウェア取扱説明書の「システムをリセットする」をお読みください。

## 1 SX-2000SM 前面の保護カバーを取り外す。

プラスドライバーでねじを外して、保護カバーを取り外します。



## 2 DIP スイッチを設定する。

### 2-1 システムリセットを許可する場合

DIP スイッチ 3 を OFF にします。

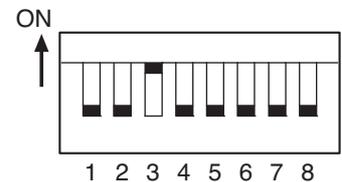
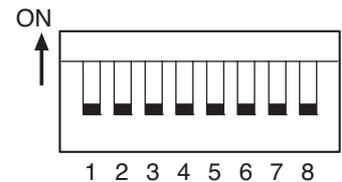
SX-2000設定ソフトウェアのシステムリセットボタンによる操作が有効になります。

### 2-2 システムリセットを許可しない場合

DIP スイッチ 3 を ON にします。

SX-2000設定ソフトウェアのシステムリセットボタンによる操作が無効になります。

※ 工場出荷時の DIP スイッチ 3 は OFF に設定されています。



## 3 保護カバーを元どおりに取り付ける。

## ● 故障リセットの操作方法の設定 (DIP スイッチ 4 を操作)

SX-2000SM の DIP スイッチ 4 で、SX-2000SM 前面にある FAULT RESET キーおよび後面にある情報入力端子の RES 端子による操作方法を次の 2 つから選択することができます。

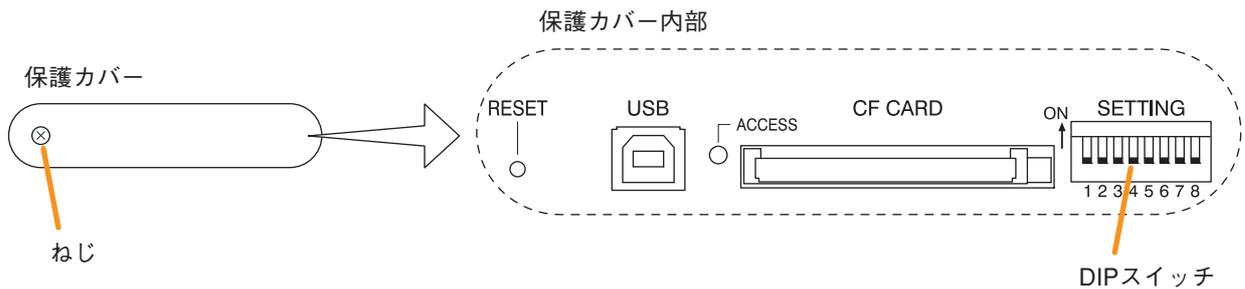
ワンタッチモード：キーを 1 回押す、または端子を 1 回短絡すると故障リセットができます。

誤操作防止モード：特殊な操作をすることにより、故障リセットができます。

※ 操作のしかたの詳細については、別冊の操作説明書「故障検知機能の使いかた」をお読みください。

### 1 SX-2000SM 前面の保護カバーを取り外す。

プラスドライバーでねじを外して、保護カバーを取り外します。

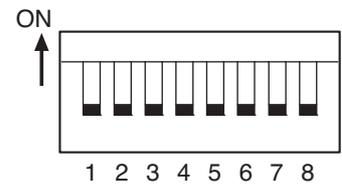


### 2 DIP スイッチを設定する。

#### 2-1 ワンタッチモードにする場合

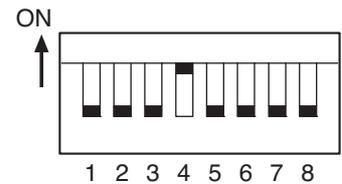
DIP スイッチ 4 を OFF にします。

※ 工場出荷時の DIP スイッチ 4 は OFF に設定されています。



#### 2-2 誤操作防止モードにする場合

DIP スイッチ 4 を ON にします。



### 3 保護カバーを元どおりに取り付ける。

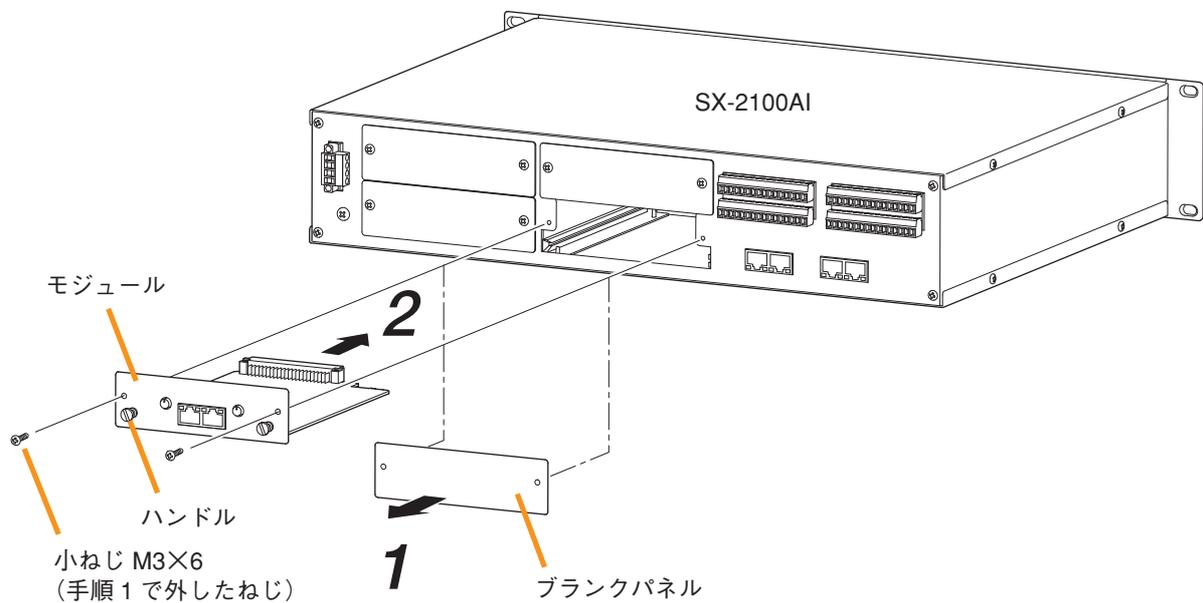
## ■ SX-2000AI、SX-2100AI

### ● モジュールの取り付けかた

#### ご注意

- モジュールの着脱は、電源OFFの状態で行ってください。電源を入れたまま行くと、故障の原因となります。
- モジュールの基板上の部品には触れないようにしてください。静電気により故障する恐れがあります。
- モジュールは正しい位置・方向に確実に装着し、ねじ止めしてください。
- 空きスロットには、工場出荷時にSX-2000AI、SX-2100AIに取り付けられているblankパネルをそのまま装着してください。
- モジュールの左右にある銀色のマイナスねじは、モジュールを引き抜くためのハンドルです。ねじとしての機能はありませんので、回さないでください。

※ 下図はSX-2100AIにRMモジュールSX-200RMを取り付ける例を示しています。



### 1 SX-2000AI/2100AIのスロットのblankパネルを取り外す。

※ 取り外したねじは、手順2で使用します。

### 2 モジュールを取り付ける。

モジュールを挿入し、手順1で取り外したねじ（小ねじM3×6）で固定します。

使用できるモジュールは以下のとおりです。

- SX-200RM (RMモジュール)
- D-921E (マイク/ラインインプットモジュール)
- D-921F (マイク/ラインインプットモジュール)
- D-922E (マイク/ラインインプットモジュール)
- D-922F (マイク/ラインインプットモジュール)
- D-936R (ステレオインプットモジュール)
- SX-200IP (IPモジュール)

※ SX-200IPについての詳細は、SX-200IPに付属の取扱説明書をお読みください。

#### ご注意

上記以外のモジュールは、使用しないでください。

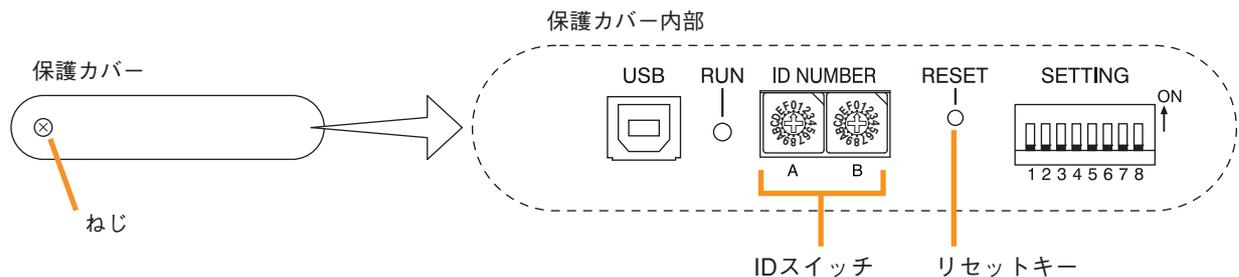
## ● 機器番号の設定

### ご注意

- 複数のSX-2000AI、SX-2100AIの機器番号を設定する場合は、機器ごとに異なった番号を設定してください。使用できる番号は、SX-2000設定ソフトウェアで設定したSX-2000AIとSX-2100AIを合わせた台数の範囲内です。
- 機器番号を重複して設定した場合、その番号のSX-2000AIおよびSX-2100AIは、SX-2000システム上で制御できなくなります。

## 1 SX-2000AI/2100AI 前面の保護カバーを取り外す。

プラスドライバーでねじを外して、保護カバーを取り外します。



## 2 IDスイッチを設定する。

IDスイッチ	ID NUMBER		0							
	A	B	0	1	2	3	4	5	6	7
設定位置			<b>機器番号</b>							
			1	2	3	4	5	6	7	8

※ 工場出荷時は機器番号1に設定されています。

## 3 リセットキーを押す。

SX-2000AI/2100AIが再起動します。

### ご注意

再起動すると、一部のゾーンまたはシステム全体の放送が停止します。

## 4 保護カバーを元どおりに取り付ける。

## ● 制御出力の出力形式を変更するとき（SX-2100AIのみ）



### 警告

ここに記載の作業は専門業者にご依頼ください。  
お客様ご自身で、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

SX-2100AIの制御出力は出荷時にはノーマルオープン出力ですが、CIO基板のジャンパー設定を変更することにより、ノーマルクローズ出力にすることができます。

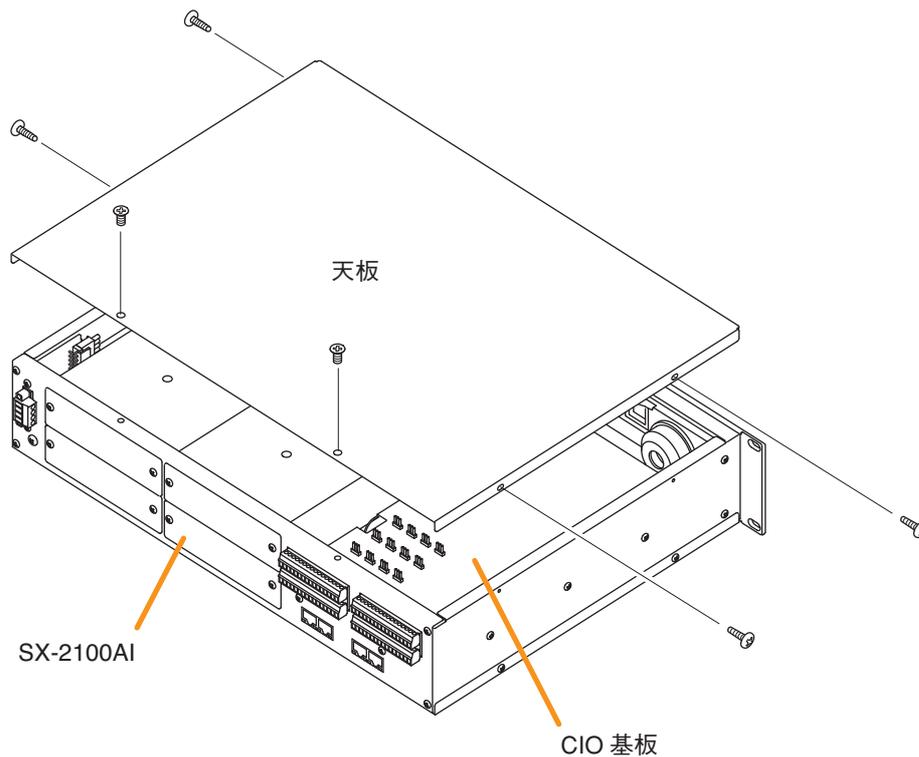
#### ご注意

- この作業は、電源OFFの状態で行ってください。
- 基板上の部品には触れないでください。静電気により、故障の恐れがあります。

## 1 SX-2100AIの天板を取り外す。

**ご注意** ねじの形状に注意してください。

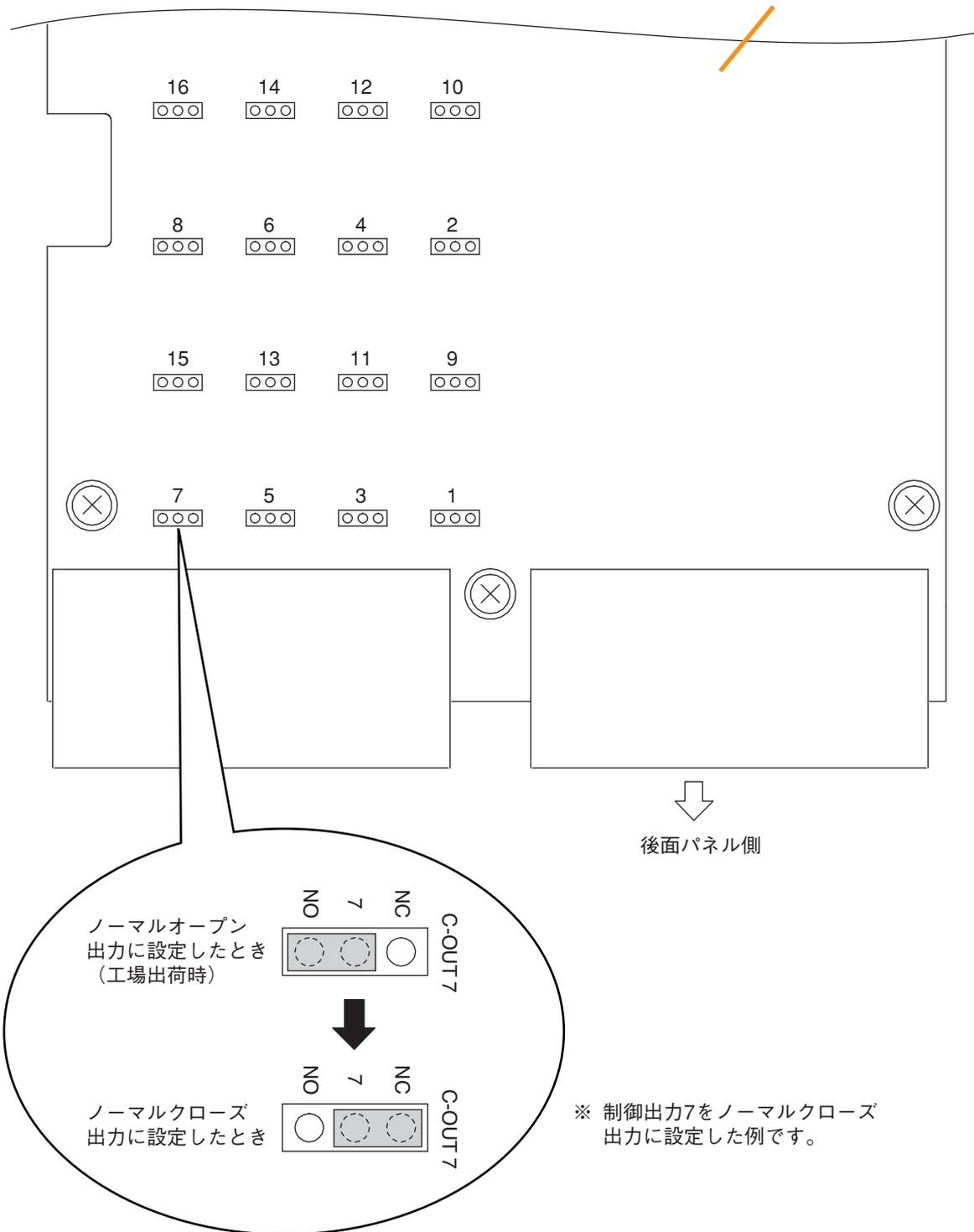
- 天面：皿小ねじ M3×6（2本）
- 側面：バインド小ねじ M3×6（4本）



## 2 CIO基板のジャンパーを設定する。

各ジャンパーの番号は制御出力番号に対応しています。

SX-2100AI  
CIO基板



## 3 天板を元どおりに取り付ける。

### ご注意

天板を取り付けるときは、ねじの形状に注意してください。(手順1を参照。)

# SX-2000AO

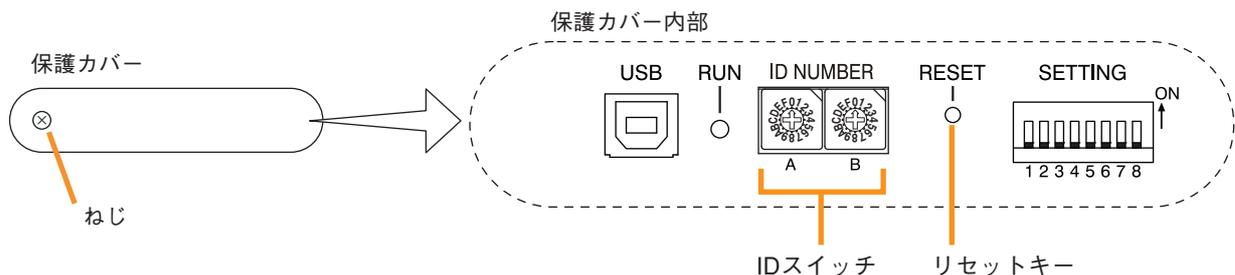
## ● 機器番号の設定

### ご注意

- 複数のSX-2000AOの機器番号を設定する場合は、機器ごとに異なった番号を設定してください。使用できる番号は、SX-2000設定ソフトウェアで設定したSX-2000AO台数の範囲内です。
- 機器番号を重複して設定した場合、その番号のSX-2000AOは、SX-2000システム上で制御できなくなります。

## 1 SX-2000AO前面の保護カバーを取り外す。

プラスドライバーでねじを外して、保護カバーを取り外します。



## 2 IDスイッチを設定する。

ID スイッチ 設定位置	ID NUMBER																	
	A	B	0															
	B		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
機器番号			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16

ID スイッチ 設定位置	ID NUMBER																	
	A	B	1															
	B		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
機器番号			17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32

※ 工場出荷時は機器番号1に設定されています。

## 3 リセットキーを押す。

SX-2000AOが再起動します。

**ご注意** 再起動すると、現在そのSX-2000AOを使って行われている放送は停止します。

## 4 保護カバーを元どおりに取り付ける。

## ● 非常断 24 V 入力の設定 (DIP スイッチ 8 を操作)

SX-2000AO 後面の非常断 24 V 入力端子を使用するかしないかを設定できます。

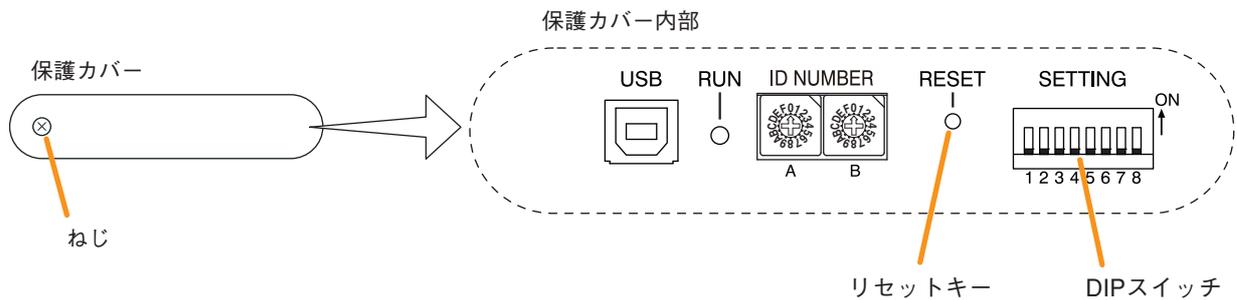
他の非常用システムと組み合わせて使用する場合に非常断 24 V 入力端子を使用する設定にしておくこと、通常はこの端子に DC24 V を供給し、非常時に DC24 V 入力を断つこと (非常断 24 V) により SX-2000 システムの業務放送を停止して他のシステムの非常放送に切り換わります。このとき、SX-2000SM 前面の EMERGENCY 表示灯および非常断 24 V 状態になっている SX-2000AO の前面パネル蛍光表示部の EMERGENCY 表示が点滅します。

### ご注意

他の非常用システムと組み合わせて使用する場合は、DIP スイッチ 8 を ON にしてください。

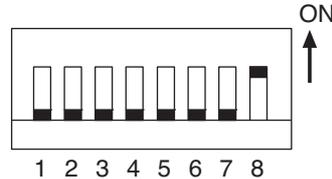
## 1 SX-2000AO 前面の保護カバーを取り外す。

プラスドライバーでねじを外して、保護カバーを取り外します。



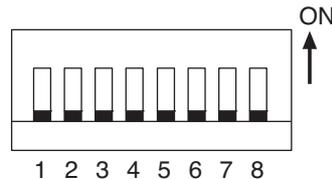
## 2 DIP スイッチを設定する。

2-1 非常断 24 V 入力を使用する場合  
DIP スイッチ 8 を ON にします。



※ 工場出荷時の DIP スイッチ 8 は OFF に設定されています。

2-2 非常断 24 V 入力を使用しない場合  
DIP スイッチ 8 を OFF にします。



## 3 保護カバーを元どおりに取り付ける。

## ● 出力をトランス出力にするとき



### 警告

ここに記載の作業は専門業者にご依頼ください。  
お客様ご自身で、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

別売のトランスIT-450を取り付けることにより、出力を電子バランス出力からトランス出力にすることができます。

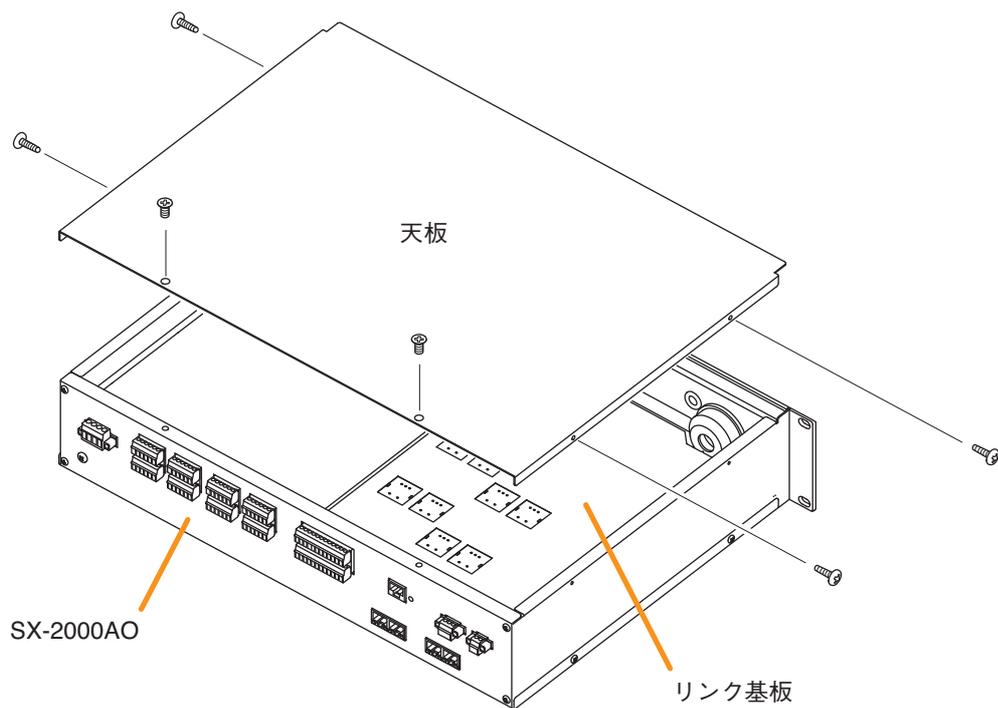
#### ご注意

- トランスの実装は、電源OFFの状態で行ってください。
- 基板上の部品には触れないでください。静電気により、故障の恐れがあります。

## 1 SX-2000AOの天板を取り外す。

**ご注意** ねじの形状に注意してください。

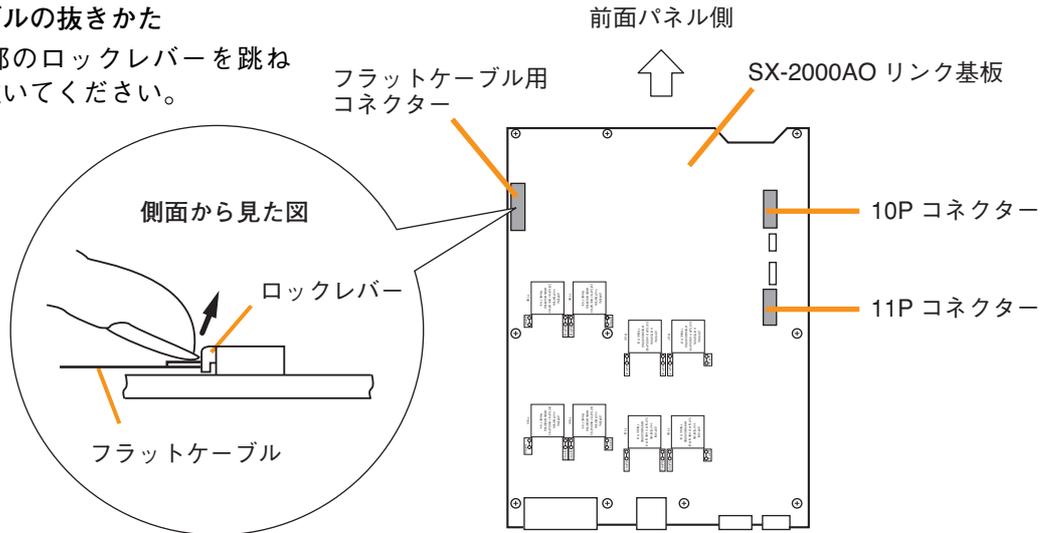
- 天面：皿小ねじ M3×6 (2本)
- 側面：バインド小ねじ M3×6 (4本)



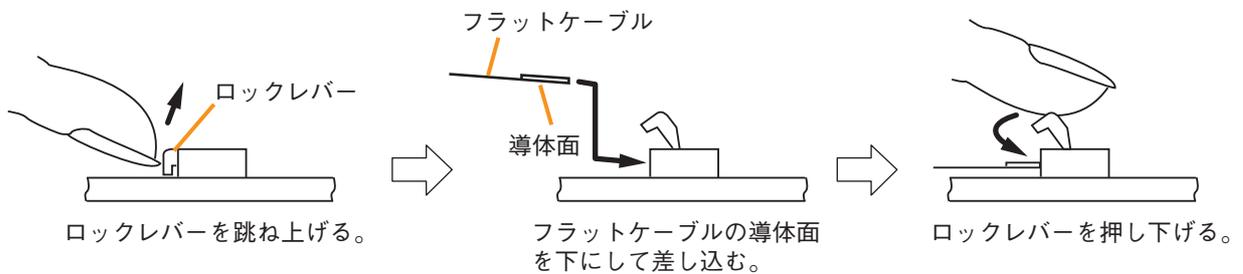
## 2 リンク基板に接続されているフラットケーブルとコネクタ（10P、11P）を抜く。

### ●フラットケーブルの抜きかた

コネクタ上部のロックレバーを跳ね上げてから、抜いてください。

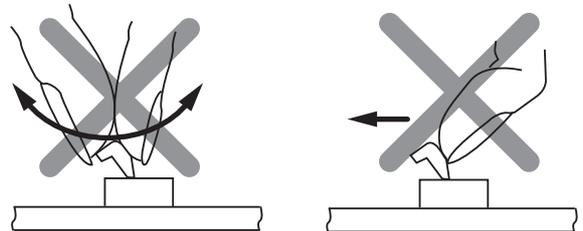


### ●フラットケーブルの挿入のしかた

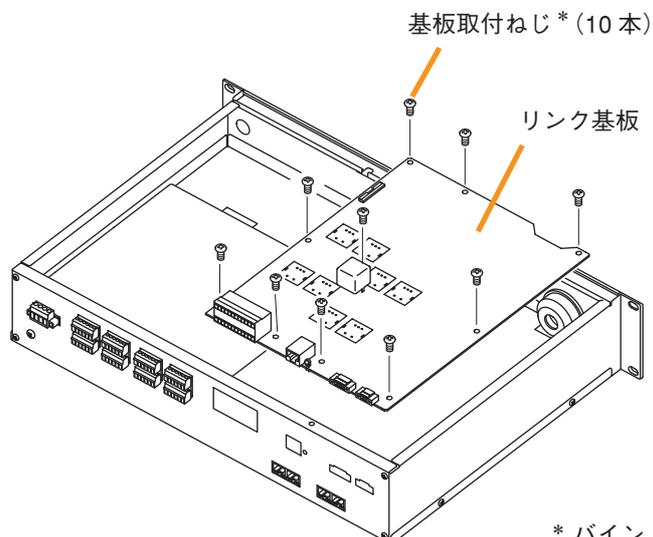


### 【ご注意】

ロックレバーは、支点を軸に回転させて開閉してください。  
 ロックレバーを指でつまんだり、ひねるような動きはしないでください。  
 また、水平方向に力を加えないでください。  
 扱いかたを誤ると、破損することがあります。



## 3 10本の基板取付ねじを外して、リンク基板を取り外す。



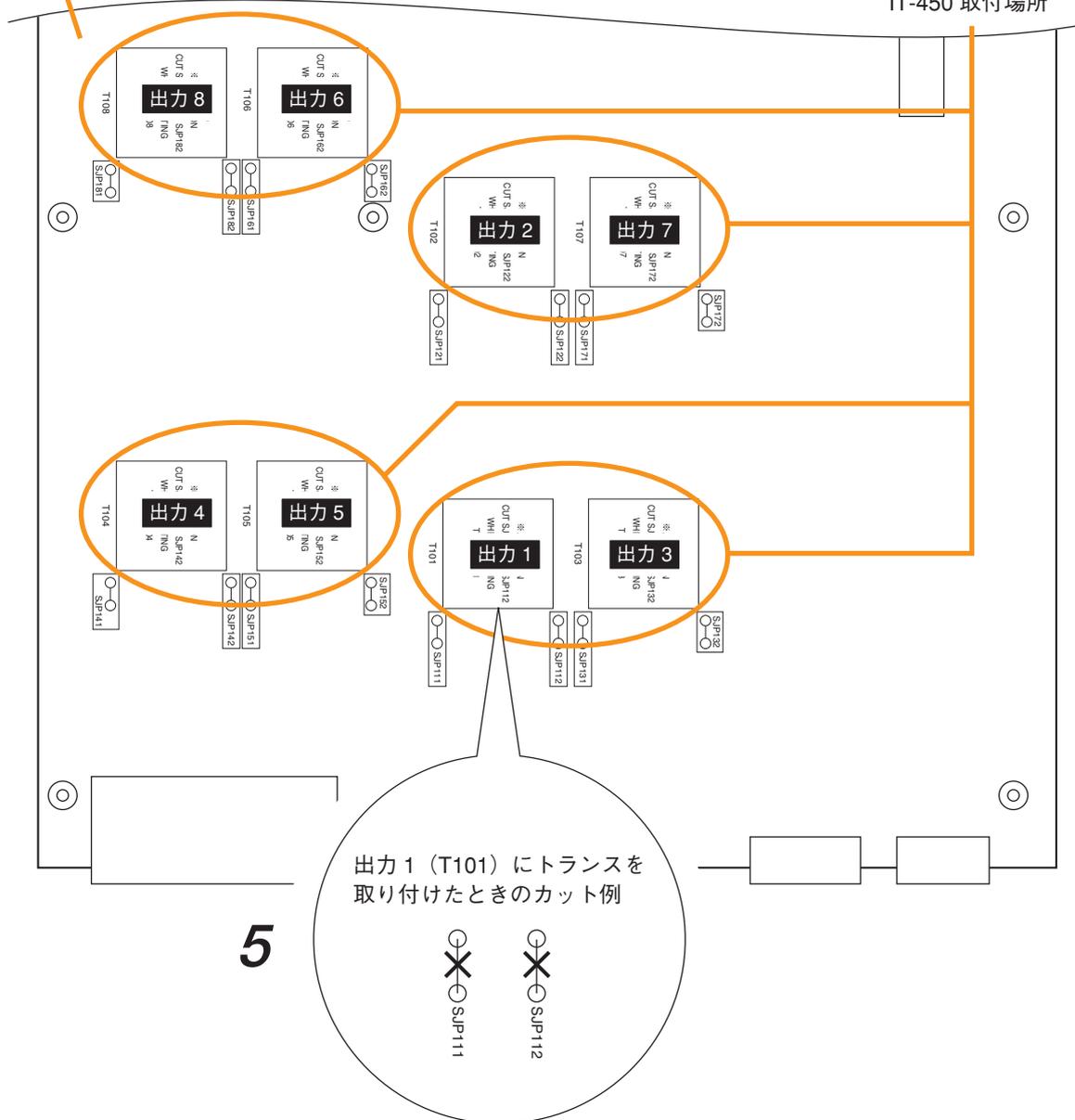
\* バインド小ねじ（ばね・平座金付き）M3×6

SX-2000AO リンク基板

前面パネル側

4

IT-450 取付場所



**4** 出力1～8のトランス取付場所にIT-450を取り付け、はんだ付けする。

出力1：T101、出力2：T102、出力3：T103、出力4：T104、

出力5：T105、出力6：T106、出力7：T107、出力8：T108

**5** 取り付けたトランスの両側のジャンパー線をカットする。

**ご注意**

カットしたジャンパー線の断片がトランスのケースに触れないようにしてください。

**6** リンク基板、天板を元どおりに取り付ける。

**ご注意**

- リンク基板、天板を取り付けるときは、ねじの形状に注意してください。(手順1、3を参照。)
- リンク基板にフラットケーブルを取り付けるときは、コネクターの取り扱いに注意してください。(手順2を参照。)

## ■ SX-2000CO

### ● 緊急一斉放送時に制御出力を ON にする方法



## 警告

ここに記載の作業は専門業者にご依頼ください。  
お客様ご自身で、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

SX-2000CO の制御出力は、出荷時には緊急一斉放送時に OFF になりますが、機器内部の DIP スイッチの設定を変更することにより、緊急一斉放送時に ON にさせることができます。

### ご注意

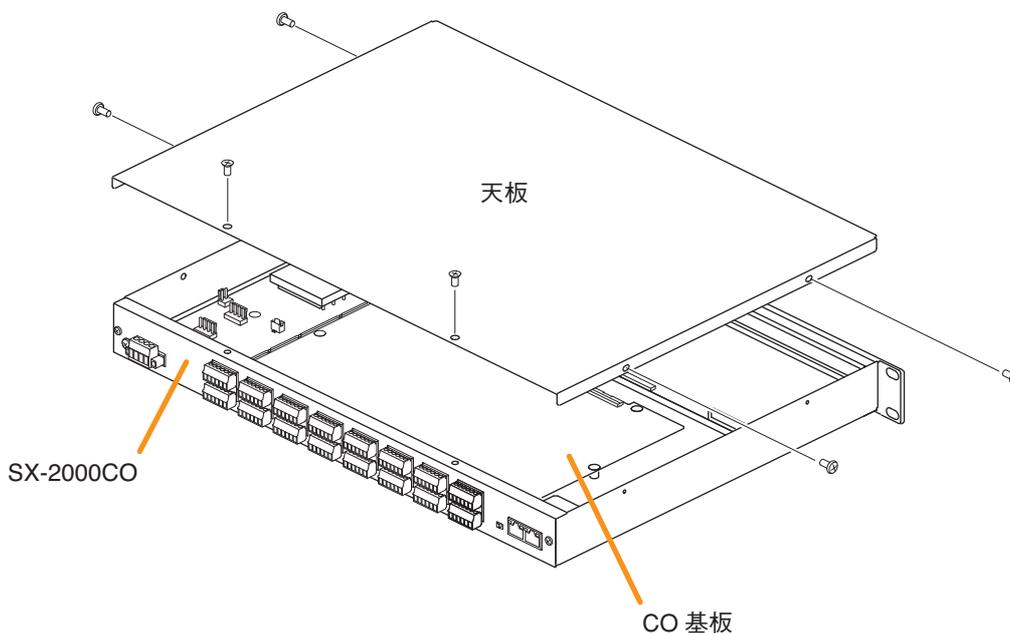
- この作業は、電源 OFF の状態で行ってください。
- 基板上の部品には触れないでください。静電気により、故障の恐れがあります。

## 1 SX-2000CO の天板を取り外す。

**ご注意** ねじの形状に注意してください。

天面：皿小ねじ M3×6 (2本)

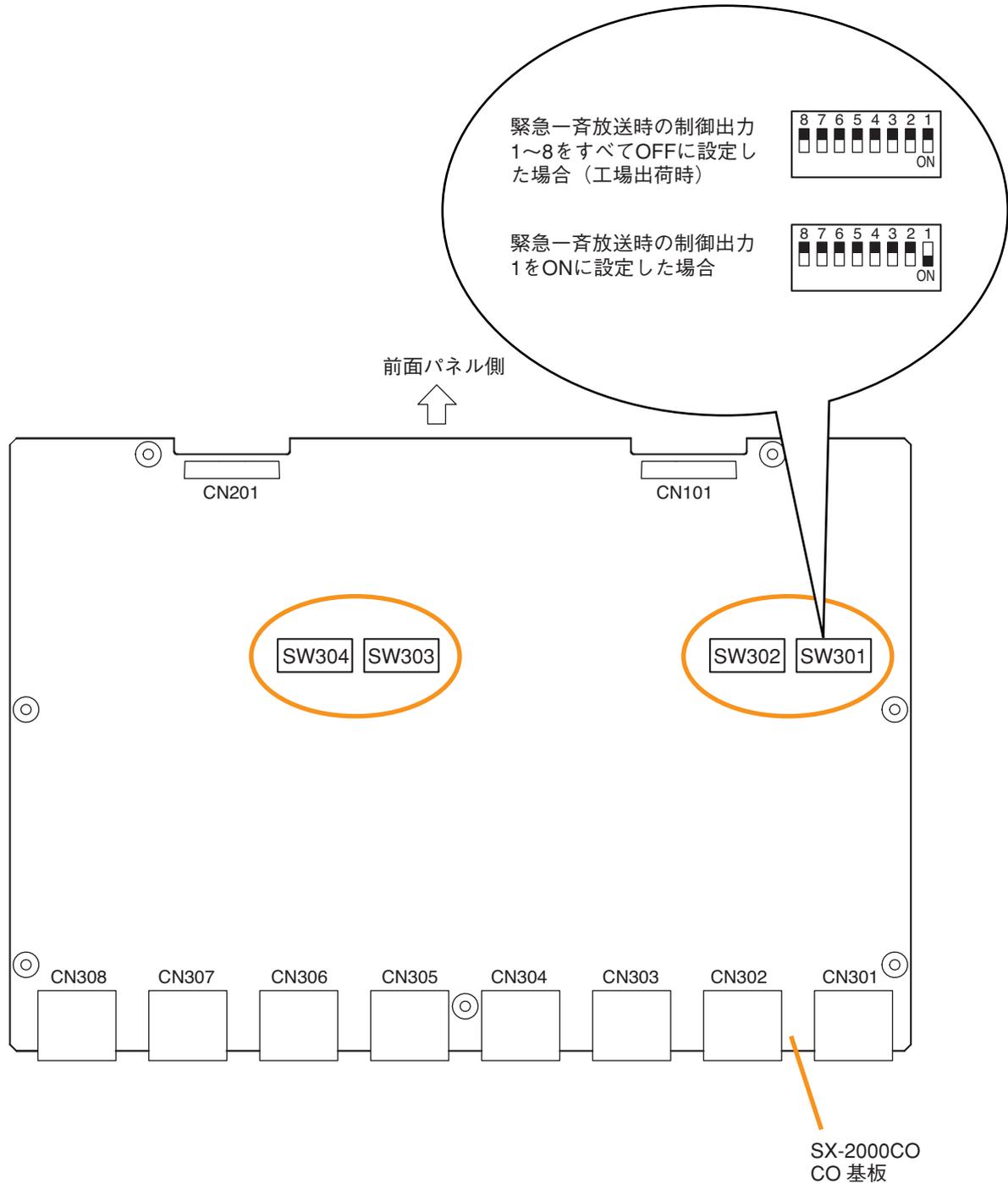
側面：バインド小ねじ M3×6 (4本)



## 2 CO基板のDIPスイッチを設定する。

制御出力のチャンネルとCO基板上のDIPスイッチの対応は次のとおりです。

- 制御出力チャンネル1～8 : SW301
- 制御出力チャンネル9～16 : SW302
- 制御出力チャンネル17～24 : SW303
- 制御出力チャンネル25～32 : SW304



## 3 天板を元どおりに取り付ける。

### ご注意

天板を取り付けるときは、ねじの形状に注意してください。（手順1を参照。）

## ■ ラックへの取り付けかた



### 注意

各機器に付属のラック取付ねじは、当社のラック専用です。他のラックには使用しないでください。守らないと、けがの原因となることがあります。

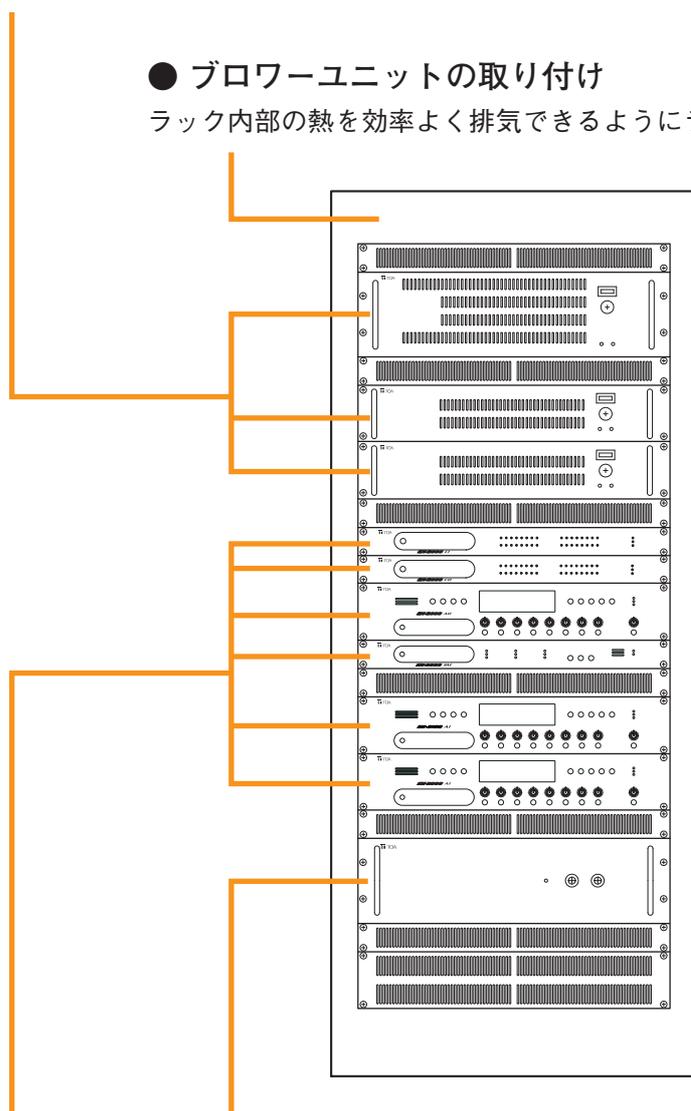
**ご注意** ラック前面のスペースには、通気パネルを取り付けることをお勧めします。

### ● パワーアンプの取り付け

- ・放熱効果を高めるためにラック上方に取り付けてください。
- ・空き部分には、放熱のため通気パネル (PF-013B、PF-023B) を取り付けてください。
- ・重量のある機器を取り付ける場合は、別売のガイドレール YA-706 を利用してください。

### ● ブロワーユニットの取り付け

ラック内部の熱を効率よく排気できるようにラックの天面に取り付けてください。



1	PF-013B
2	パワーアンプ
3	
4	
5	PF-013B
6	パワーアンプ
7	
8	パワーアンプ
9	
10	PF-013B
11	SX-2000CI
12	SX-2000CO
13	SX-2000AO
14	
15	
16	PF-013B
17	SX-2100AI
18	
19	SX-2000AI
20	
21	PF-013B
22	AD-031B
23	
24	
25	PF-013B
26	PF-023B
27	

### ● 直流電源パネルの取り付け

- ・AD-011 は、2 台までの積み重ね設置ができます。
- ・AD-031B は発熱量が大きいため、1 台ごとに上下に通気パネルを取り付けてください。

### ● SX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AO、SX-2000CI、SX-2000COの取り付け

- ・通気パネル、ガイドレールの使用など、特に取り付け制限はありません。
- ・パワーアンプなどの発熱量の大きい機器より下で、操作性、周辺機器との接続を考慮した位置に取り付けてください。

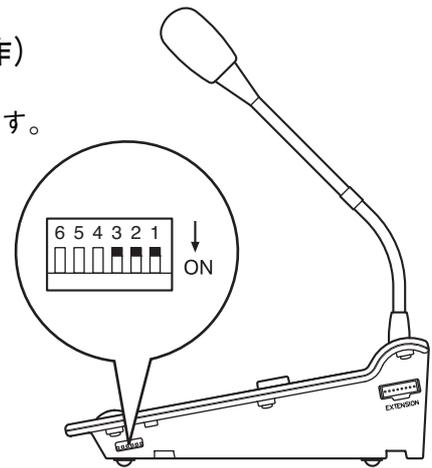
# ■ RM-200SA、RM-210

## ● RM-200SAの機器番号の設定（DIPスイッチ1～3を操作）

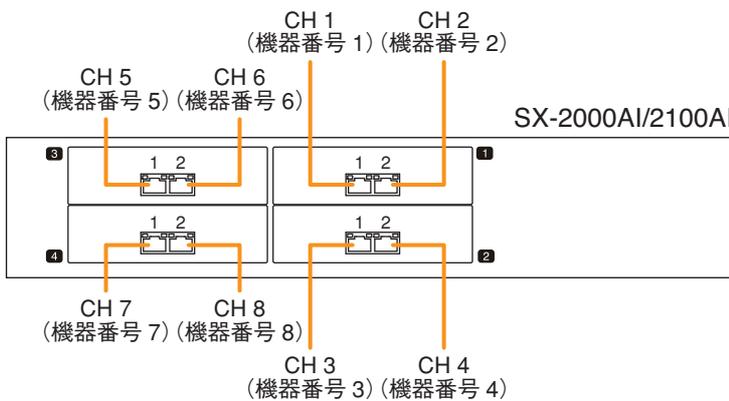
RM-200SA側面のDIPスイッチ1～3で機器番号（ID番号）を設定します。

### ご注意

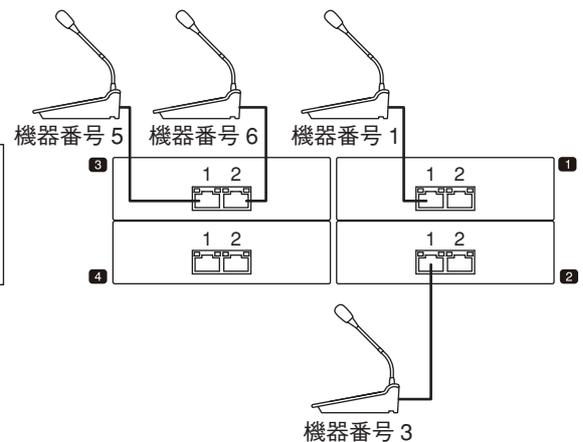
RM-200SAはSX-2000AIまたはSX-2100AIに装着されたSX-200RMの各入力に対して1台ずつ接続します。  
 RM-200SAが接続できる入力チャンネルは、SX-2000設定ソフトウェアで割り当てられており、RM-200SAの機器番号は、接続先の各SX-2000AI、各SX-2100AIの入力チャンネル番号と同じ番号にする必要があります。



[SX-2000AI/2100AIのチャンネル番号と機器番号]



[設定例]



機器番号	DIPスイッチ3	DIPスイッチ2	DIPスイッチ1	図
1 (工場出荷時)	OFF	OFF	OFF	
2	OFF	OFF	ON	
3	OFF	ON	OFF	
4	OFF	ON	ON	
5	ON	OFF	OFF	
6	ON	OFF	ON	
7	ON	ON	OFF	
8	ON	ON	ON	

## ● 入力感度の調節 (DIP スイッチ 4 を操作)

マイクの入力感度を調節します。

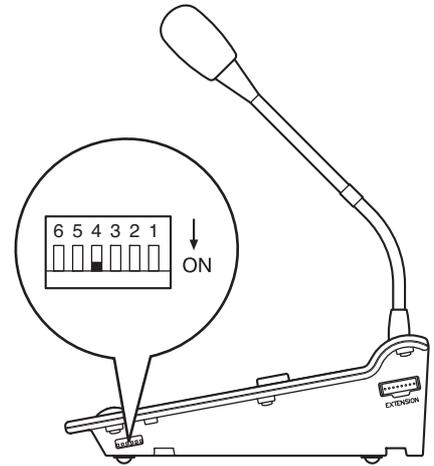
DIP スイッチ 4 の操作で放送状態表示灯を出力信号レベル表示機能\*に切り換えることができますので、以下の手順で調節してください。

\* マイクで放送しているときは出力信号レベルを表示し、マイクを使用していないときは放送状態を表示します。

### 1 RM-200SA 側面の DIP スイッチ 4 を ON にする。

RM-200SA 上面の放送状態表示灯が出力信号レベル表示機能に切り換わります。

※ DIP スイッチ 4 は、工場出荷時は OFF に設定されています。

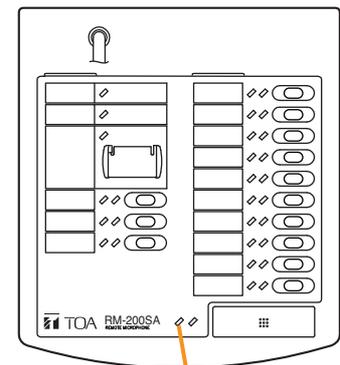


### 2 マイクに向かって話す。

放送状態表示灯がマイクの入力信号レベルを表示します。各表示灯が示す出力レベルは、次の表のとおりです。

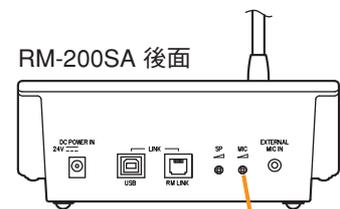
表示灯の色	出力信号レベル
赤色点灯	0 dB 以上
緑色点灯	-20 ~ 0 dB <span style="color: red;">→</span> 適正レベル
消灯	-20 dB 以下

RM-200SA 上面



放送状態表示灯

### 3 放送状態表示灯が緑色に点灯するように、マイク音量つまみでマイク入力感度を調節する。



マイク音量調節器

### 4 RM-200SA 側面の DIP スイッチ 4 を OFF にする。

#### ご注意

DIP スイッチ 4 は、マイク入力感度を調節した後、OFF にしておいてください。

## ● CPU オフ機能（緊急一斉放送）の設定（DIP スイッチ 5 を操作）

CPU オフ機能とは、SX-2000 システムが通常放送時に使用している CPU \*1 をバイパスさせ、アナログリンクを使用して、RM-200SA から一斉放送を行う機能です。システムの故障などで通常の放送ができないときに使用します。RM-200SA の緊急一斉放送キーを 4 秒以上押し続けている間だけ、RM-200SA からの音声をシステム内のすべてのゾーンに放送することができます。

この機能を使用するかしないかを、RM-200SA 側面の DIP スイッチ 5 で設定します。（放送のしかたは、別冊の操作説明書「操作のしかた」をお読みください。）

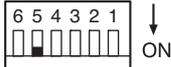
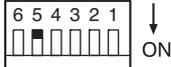
ただし、非常断 24 V \*2 状態のときは、他のシステムによる非常放送が優先になりますので、CPU オフ機能を使った一斉放送はできません。

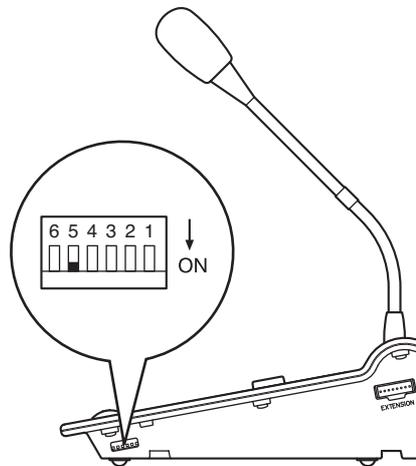
\*1 信号処理装置で SX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、および SX-2000AO に搭載

\*2 SX-2000 システムは、非常音声入力を制御するための非常断 24 V 入力端子を SX-2000AO 後面に備えています。SX-2000 システムを他の非常システムと組み合わせて使用する場合、通常はこの端子に DC24 V を供給し、非常時に DC24 V 入力を断つこと（非常断 24 V）により SX-2000 システムの業務放送を停止して他のシステムの非常放送に切り換わります。（ P. 93）

### ご注意

アナログリンクを使用しないシステムでは、CPU オフ機能を「使用しない」にしてください。

CPU オフ機能 (緊急一斉放送)	DIP スイッチ 5	図
使用する	ON (工場出荷時)	
使用しない	OFF	

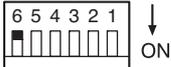
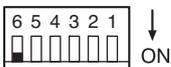


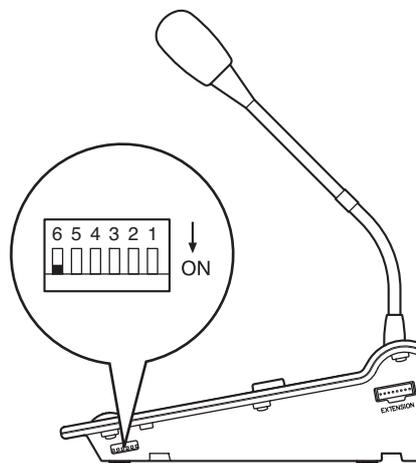
## ● RM 通信機能の設定（DIP スイッチ 6 を操作）

RM 通信機能を自動設定（OFF）か、9600 bps 固定（ON）にするかを設定します。

通常は自動設定（OFF）にします。ただし、リモートマイク本体への接続延長距離が長いときなど、条件によって、通信が不安定になることがあります。そのときは、9600 bps 固定（ON）に設定してください。

システムに接続するすべてのリモートマイクの RM 通信機能のスイッチを同じ設定にしてください。

RM 通信機能	DIP スイッチ 6	図
自動設定	OFF (工場出荷時)	
9600 bps 固定	ON	



## ● 外部マイクを使用するとき



### 警告

ここに記載の作業は専門業者にご依頼ください。  
お客様ご自身で、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

RM-200SAの基板上的ジャンパー設定を変更することにより、外部マイクを使用できるようになります。

#### ご注意

- この作業は、電源OFFの状態で行ってください。
- 基板上的の部品には触れないでください。静電気により、故障の恐れがあります。

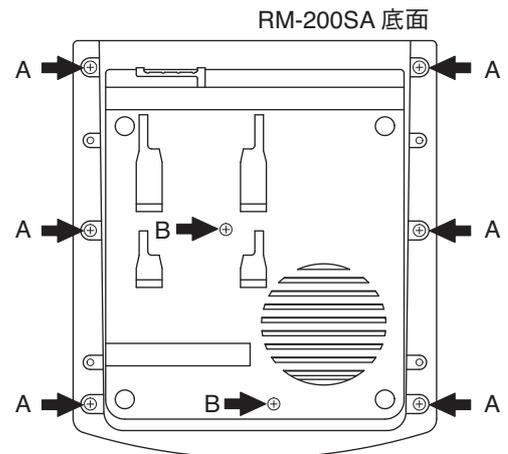
## 1 RM-200SAの上ケースを開ける。

右図に示す8本のねじを外して、上ケースを開けます。

#### ご注意

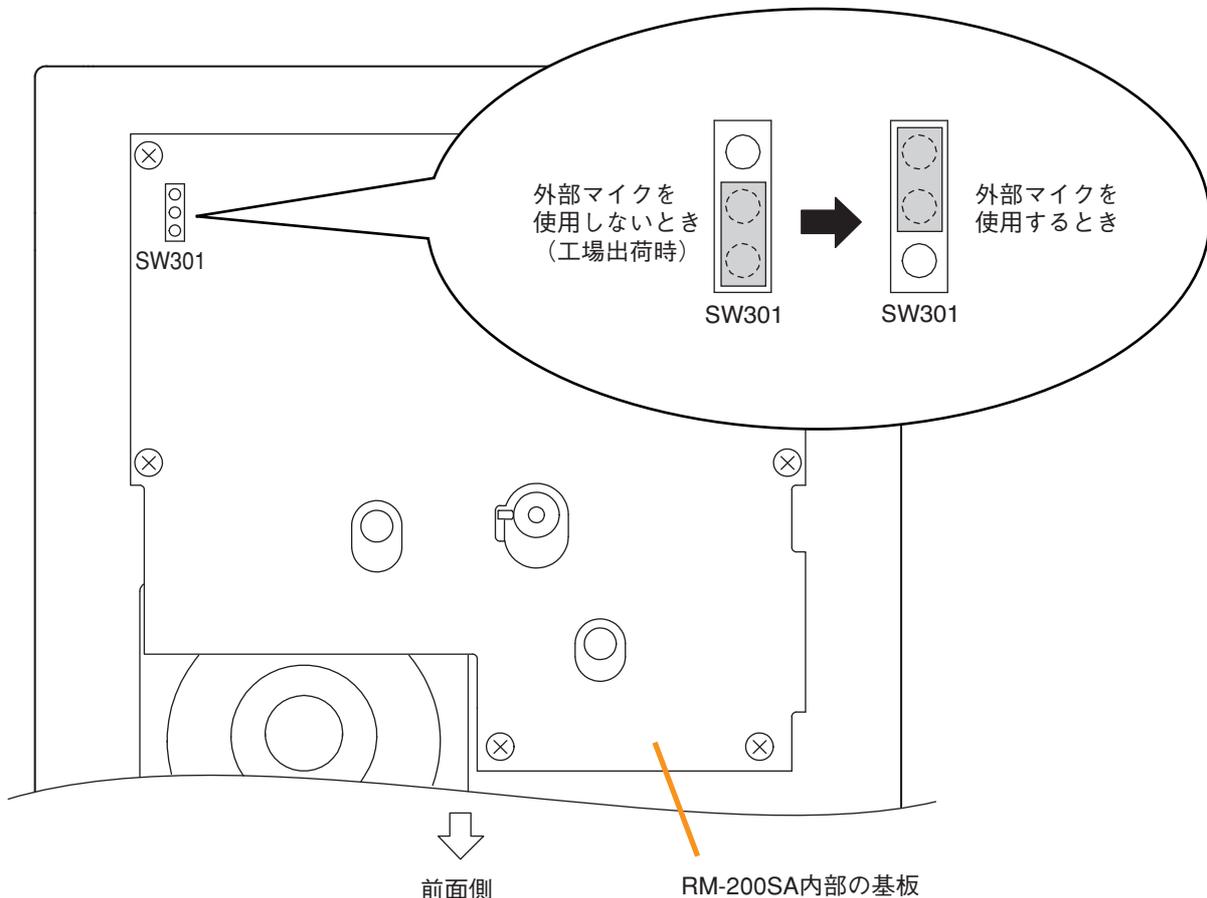
ねじの種類に注意してください。

- A：タッピンねじ3×8（白銀色）……6本
- B：タッピンねじ3×10（黒色）……2本



## 2 基板上的のジャンパーを設定する。

下ケースに取り付けられている基板上的のジャンパー（SW301）を下図のように設定します。



### 3 RM-200SAの上ケースを元どおりに取り付ける。

#### ご注意

上ケースを取り付けるときは、ねじの種類に注意してください。(手順1を参照。)

#### [RM-200SAの外部入力端子に接続するプラグ]

平衡型ミニプラグまたは不平衡型ミニプラグのチップ/スリーブ間に信号を入力してください。

#### [平衡型ミニプラグ]

スリーブ：接地



#### [不平衡型ミニプラグ]

スリーブ：接地



#### メモ

外部マイクには、WH-1000、WH-4000A、YP-M101、YP-M301が使用できます。

## ● コンプレッサー機能の設定



### 警告

ここに記載の作業は専門業者にご依頼ください。  
お客様ご自身で、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

コンプレッサー機能を使用すると、大きな信号のときでも歪むことなく放送ができます。  
(工場出荷時は「使用する」に設定されています。)

#### ご注意

- この作業は、電源OFFの状態で行ってください。
- 基板上の部品には触れないでください。静電気により、故障の恐れがあります。

### 1

RM-200SAの上ケースを開ける。

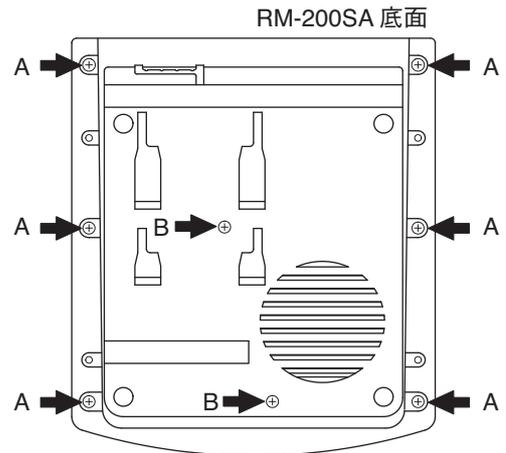
右図に示す8本のねじを外して、上ケースを開けます。

#### ご注意

ねじの種類に注意してください。

A：タッピンねじ3×8（白銀色）……6本

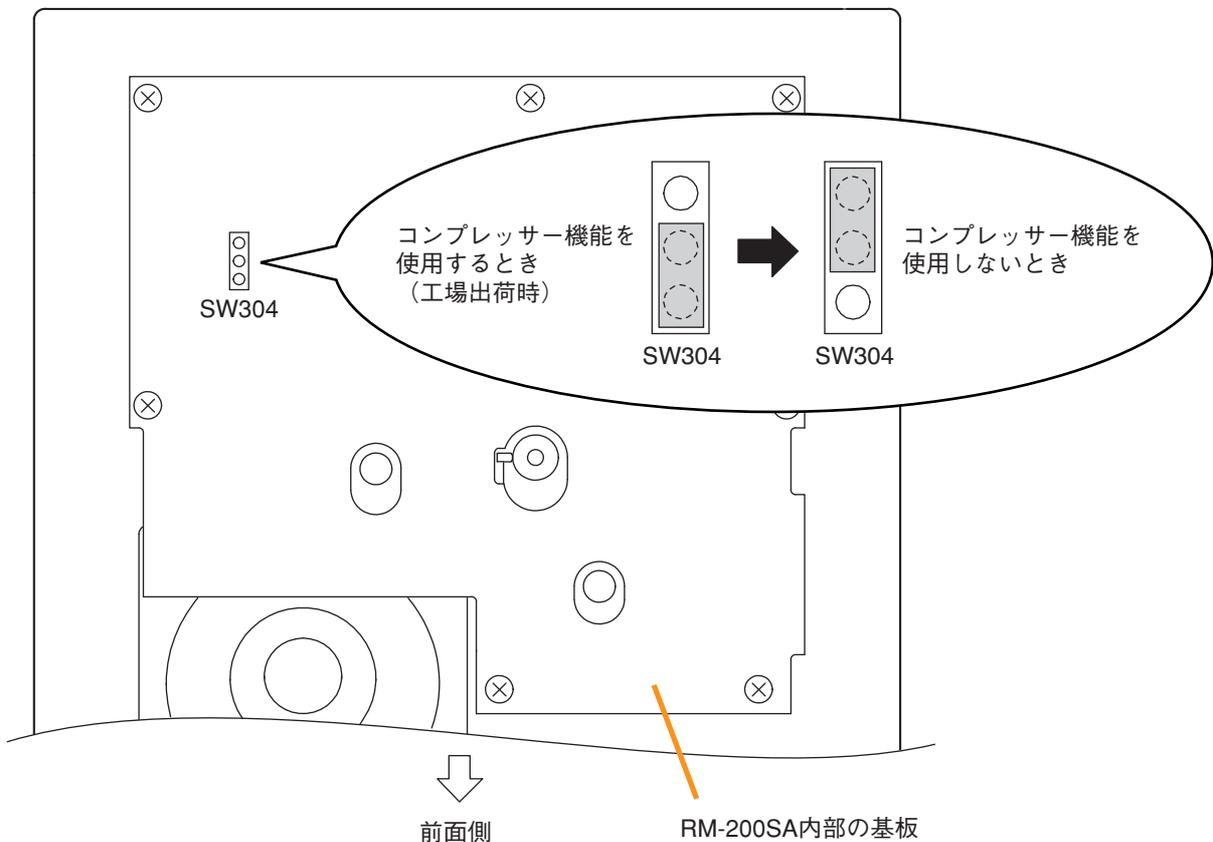
B：タッピンねじ3×10（黒色）……2本



### 2

基板上的ジャンパーを設定する。

下ケースに取り付けられている基板上的ジャンパー（SW304）を下図のように設定します。



### 3

RM-200SAの上ケースを元どおりに取り付ける。

**ご注意** 上ケースを取り付けるときは、ねじの種類に注意してください。(手順1を参照。)

## ● マイク故障検知機能の設定



### 警告

ここに記載の作業は専門業者にご依頼ください。  
お客様ご自身で、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

RM-200SAにはマイクの故障検知機能があり、この機能をオフにすることができます。  
(工場出荷時はオンに設定されています。)

#### ご注意

- この作業は、電源OFFの状態で行ってください。
- 基板上の部品には触れないでください。静電気により、故障の恐れがあります。

### 1

RM-200SAの上ケースを開ける。

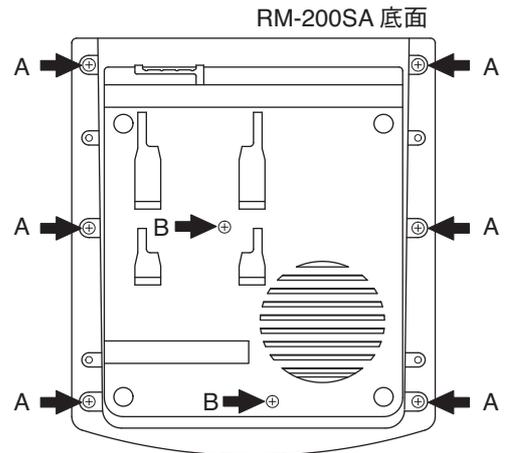
右図に示す8本のねじを外して、上ケースを開けます。

#### ご注意

ねじの種類に注意してください。

A：タッピンねじ3×8（白銀色）……6本

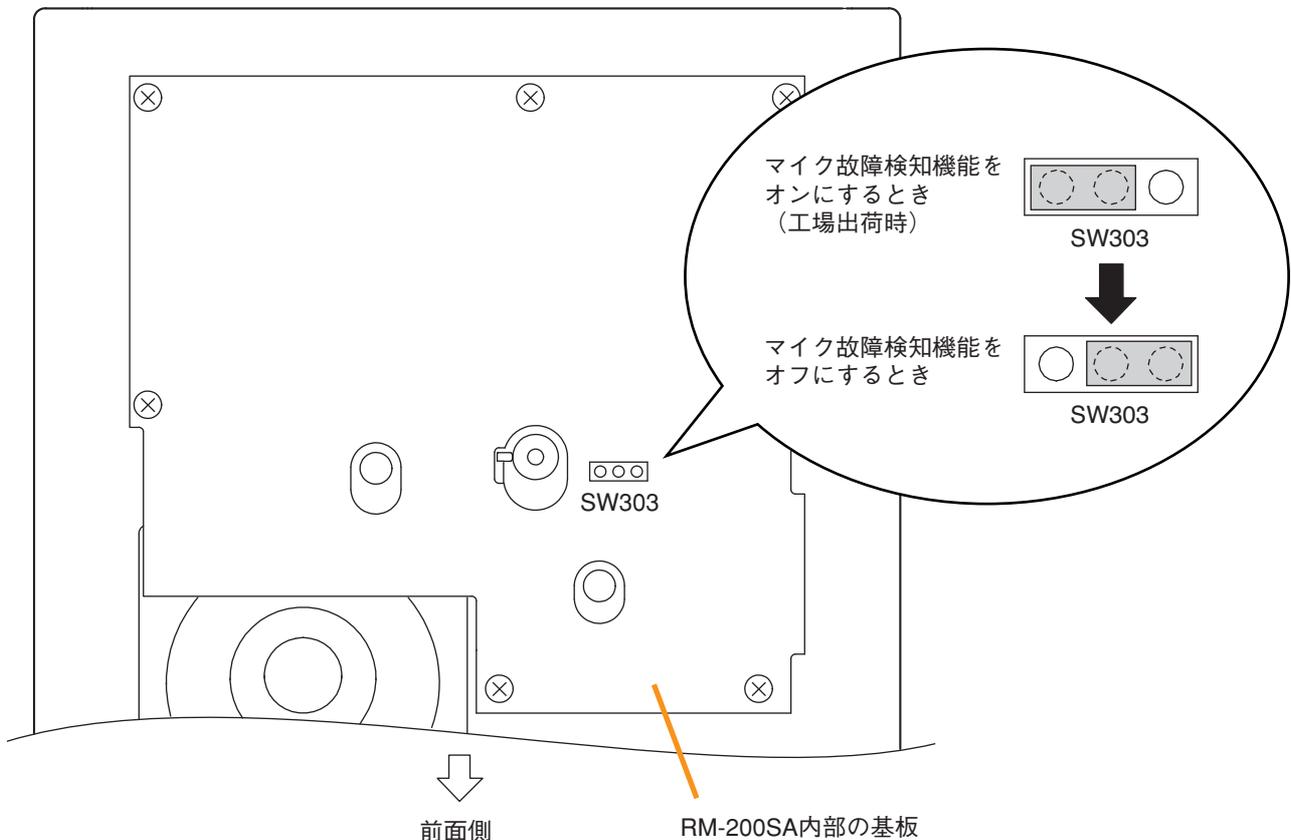
B：タッピンねじ3×10（黒色）……2本



### 2

基板上のジャンパーを設定する。

下ケースに取り付けられている基板上のジャンパー（SW303）を下図のように設定します。



### 3

RM-200SAの上ケースを元どおりに取り付ける。

**ご注意** 上ケースを取り付けるときは、ねじの種類に注意してください。(手順1を参照。)

## ● RM-200SA と RM-210 の連結のしかた（卓上設置のとき）

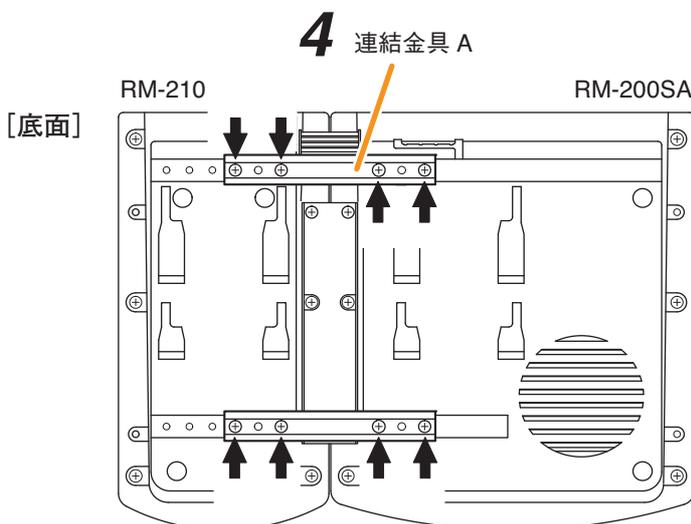
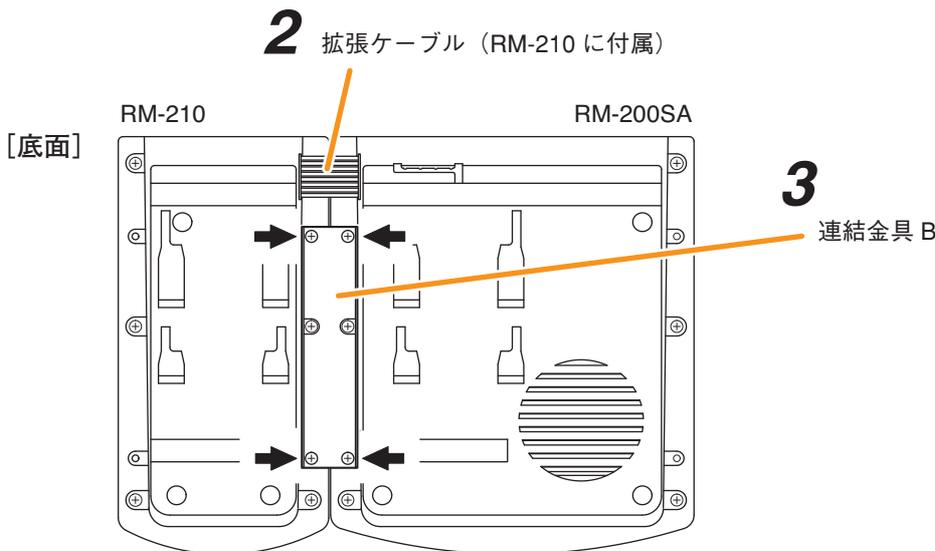
リモートマイク拡張ユニット RM-210 を追加して RM-200SA を拡張する場合は、RM-210 に付属の拡張ケーブルと連結金具を使用してお互いを連結します。

DIP スイッチでの設定が完了後、以下の手順で連結してください。

使用金具（RM-210 に付属）	連結金具 A …………… 2、 連結金具 B …………… 1、 ねじ …………… 12
------------------	---

- 1 RM-200SA と RM-210 を裏返して、お互いを密着させる。
- 2 RM-210 に付属の拡張ケーブルで、RM-200SA 側面の RM-210 接続端子（EXTENSION）と RM-210 側面の RM 接続端子（EXTENSION）を接続する。
- 3 RM-210 に付属の連結金具 B と付属ねじ（4 本、➡）を使用して、RM-200SA と RM-210 を連結する。
- 4 RM-210 に付属の連結金具 A（2 本）と付属ねじ（8 本、➡）を使用して、RM-200SA と RM-210 をしっかりと固定する。

※ さらに RM-210 をもう 1 台 RM-210 に連結する場合も、同様の手順で行います。



### ご注意

- 連結金具 A には、予備のねじ穴が 2 カ所あります。指示したねじ穴が損傷している場合は、予備のねじ穴を利用して 2 台を連結させてください。
- 両機器の間で接続間違いやケーブルのゆるみがあれば、金具取付けねじをすべて外し、もう一度ねじを締めて連結させてください。

## ● 壁掛け設置のしかた

RM-200SA を壁に取り付けるときは、次の金具が必要です。

使用金具	RM-210用壁取付金具 WB-RM200 …………… 1 (別売品)
	壁取付ねじ ・小ねじ M3.5×20 (スイッチボックス用) …… 2 (WB-RM200 に付属) ・タッピンねじ 4×25 (壁直付け用) …………… 2 (WB-RM200 に付属)

[RM-200SA の取り付けかた]

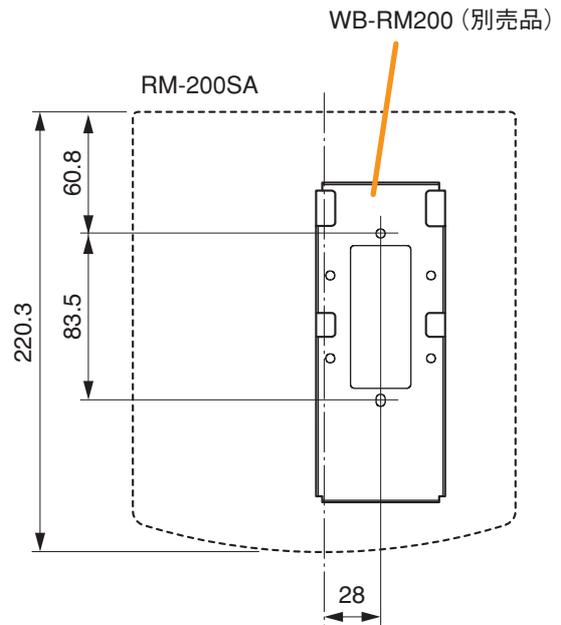
[壁取付金具 WB-RM200 取付寸法]

**1** 壁取付金具 WB-RM200 を壁に取り付ける。  
 このとき、リンクケーブルを金具の切り欠き部から外に出しておきます。

※ 取付ねじは、スイッチボックス用と壁直付け用の2種類がありますので、取付面に応じて使い分けてください。

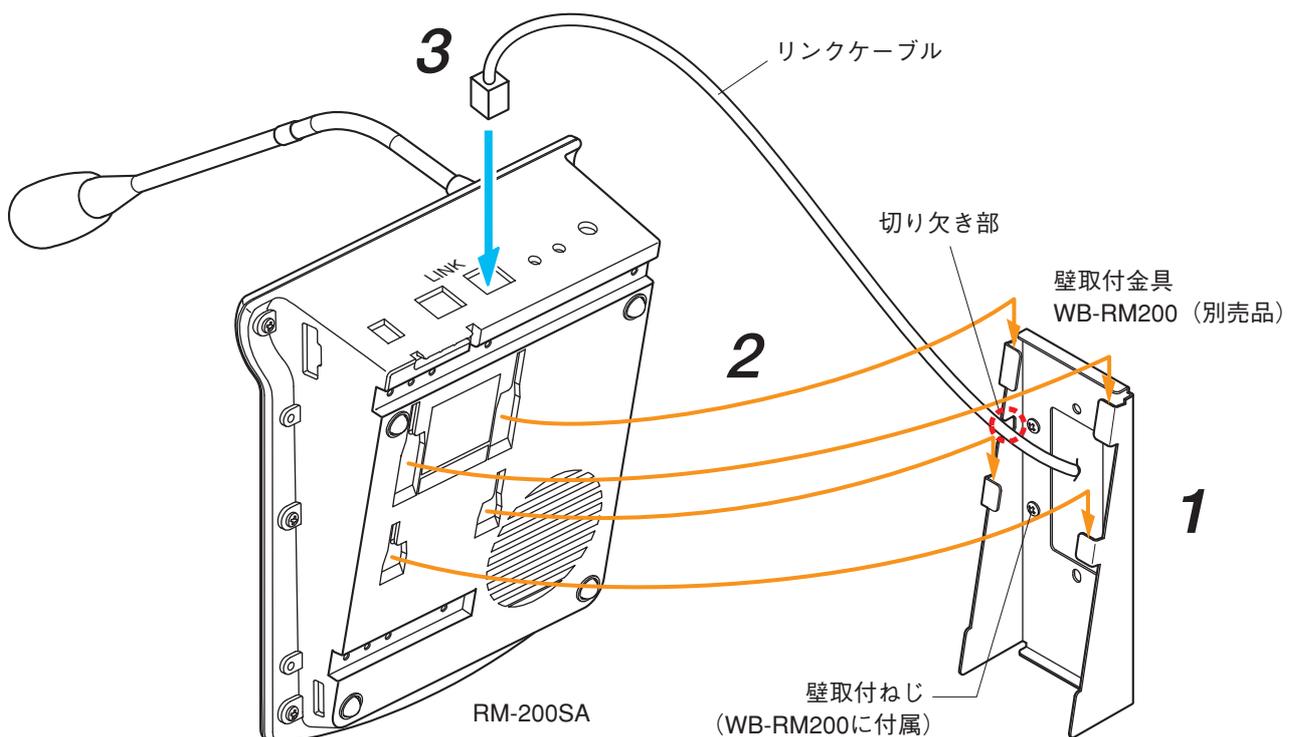
### ⚠ 警告

- 取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取り付けてください。十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。
- 取付金具は、ねじを必ず2本使用して壁に取り付けてください。



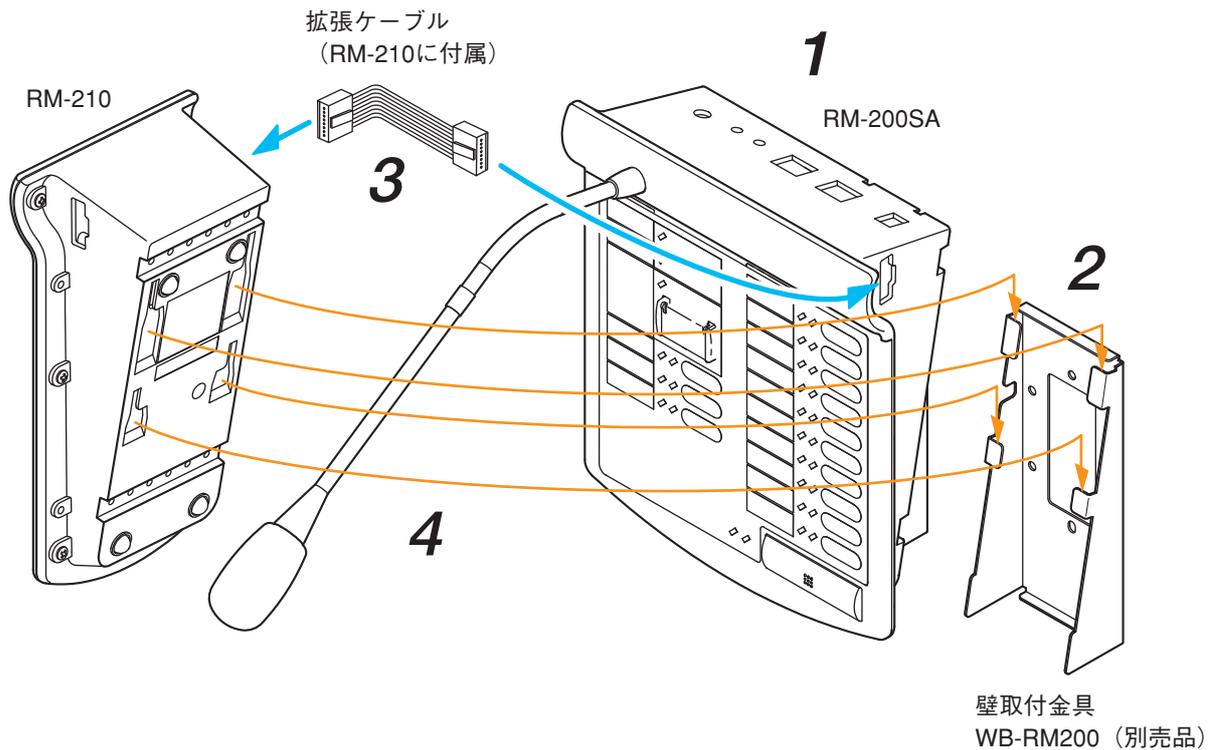
**2** RM-200SA の底面を WB-RM200 に引っ掛ける。

**3** リンクケーブルを RM-200SA の RM リンク端子 (RM LINK) に接続する。

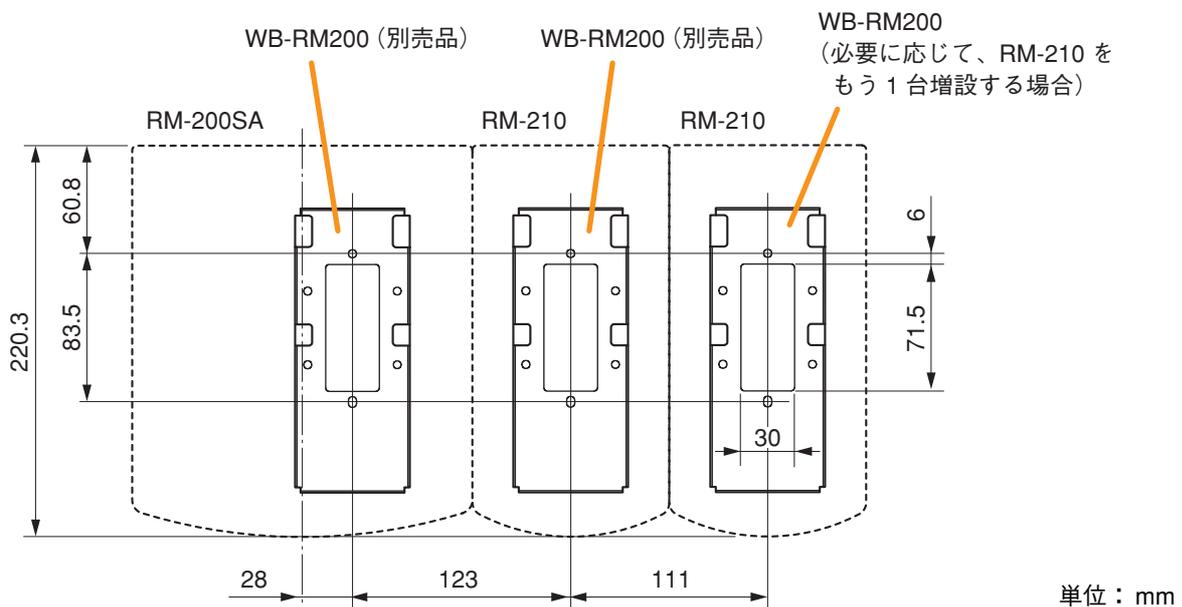


[RM-210の取り付けかた]

- 1 RM-200SA を壁に取り付ける。(前ページ参照)
- 2 RM-210 取り付け用のWB-RM200 を壁に取り付ける。
- 3 RM-210 に付属の拡張ケーブルで、RM-200SA 側面のRM-210 接続端子 (EXTENSION) と RM-210 側面のRM 接続端子 (EXTENSION) を接続する。
- 4 RM-210 の底面をWB-RM200 に引っ掛ける。



[壁取付金具WB-RM200 取付寸法]



## ● リモートマイクの表示ラベルの取り付け

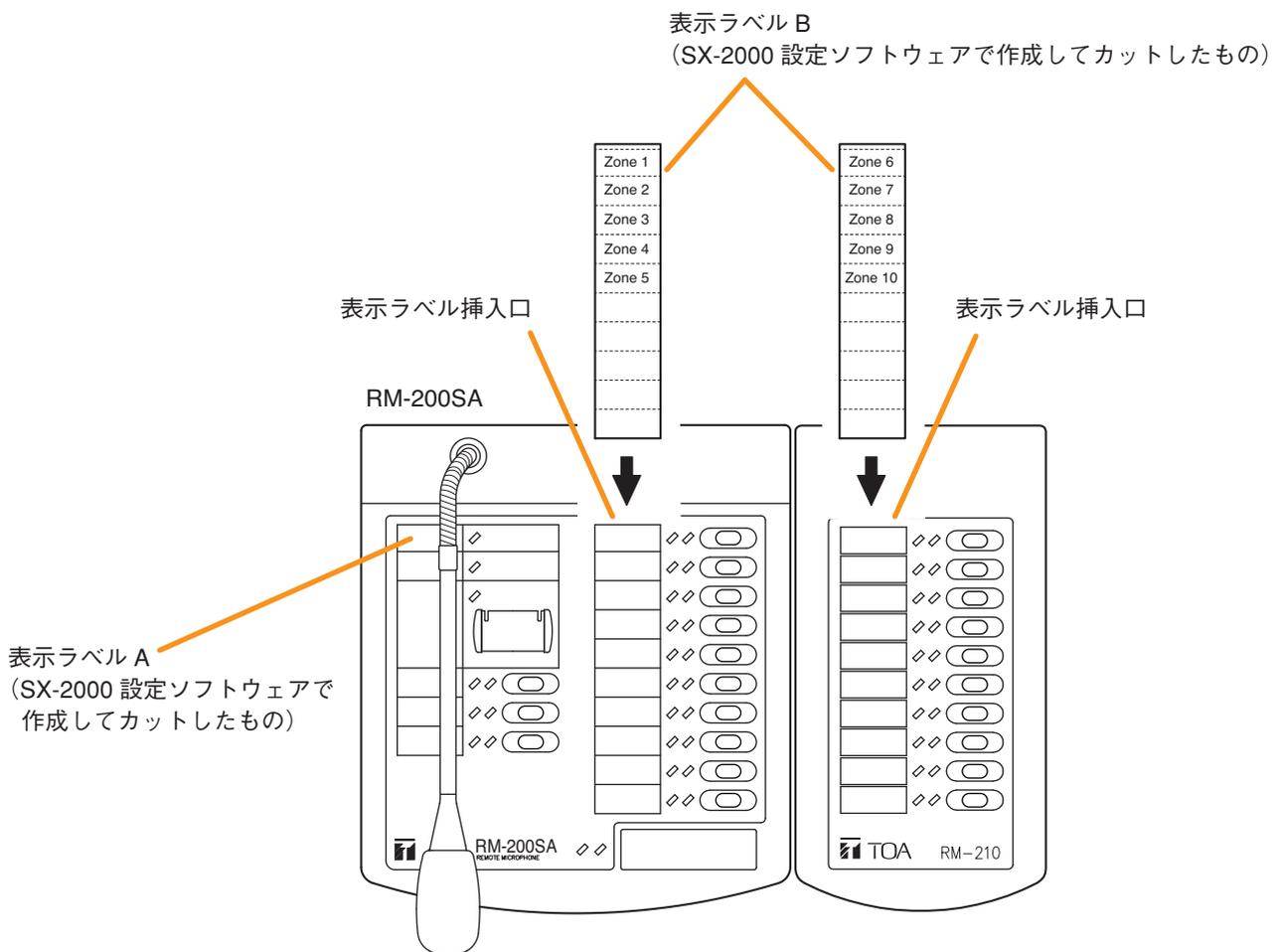
### [SX-2000 設定ソフトウェアで表示ラベルを作成する]

SX-2000 設定ソフトウェアを使って、RM-200SA と RM-210 の機能キーに割り当てた名称を印刷できます。印刷後、はさみで切り取り、表示ラベルとして使用します。表示ラベルは、厚さ 0.2 mm 以下の紙を使用してください。

※ SX-2000 設定ソフトウェアによる表示ラベルの作りかた、および印刷のしかたについては、別冊のソフトウェア取扱説明書「リモートマイクの表示ラベルを印刷する」をお読みください。

### [表示ラベルを挿入する]

- 指定のサイズに切り取った表示ラベルを、挿入口からしっかりと差し込みます。
- ラベルを取り出すときは、刃物の先端などを使って挿入口から引き出します。



[表示ラベルが正しく印刷されない場合]

パソコンの設定環境によっては、SX-2000 設定ソフトウェアを使って作成した表示ラベルが正しいサイズで印刷されないことがあります。そのときは、以下の方法で表示ラベルを作成してください。

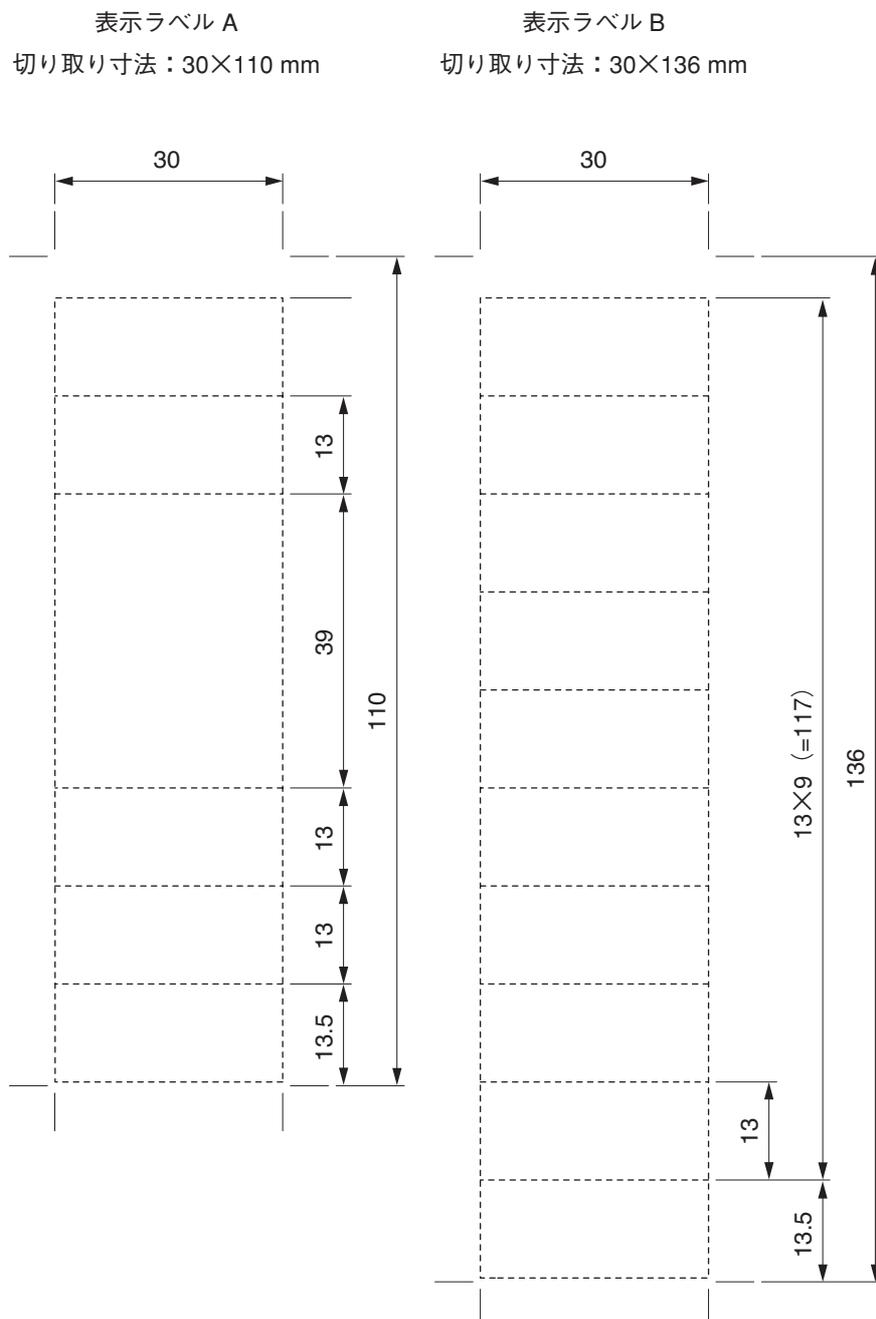
(1) 手書きで作成する場合

P. 64、P. 65の「手書き用コピー台紙」を厚さ 0.2 mm 以下の紙にコピーし、表示内容を記入して、ガイドラインに合わせて切り取ってください。

(2) パソコン、ワードプロセッサなどで作成する場合

以下の「表示ラベル寸法図」に従って作成し、厚さ 0.2 mm 以下の紙に印刷して、指定寸法に切り取ってください。

[表示ラベル寸法図]



表示ラベル A

表示ラベル B

The image shows a handwriting practice paper template. It consists of two vertical columns of dashed-line boxes. The left column is labeled '表示ラベル A' and the right column is labeled '表示ラベル B'. Each column contains eight rectangular boxes stacked vertically. The boxes are separated by dashed horizontal lines. The entire template is framed by solid lines at the top, bottom, and sides, with small tick marks at the corners indicating where to crop. An orange arrow points from the text 'ガイドライン' to the dashed lines of the first box in the left column. The text '実寸' is located at the bottom right of the page.

ガイドライン

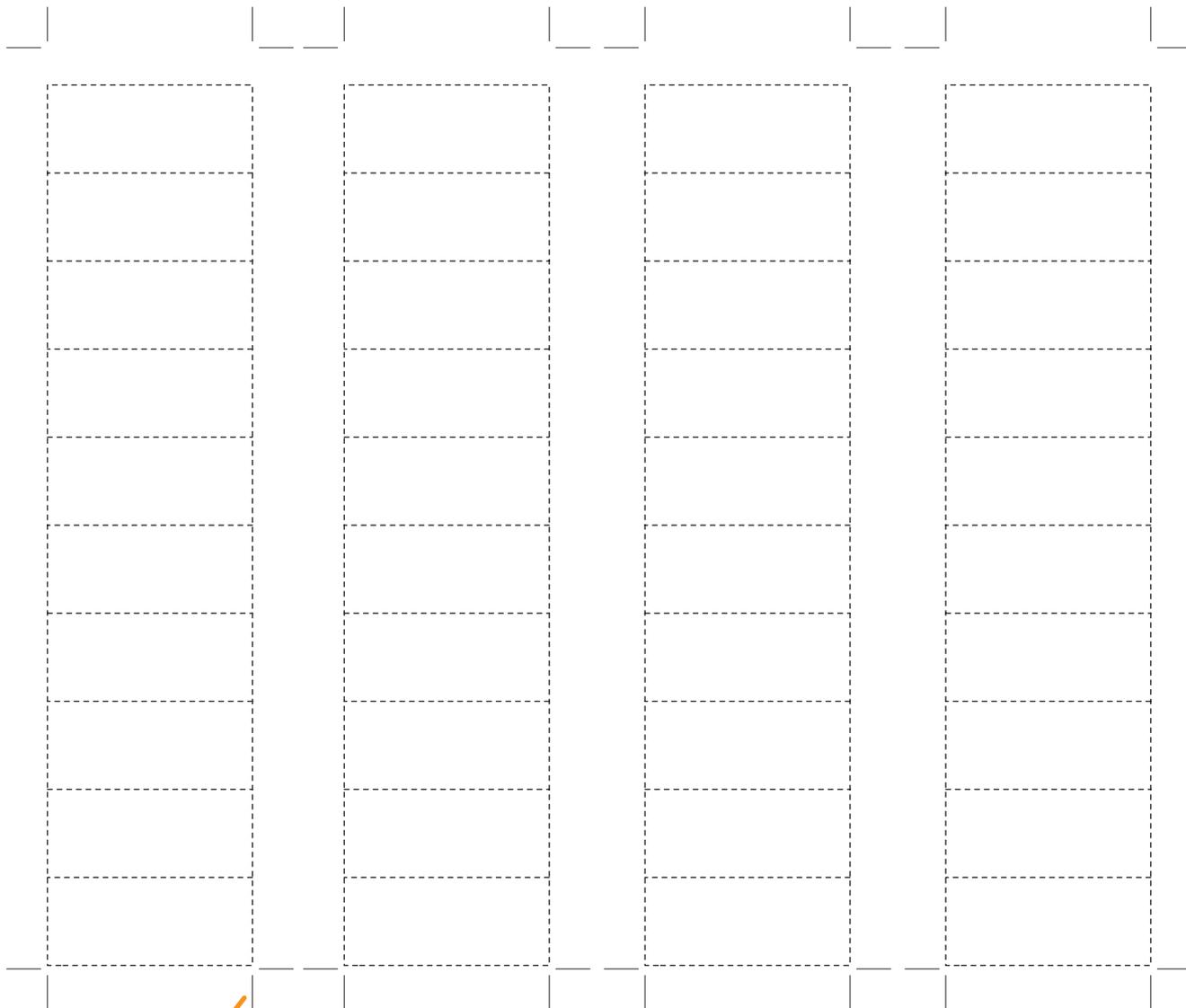
実寸

表示ラベル B

表示ラベル B

表示ラベル B

表示ラベル B

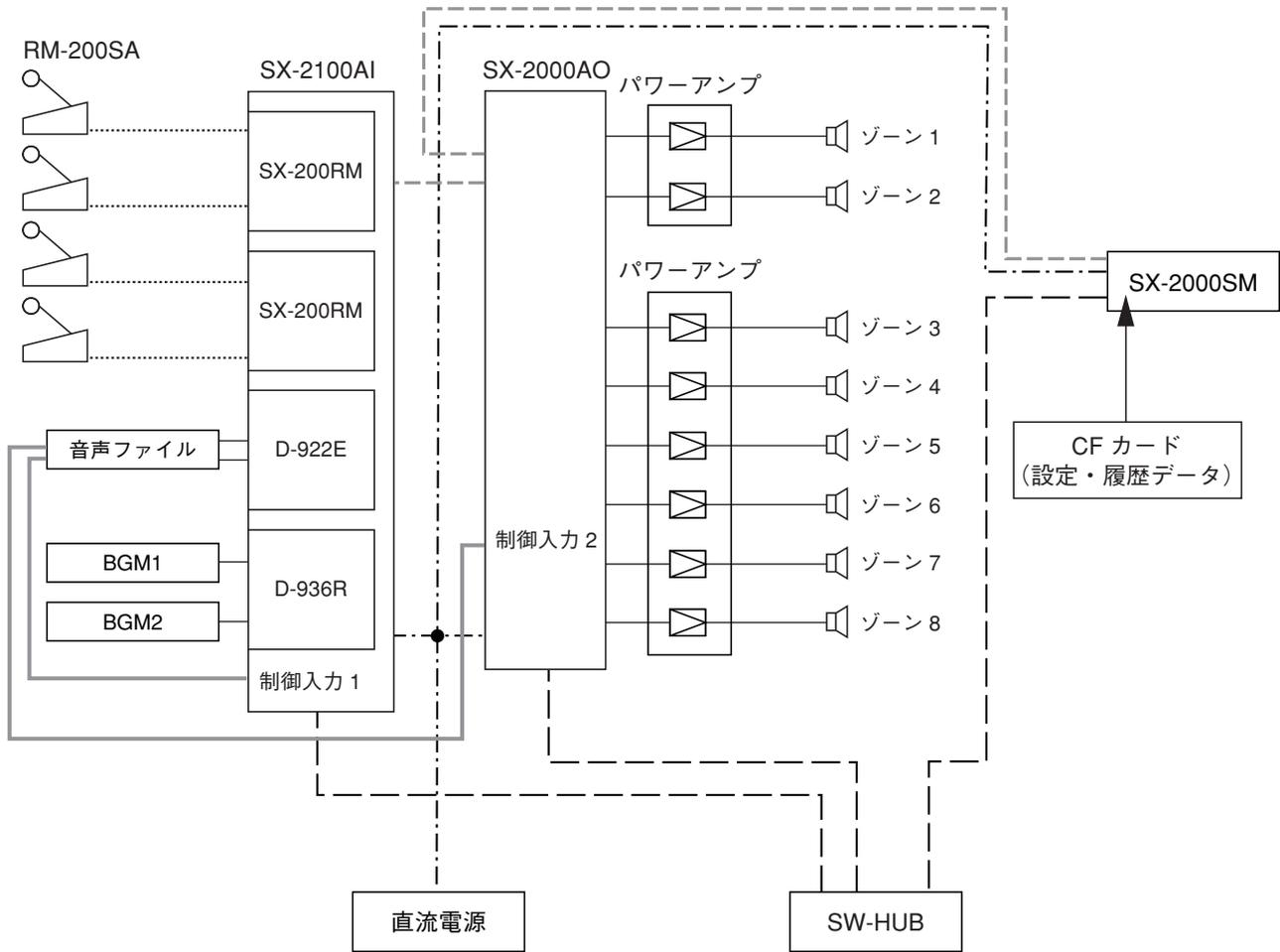


ガイドライン

実寸

# システム構成例

## ■ システム構成例 1



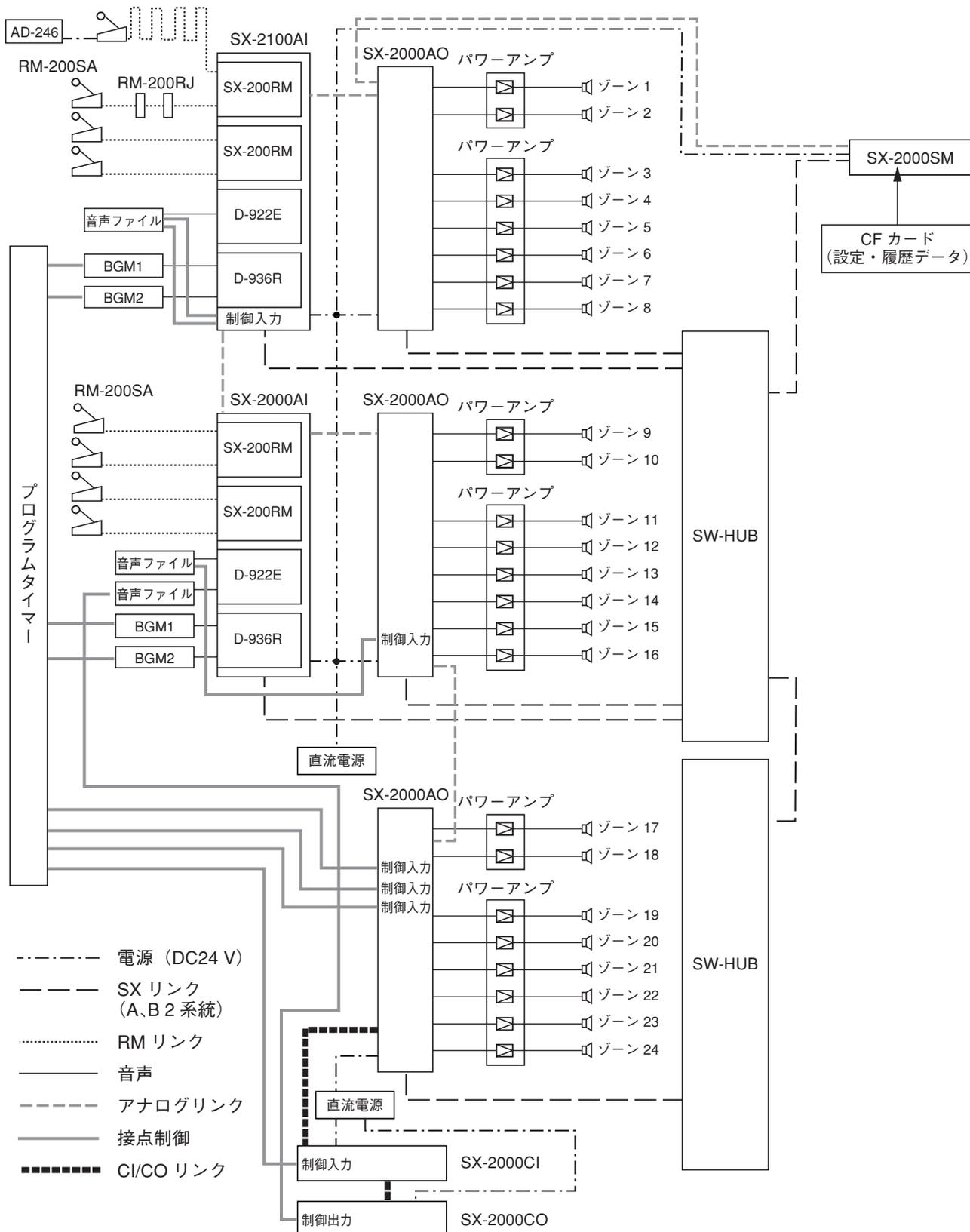
- 電源 (DC24 V)
- - - - - SX リンク (A、B 2 系統)
- ..... RM リンク
- 音声
- アナログリンク
- 接点制御

### [構成機器]

RM-200SA : リモートマイク  
 SX-2100AI : 音声入力ユニット  
 SX-200RM : RM モジュール

D-922E : マイク/ライン入力モジュール  
 D-936R : ステレオ入力モジュール  
 SX-2000AO : 音声出力ユニット  
 SX-2000SM : システムマネージャー

## ■ システム構成例2



### [構成機器]

RM-200SA : リモートマイク  
 SX-2000AI : 音声入力ユニット  
 SX-2100AI : 音声入力ユニット  
 SX-200RM : RM モジュール  
 RM-200RJ : RJ45 端子盤  
 AD-246 : AC アダプター

SX-2000CI : 制御入力ユニット  
 D-922E : マイク/ライン入力モジュール  
 D-936R : ステレオ入力モジュール  
 SX-2000AO : 音声出力ユニット  
 SX-2000SM : システムマネージャー  
 SX-2000CO : 制御出力ユニット

# 接続のしかた

## ■ 着脱式ターミナルプラグの接続

### ご注意

- 着脱式ターミナルプラグに結線するときは、SX-2000SMに付属のドライバーを使用してください。
- 精密ドライバー、時計ドライバーは使用しないでください。  
ねじ締め付けのとき、トルクが十分にかからず接触不良になる可能性があります。
- より線、シールド線を使用するときは、むきしろ部分にはんだめっきをしないでください。  
線材を締め付けたときに、はんだスズが破砕し接触抵抗が高くなるため、接続部の温度が異常に上昇することがあります。
- 1つの端子に2本の線材を接続する場合や信号線を接続する場合などに心線がばらけるのを防ぐためには、絶縁スリーブ付き棒端子で圧着してください。

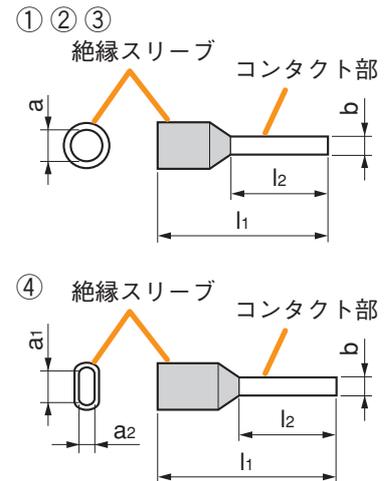
推奨棒端子：信号線用（フェニックス・コンタクト製）

	品番	a	b	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>
①	AI 0,34-8 TQ	2 mm	0.8 mm	12.5 mm	8 mm
②	AI 0,5-8 WH	2.5 mm	1.1 mm	14 mm	8 mm

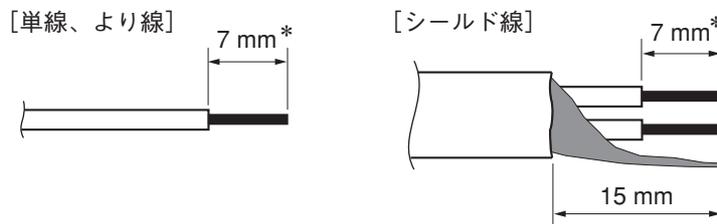
推奨棒端子：電源線用（フェニックス・コンタクト製）

	品番	a	a <sub>1</sub>	a <sub>2</sub>	b	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>
③	AI 1,5-8 BK	3.4 mm	—	—	1.8 mm	14 mm	8 mm
④	AI-TWIN 2x1,5-8 BK	—	6.6 mm	3.6 mm	2.3 mm	16 mm	8 mm

かしめ工具：CRIMPFOX UD6-4（フェニックス・コンタクト製）



### ● 線材のむきしろ



\* 絶縁スリーブ付き棒端子を使用する場合は8 mm以上とし、はみ出た分はカットしてください。

### ● 配線手順

※ 以下は、固定ねじ付きのターミナルの手順です。

## 1 着脱式ターミナルプラグに線材を接続する。

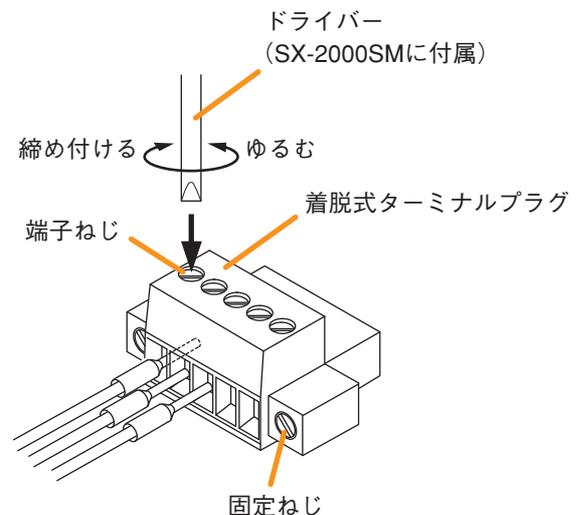
1-1 端子ねじをゆるめて、線材を差し込む。

1-2 端子ねじをしっかりと締め付ける。

線材を引っ張って抜けないことを確認してください。  
抜けたら、端子ねじをゆるめてやり直してください。

## 2 プラグを機器側のターミナルブロックに差し込む。

## 3 固定ねじを締め付ける。



### ご注意

- 手順の1と2を逆しないでください。端子ねじを締め付けるときに、ボードとの接続部のコネクタピンに力が加わり、接触不良になる恐れがあります。
- ターミナルプラグを抜くときは、まっすぐ引き抜いてください。斜め方向に無理に引き抜くと、ターミナルプラグまたはターミナルブロックの破損の原因となります。

## ■ 電源の接続

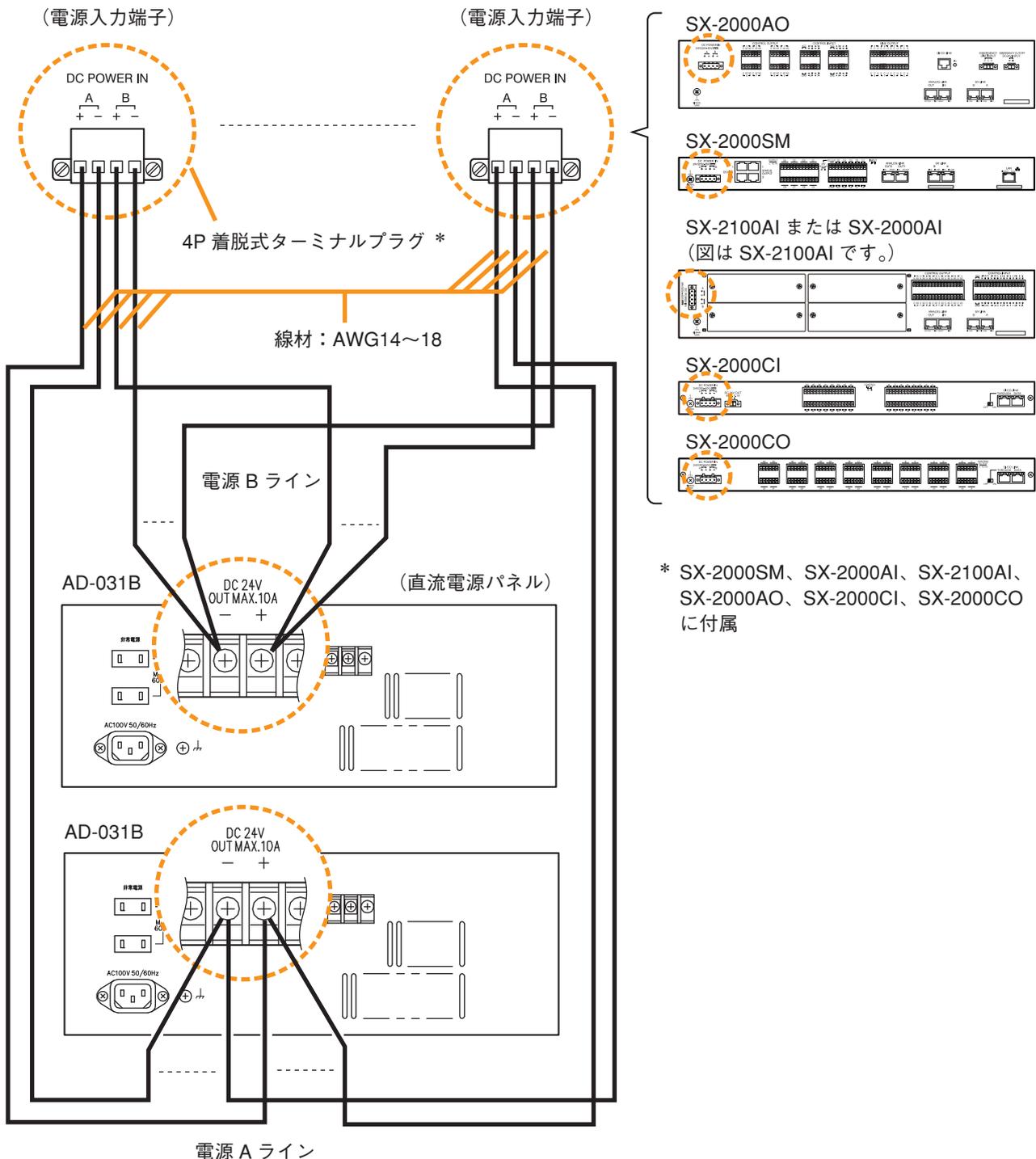
(SX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AO、SX-2000CI、SX-2000CO)

### ● 電源の二重化\*をする場合

この接続例では、電源ユニットを2台使用しています。

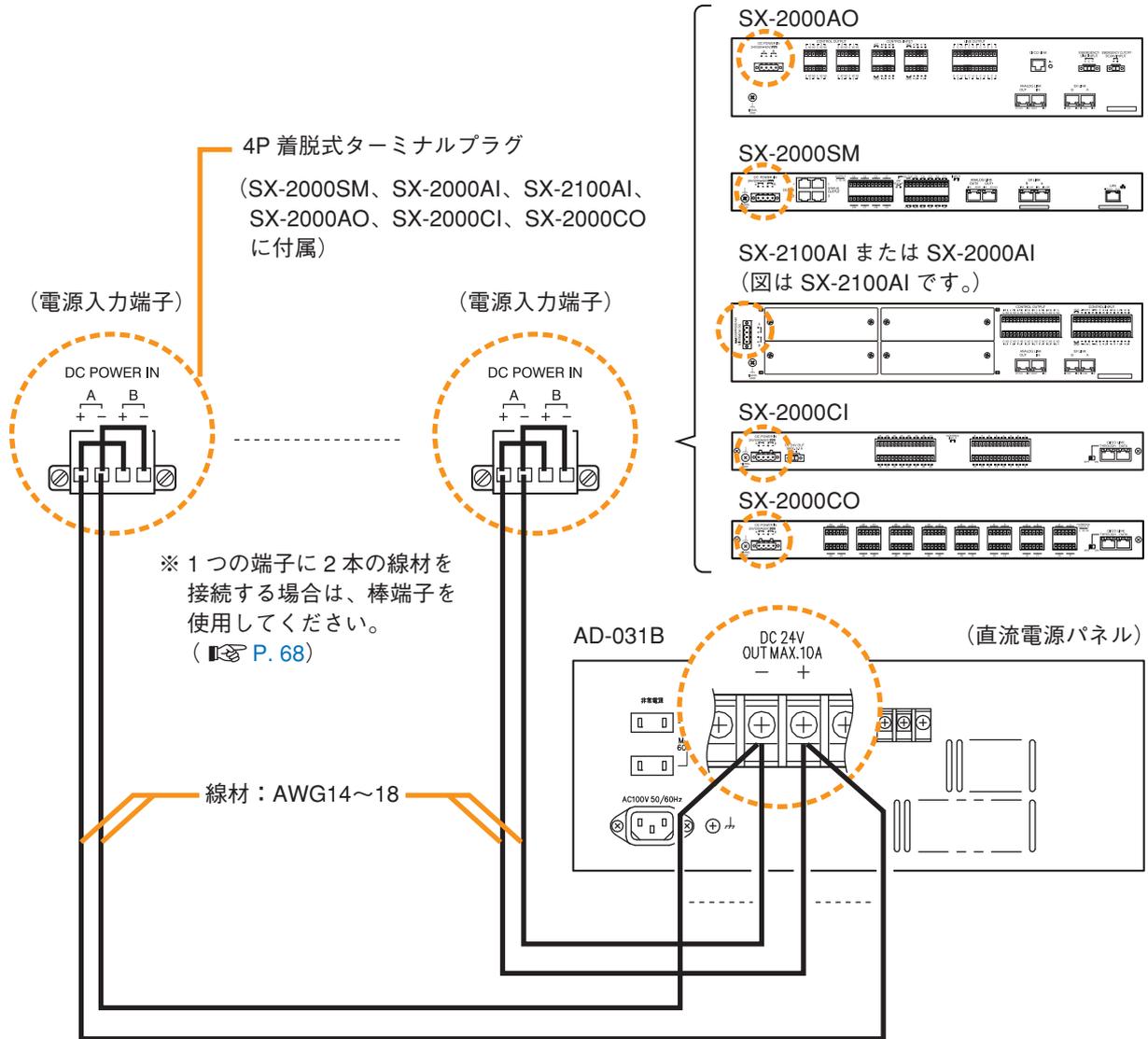
片方の電源ユニットが故障または片方の電源ラインが断線になったときでも、もう一方の電源ユニットから電源が供給されるので、システムダウンを防ぐことができます。

\* 別々の電源を各電源入力に接続する、または常用電源とバックアップ電源を接続することにより、断線や停電によるシステムダウンを防ぐ方法。



## ● 電源の二重化をしない場合

1台の電源ユニットから、システムに必要な電源を供給します。  
A入力とB入力の+端子と-端子をそれぞれ接続してください。



## ■ 入力機器の接続

### ● SX-200RM と RM-200SA の接続および RM-200RJ の接続

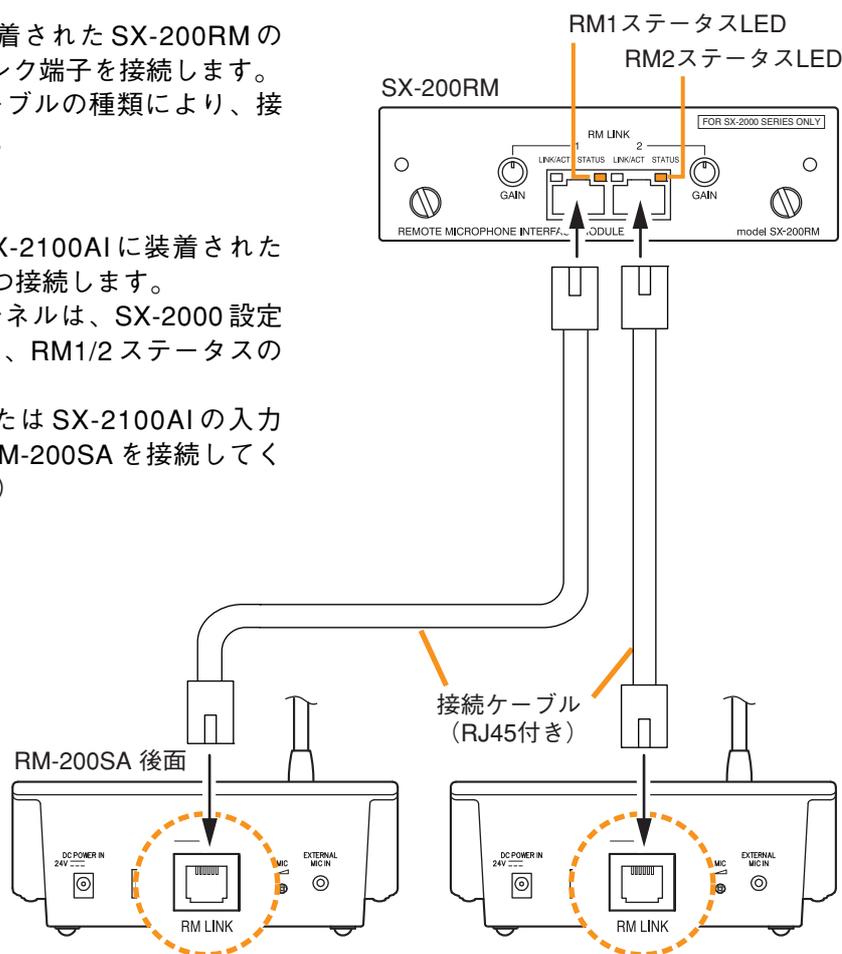
SX-2000AI または SX-2100AI に装着された SX-200RM の RM 接続端子と RM-200SA の RM リンク端子を接続します。電源の供給のしかたと使用するケーブルの種類により、接続ケーブルの延長距離は異なります。

#### ■ ご注意

RM-200SA は SX-2000AI または SX-2100AI に装着された SX-200RM の各入力に対して 1 台ずつ接続します。

RM-200SA が接続できる入力チャンネルは、SX-2000 設定ソフトウェアで割り当てられており、RM1/2 ステータスの橙色 LED が点灯します。

そのコネクタに、SX-2000AI または SX-2100AI の入力チャンネル番号と同じ機器番号の RM-200SA を接続してください。(機器番号の設定 [P. 52](#))



#### [SX-200RM から電源を供給した場合]

- STP カテゴリー 5 規格のストレートケーブル (RJ45 付き) を使用すると、最大延長距離は次のようになります。

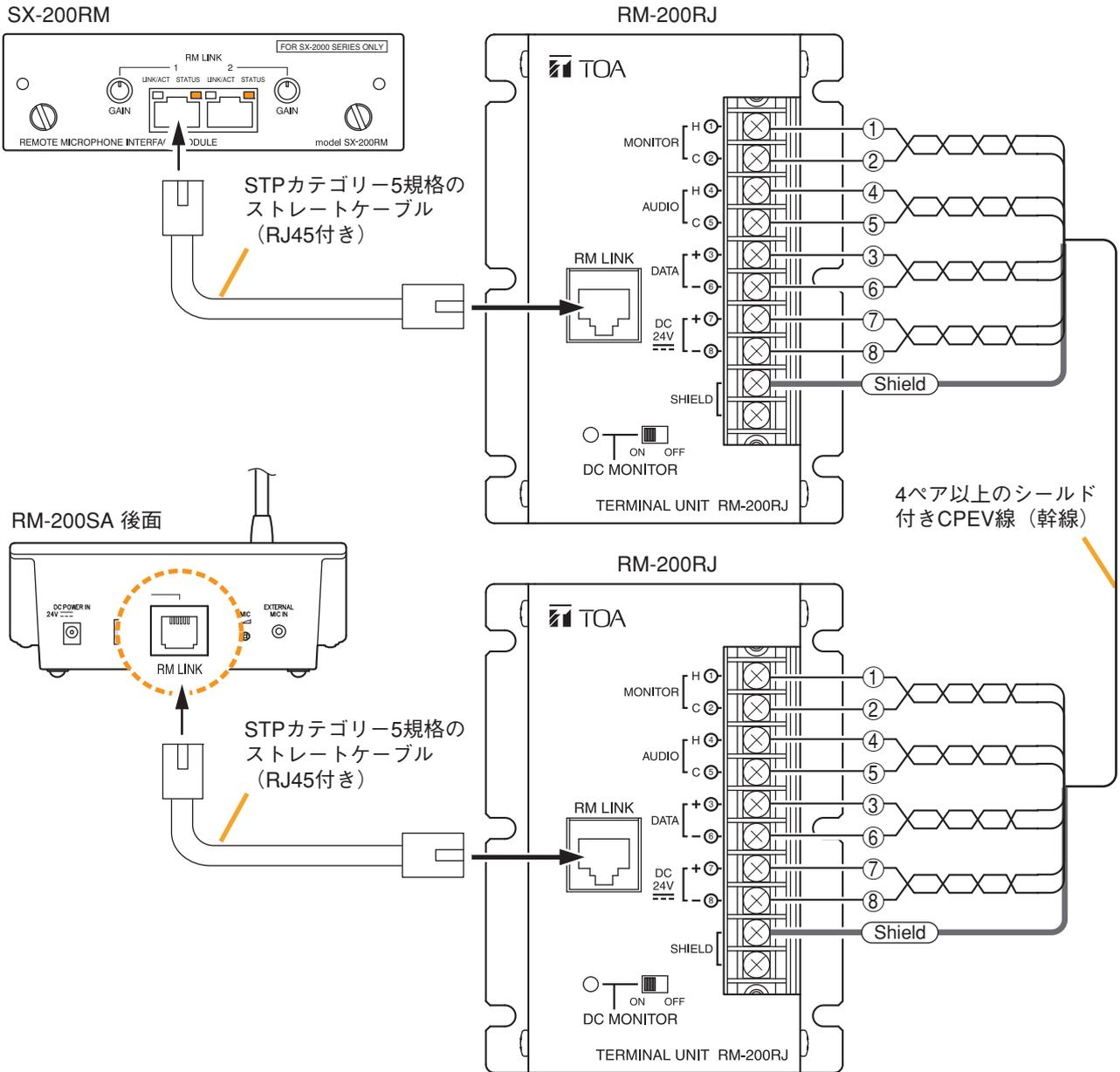
増設数 ケーブル	RM-200SA のみ	RM-200SA + RM-210 × 1	RM-200SA + RM-210 × 2	RM-200SA + RM-210 × 3	RM-200SA + RM-210 × 4
STP カテゴリー 5	140 m	120 m	100 m	90 m	80 m

- 上の表よりも距離を延長したいときは、4 ペア以上のシールド付き CPEV 線を使用します。(ケーブルの接続のしかた [次ページ](#))

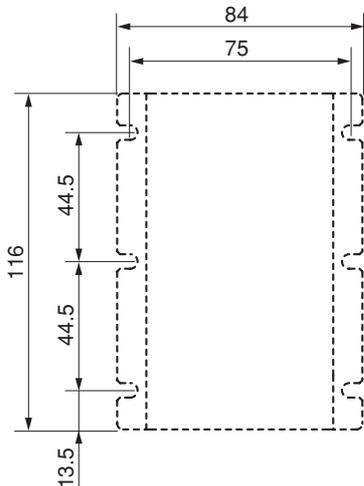
CPEV 線の導体径と最大延長距離は、次のようになります。

増設数 導体径	RM-200SA のみ	RM-200SA + RM-210 × 1	RM-200SA + RM-210 × 2	RM-200SA + RM-210 × 3	RM-200SA + RM-210 × 4
φ 0.65 mm	230 m	190 m	170 m	150 m	130 m
φ 0.9 mm	460 m	380 m	330 m	290 m	260 m
φ 1.2 mm	800 m	670 m	570 m	500 m	450 m

- シールド付き CPEV 線を使用するときは、STP カテゴリー 5 規格のストレートケーブル（RJ45 付き）と CPEV 線の配線変換を行う RJ45 端子盤 RM-200RJ を用います。  
1 と 2、4 と 5、3 と 6、7 と 8 をペアとし、RM-200RJ の同じ端子同士を接続します。



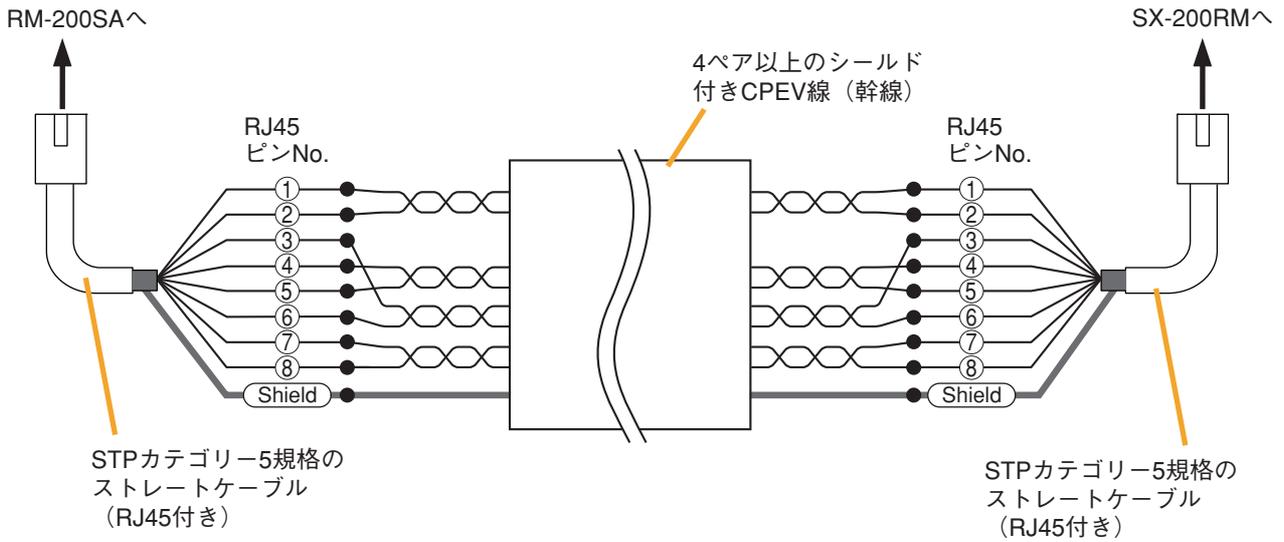
[RM-200RJ 取付参考寸法]



※ RM-200RJ は壁などへの取り付けもできます。

単位：mm

- シールド付きCPEV線を使用し、RJ45端子盤 RM-200RJ を使用しないときは、STP カテゴリー5規格のストレートケーブル（RJ45付き）と次のように接続します。  
ペア取りは、1と2、3と6、4と5、7と8で行います。



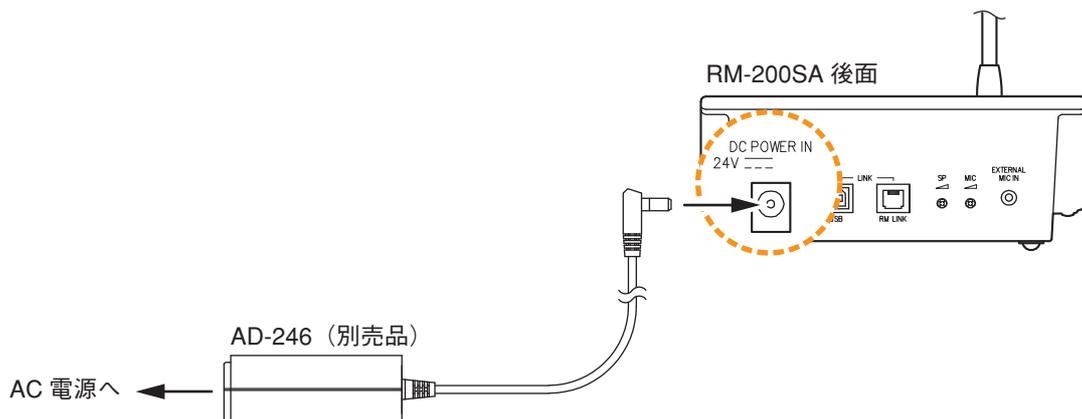
RM-200SA	RJ45 ピン No.	線色 (T568B の場合)	線色 (T568A の場合)	SX-200RM
Monitor in (H)	①	橙／白	緑／白	Monitor out (H)
Monitor in (C)	②	橙	緑	Monitor out (C)
Data (+)	③	緑／白	橙／白	Data (+)
Audio out (H)	④	青	青	Audio in (H)
Audio out (C)	⑤	青／白	青／白	Audio in (C)
Data (-)	⑥	緑	橙	Data (-)
DC power in (+)	⑦	茶／白	茶／白	DC power out (+)
DC power in (-)	⑧	茶	茶	DC power out (-)
Shield	Shield	—	—	Shield

#### [ACアダプターから電源を供給した場合]

リモートマイクへの電源を別売のACアダプターAD-246で供給した場合、接続ケーブル（幹線）の最大延長距離は、P. 71の表に記載のケーブルを使用すると、ケーブルの種類とリモートマイクの増設数に関係なく、800 mになります。

#### ご注意

停電時にも使えるようにするためには、ACアダプターにもバッテリーバックアップが必要です。

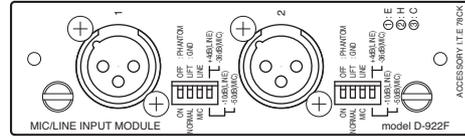
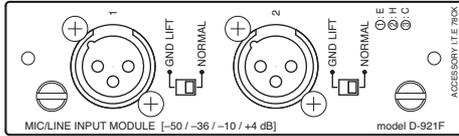


## ● その他入力機器の接続

SX-2000AI または SX-2100AI に装着された下記のモジュールに入力機器を接続します。

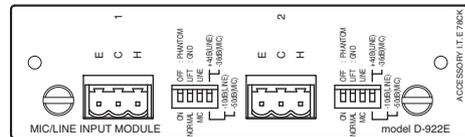
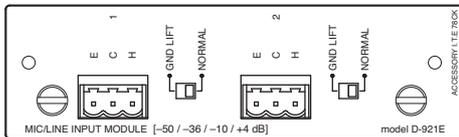
### [マイク/ライン入力モジュール D-921F、D-922F]

マイクまたは、ライン出力のある音源を2心シールド線で接続します。



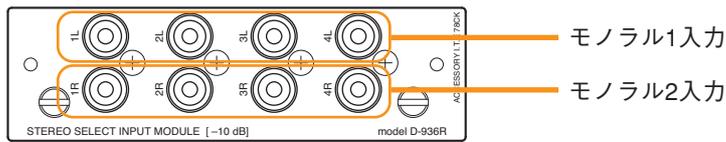
### [マイク/ライン入力モジュール D-921E、D-922E]

マイクまたは、ライン出力のある音源を2心シールド線で接続します。接続には、機器に付属の着脱式ターミナルプラグ3Pを使用してください。



## [ステレオ入力モジュール D-936R]

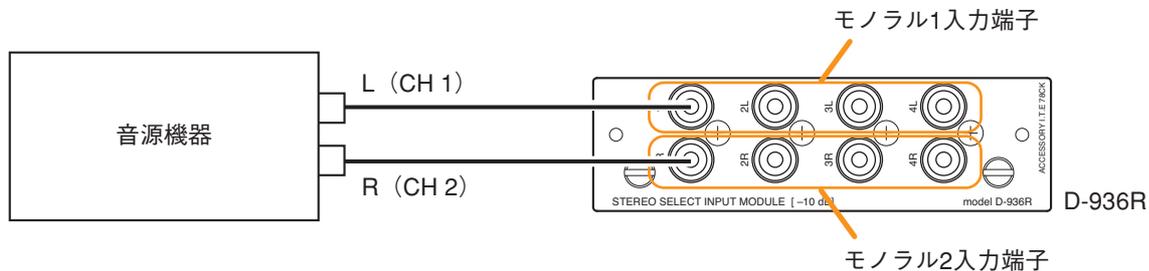
BGMプレーヤーなどの音源を接続します。



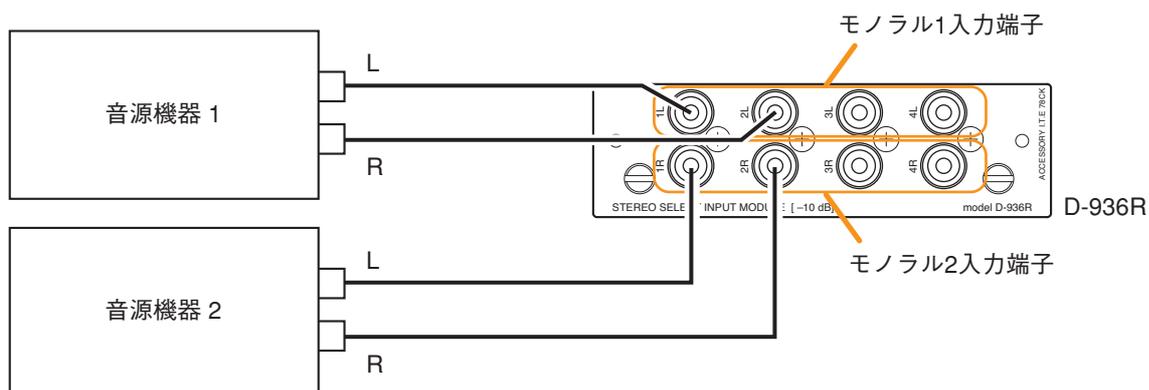
### ご注意

このモジュールは、図のようにモノラル入力が2チャンネル装備されていますので、それぞれの入力に別の音源を接続してください。音源がステレオ出力の場合は、モノラルに変換して、どちらかの入力に接続します。モノラル1入力の1L～4L端子は内部でミキシングされています。同様に、モノラル2入力の1R～4Rの入力端子は内部でミキシングされています。

- 音源機器のLとRを別々のチャンネルとして使用するとき、次のように接続してください。



- 音源機器のLとRを1つのチャンネルとして使用するとき、次のように接続してください。ただし、この場合は入力レベルが過大になりますので、注意して入力レベルを調節してください。  
(音源機器1のLとRを入力端子1に、音源機器2のLとRを入力端子2に接続します。)

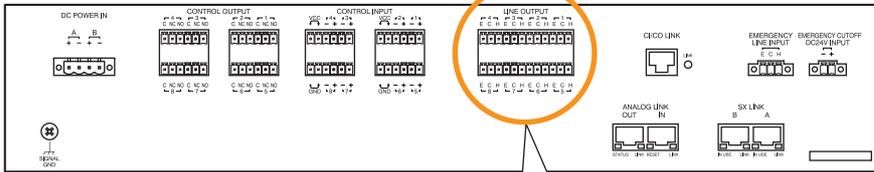


## ■ 出力機器の接続

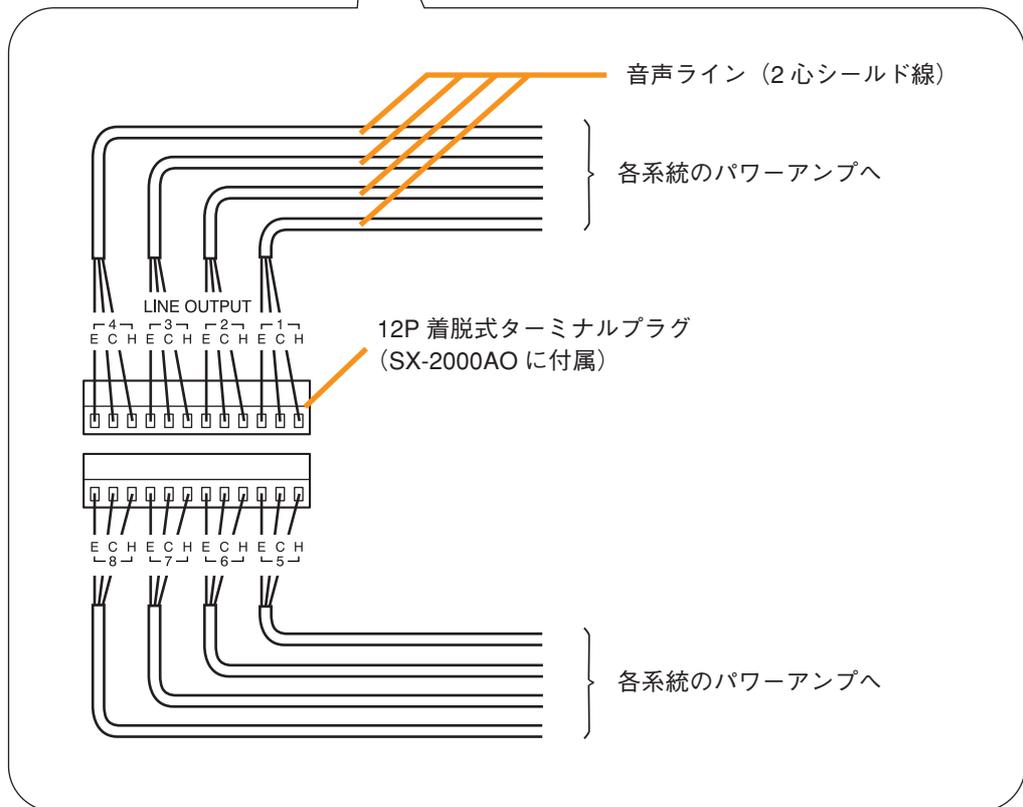
### ● SX-2000AO とパワーアンプとの接続

各出力チャンネル（放送ゾーン）をそれぞれ該当するパワーアンプに接続します。

SX-2000AO



音声出力端子



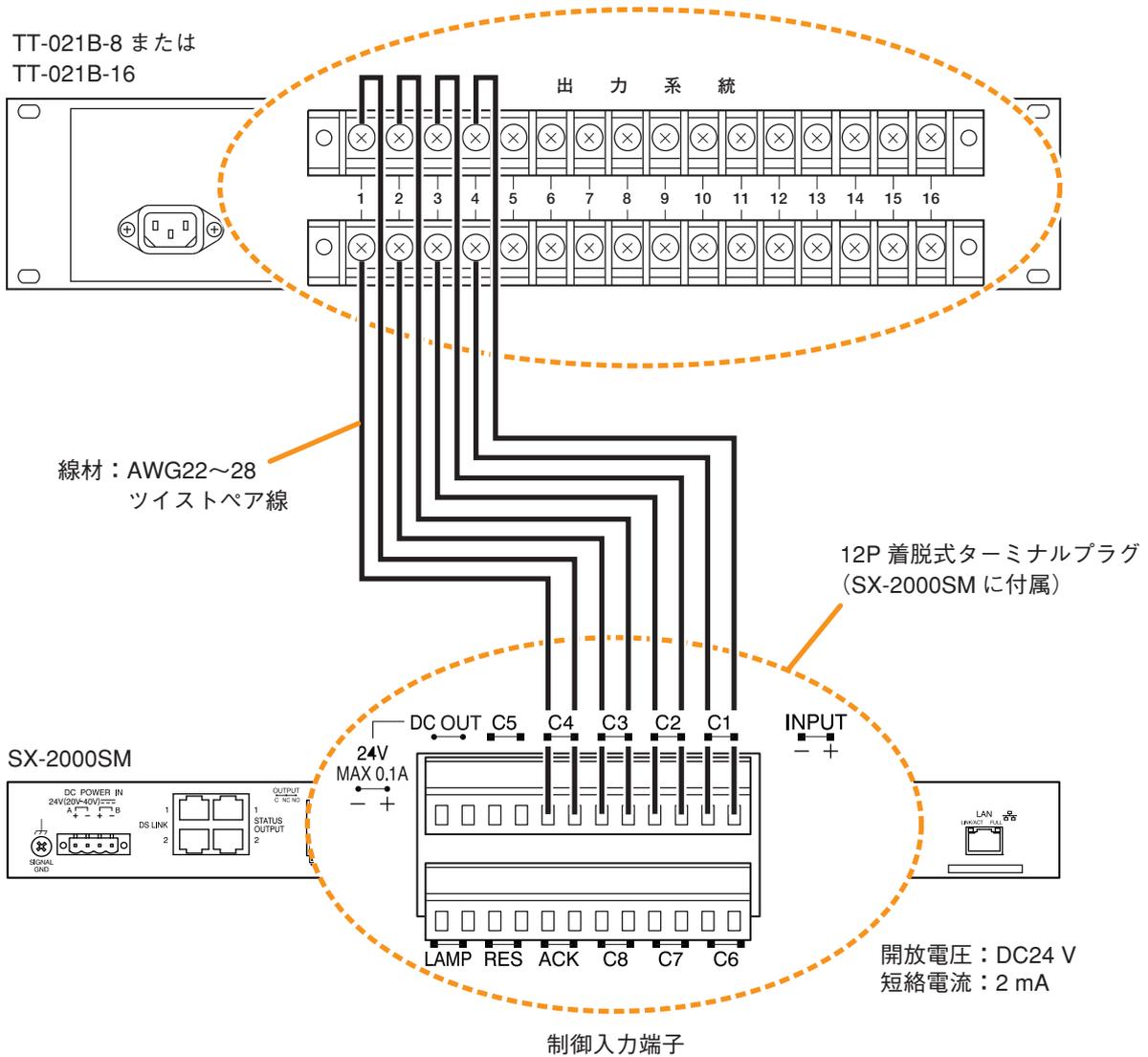
# ■ 制御入出力の接続

## ● SX-2000SM

[制御入力端子とプログラムタイマー TT-021B-8/-021B-16 との接続例]

タイマーによる自動放送を行います。

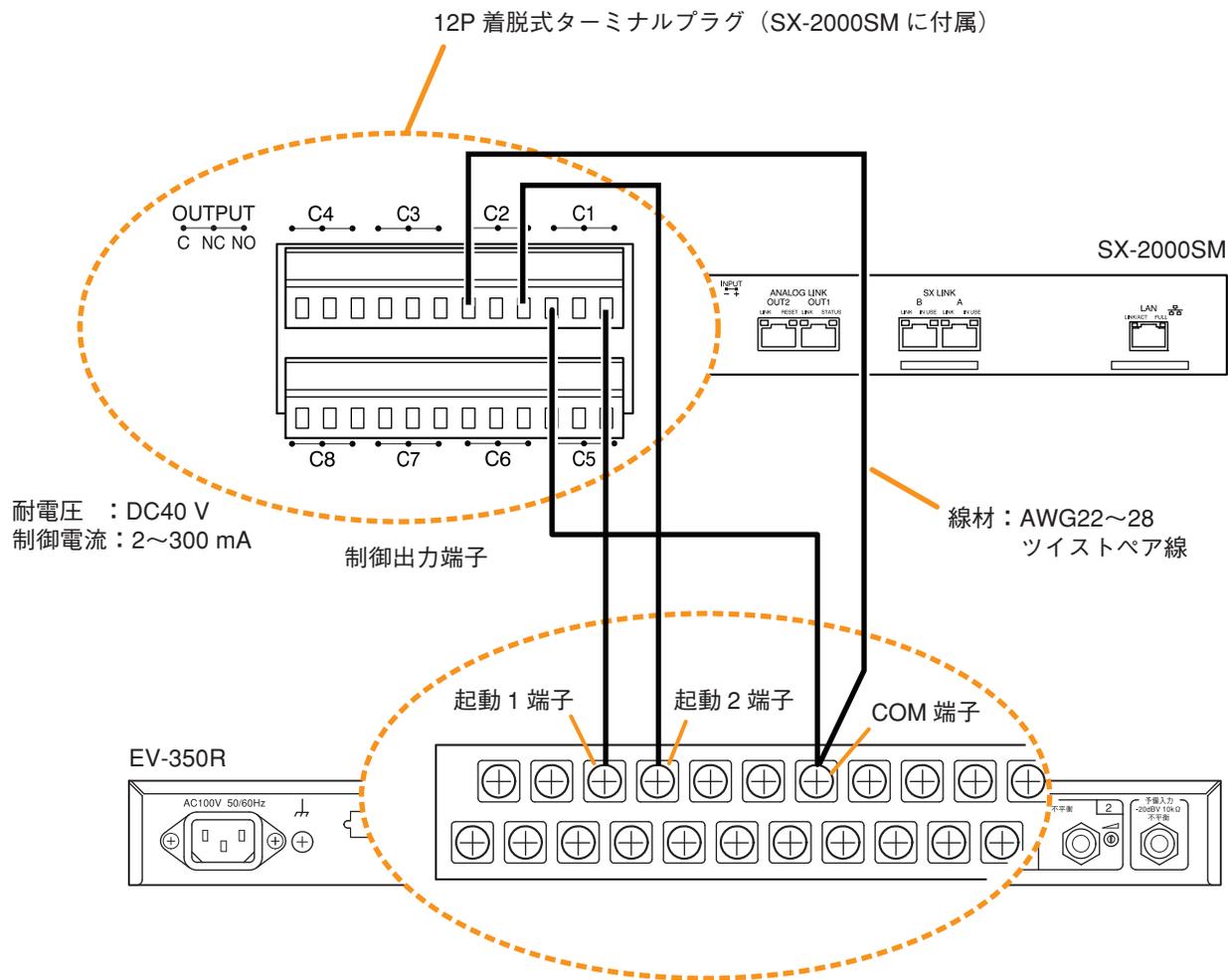
プログラムタイマーに設定された時刻になると、SX-2000SM はプログラムタイマーからの制御出力（メイク接点）を受けて、設定された放送パターンを起動します。



[制御出力端子とデジタルアナウンスマシン EV-350R との接続例]

外部の音源機器をリモート起動します。

SX-2000SM は、放送の起動がかかると設定された制御出力がメイクになり、EV-350R を起動します。



## ● SX-2100AI

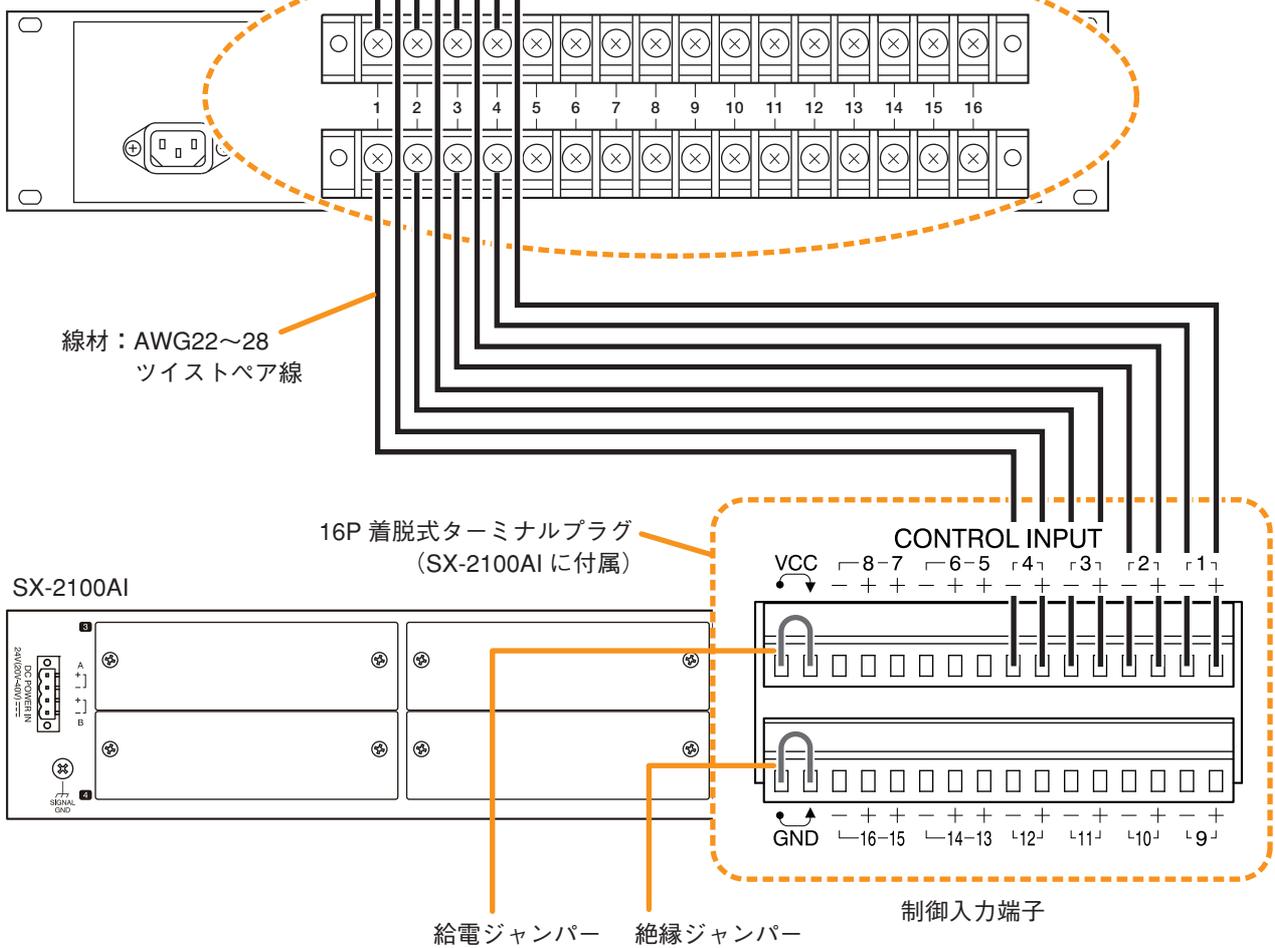
### [制御入力端子とプログラムタイマー TT-021B-8/-021B-16 との接続例]

制御入力にはフォトカプラー入力になっているので、電源が必要です。

フォトカプラーへの電源供給には、SX-2100AIの内部電源を使用する方法と、外部電源を使用する方法があります。

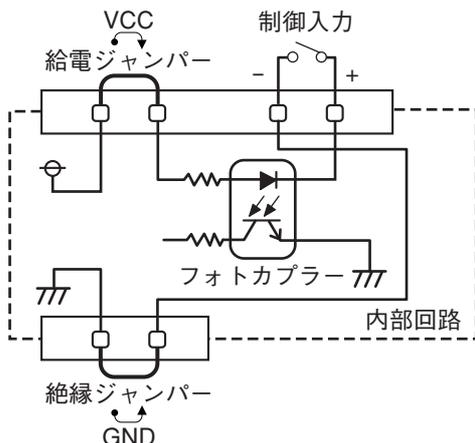
- 内部電源を使用する場合は、下図のように、ジャンパーが装着された16P着脱式ターミナルプラグを使用して接続してください。

TT-021B-8 または  
TT-021B-16



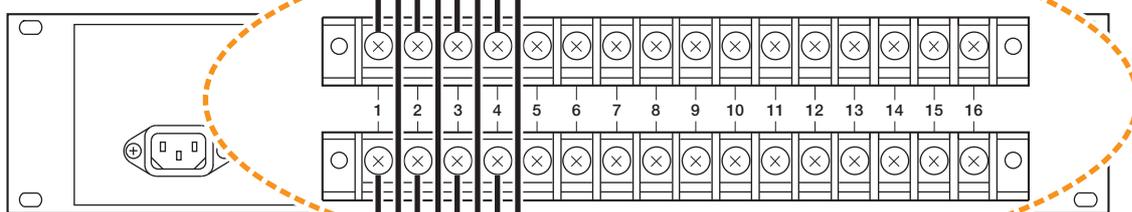
開放電圧: DC40 V 以下  
短絡電流: 2 mA

### [給電ジャンパーと絶縁ジャンパーのはたらき]



- 制御入力端子はフォトカプラーを使用しているため、外部電源を使用すると絶縁することができます。16P 着脱式ターミナルプラグに装着されている給電ジャンパーおよび絶縁ジャンパーを外し、下図のように接続してください。

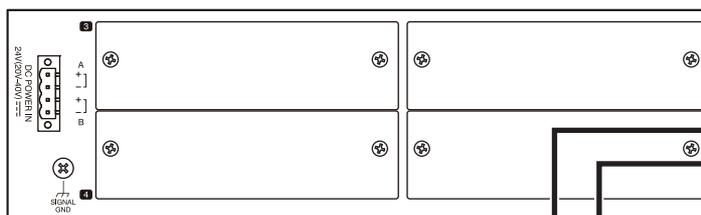
TT-021B-8 または  
TT-021B-16



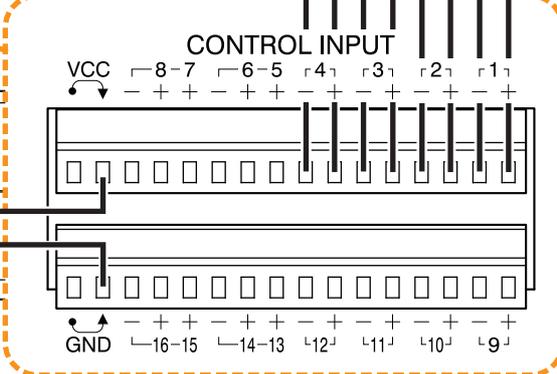
線材：AWG22~28  
ツイストペア線

16P 着脱式ターミナルプラグ  
(SX-2100AI に付属)

SX-2100AI

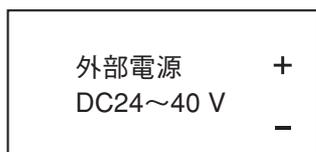


線材：AWG22~28  
ツイストペア線



制御入力端子

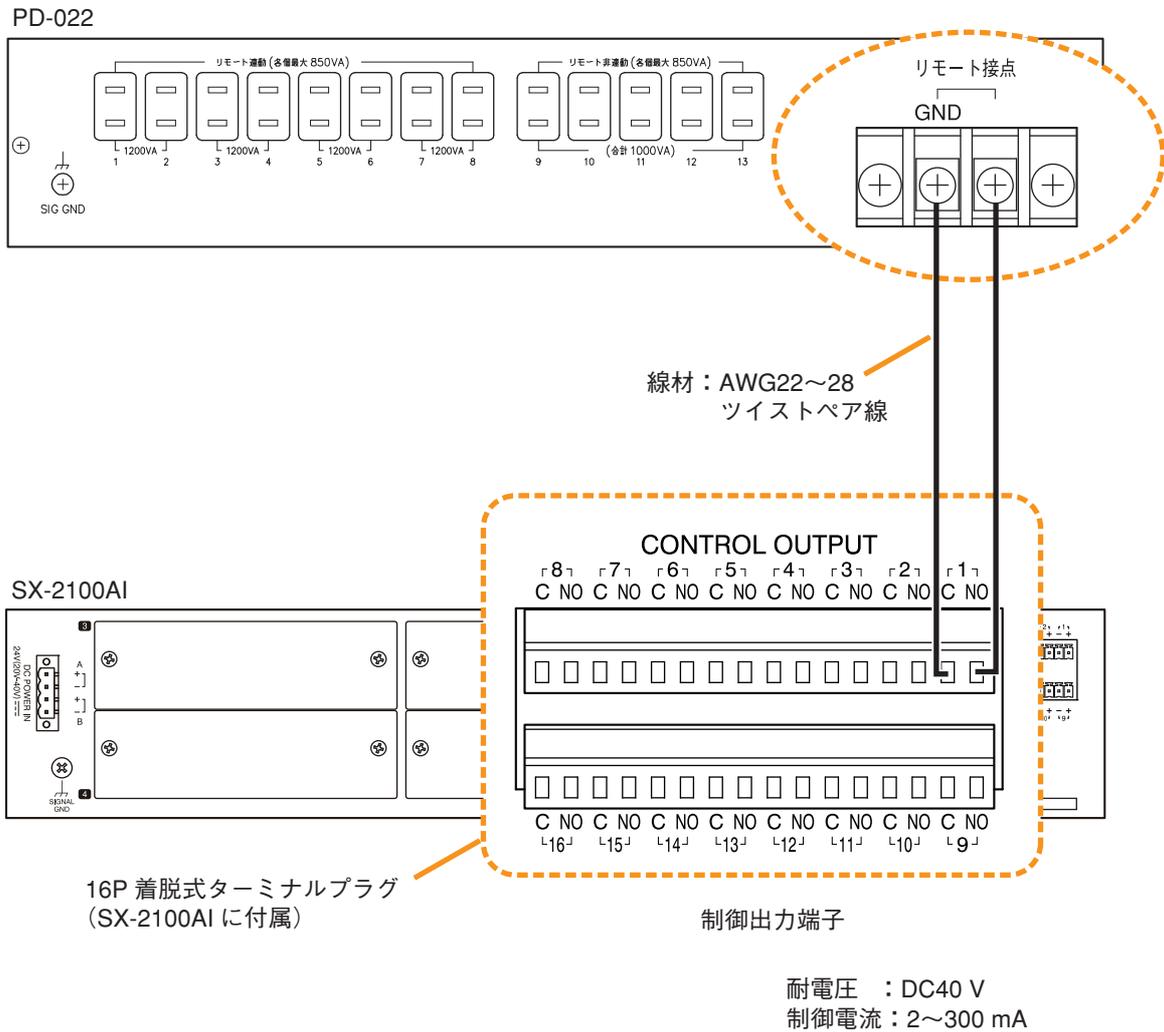
開放電圧：DC40 V 以下  
短絡電流：2 mA



※ VCC、GND の各端子の右側に  
接続してください。

[制御出力端子と電源分配パネルPD-022との接続例]

機器への電源ON/OFFをリモート制御します。  
 SX-2100AIからの制御出力（メイク接点）により、PD-022を起動します。

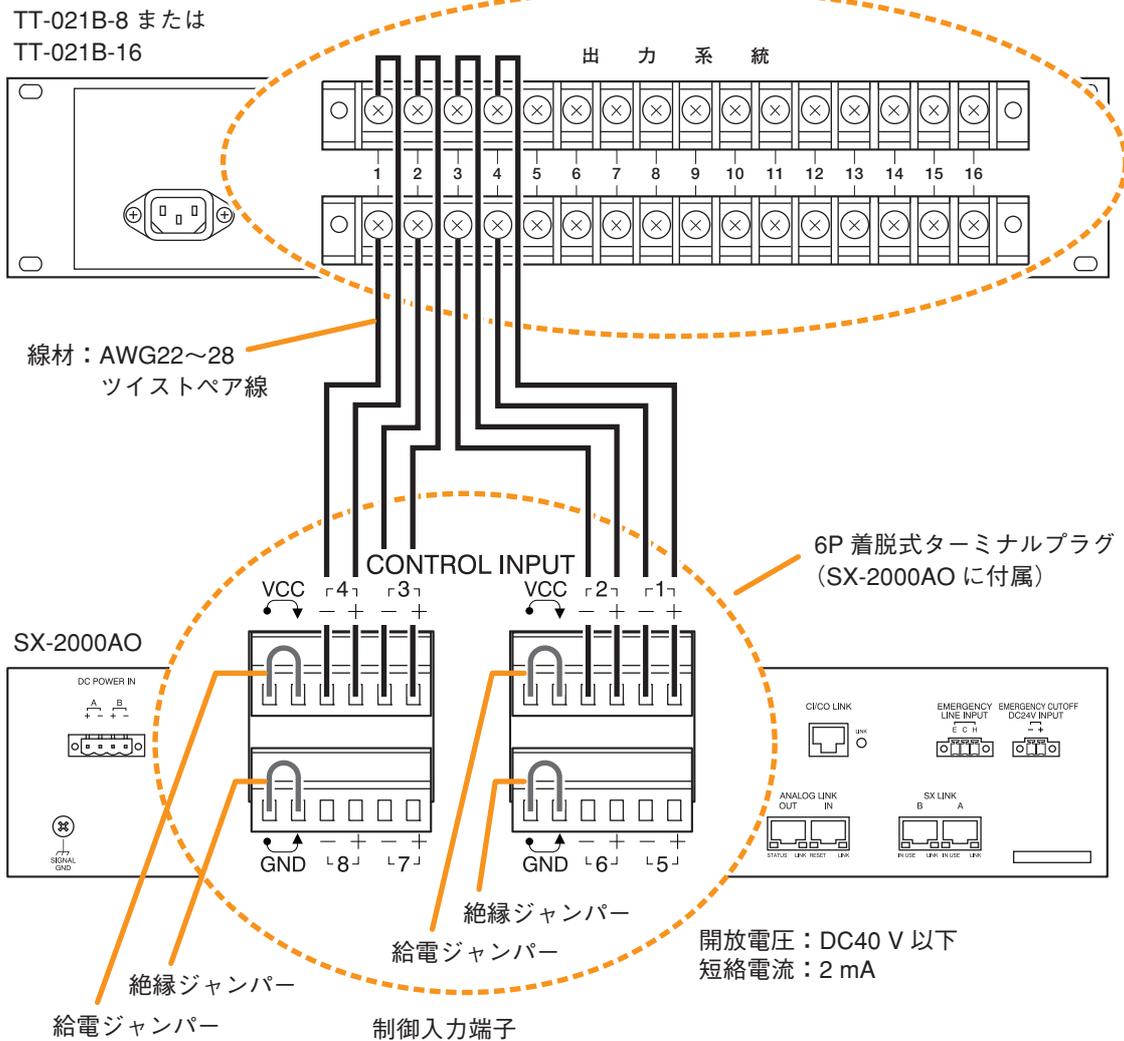


## ● SX-2000AO

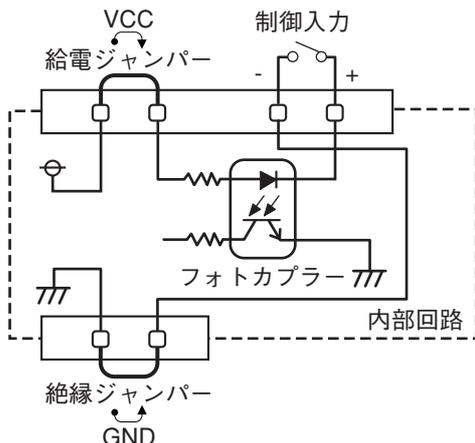
### [制御入力端子とプログラムタイマー TT-021B-8/-021B-16 との接続例]

制御入力にはフォトカプラー入力になっているので、電源が必要です。  
 フォトカプラーへの電源供給には、SX-2000AOの内部電源を使用する方法と、外部電源を使用する方法があります。

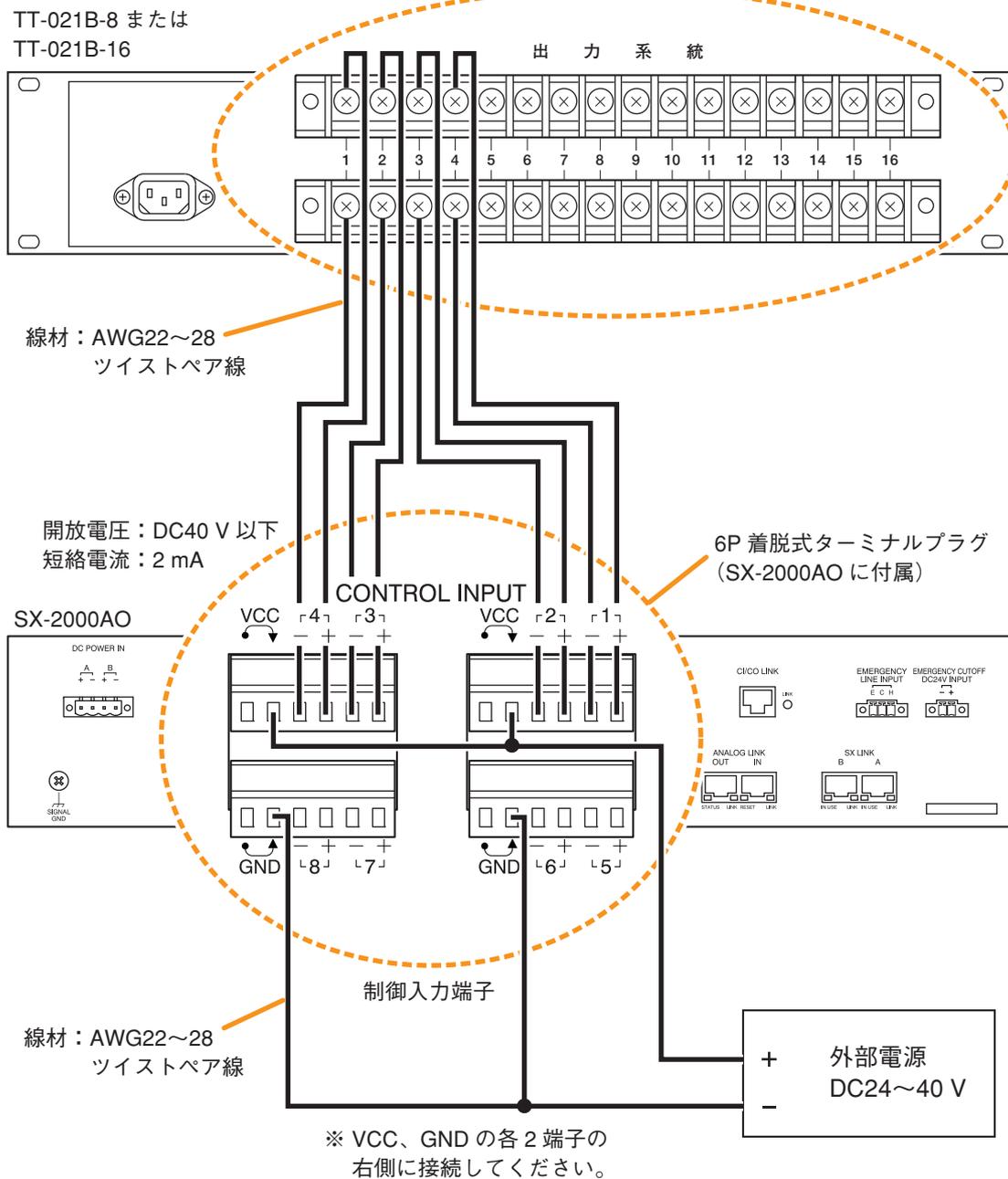
- 内部電源を使用する場合は、給電ジャンパー2個、絶縁ジャンパー2個が必要です。  
 下図のように、ジャンパーが装着された6P着脱式ターミナルプラグを使用して接続してください。



### [給電ジャンパーと絶縁ジャンパーのはたらき]

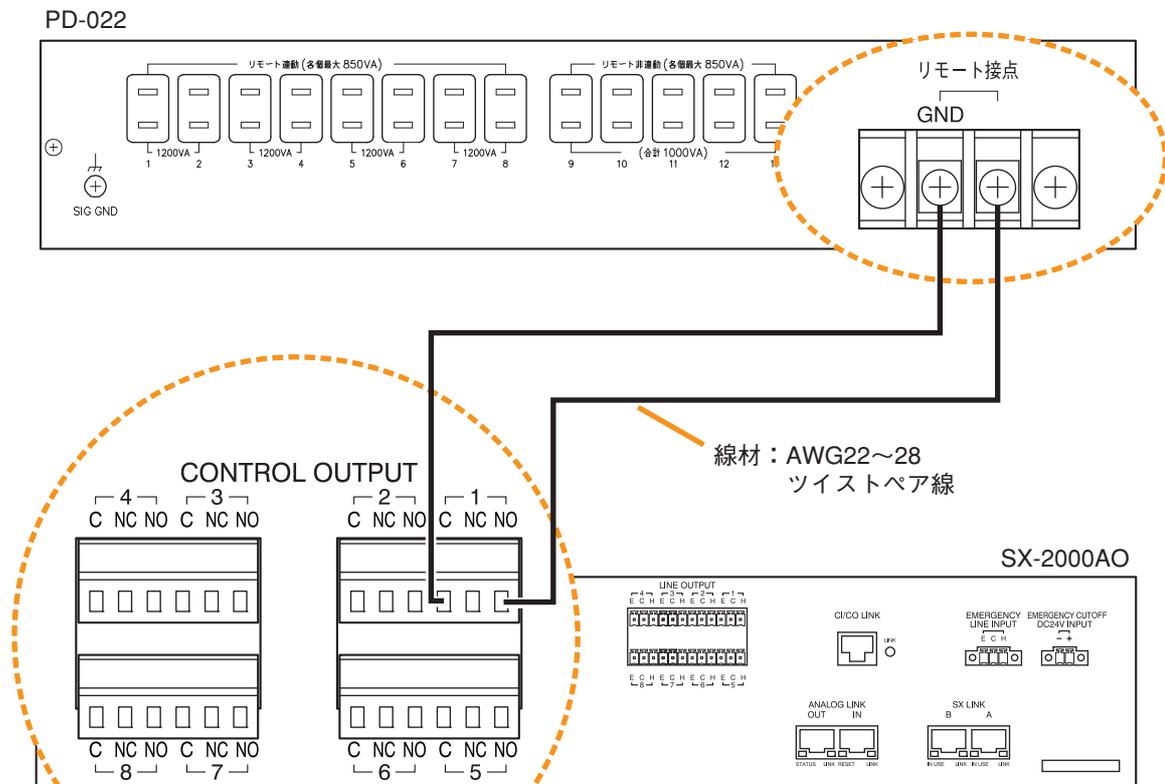


- 制御入力端子はフォトカプラーを使用しているため、外部電源を使用すると絶縁することができます。6P 着脱式ターミナルプラグに装着されている給電ジャンパー2個、絶縁ジャンパー2個を外し、下図のように接続してください。



[制御出力端子と電源分配パネルPD-022との接続例]

機器への電源ON/OFFをリモート制御します。  
 SX-2000AOからの制御出力（メイク接点）により、PD-022を起動します。



耐電圧 : DC40 V  
 制御電流 : 2~300 mA

制御出力端子

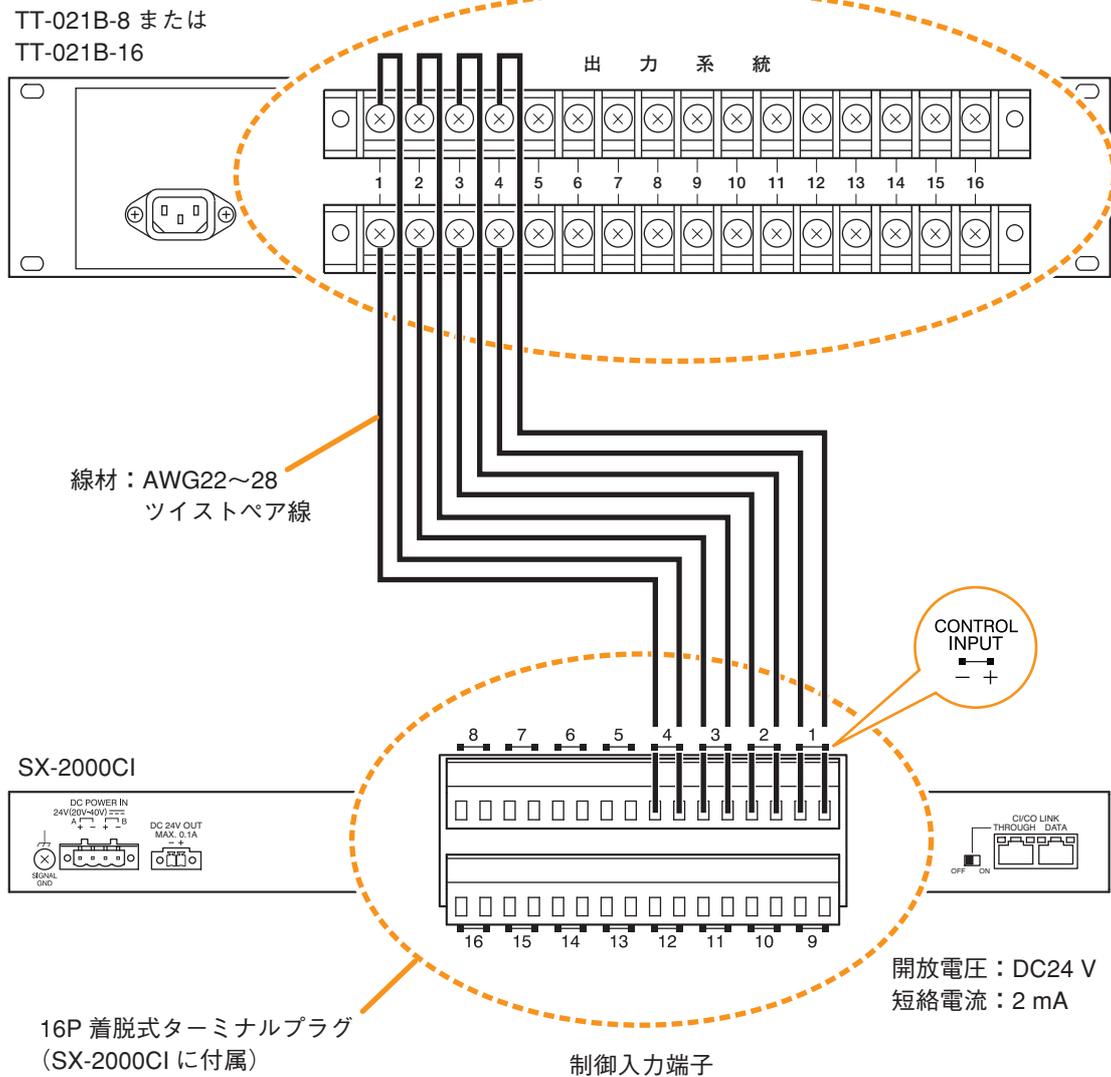
6P 着脱式ターミナルプラグ  
 (SX-2000AO に付属)

● SX-2000CI

[制御入力端子とプログラムタイマー TT-021B-8/-021B-16 との接続例]

タイマーによる自動放送を行います。

プログラムタイマーに設定された時刻になると、SX-2000CIはプログラムタイマーからの制御出力（メイク接点）を受けて、設定された放送パターンを起動します。

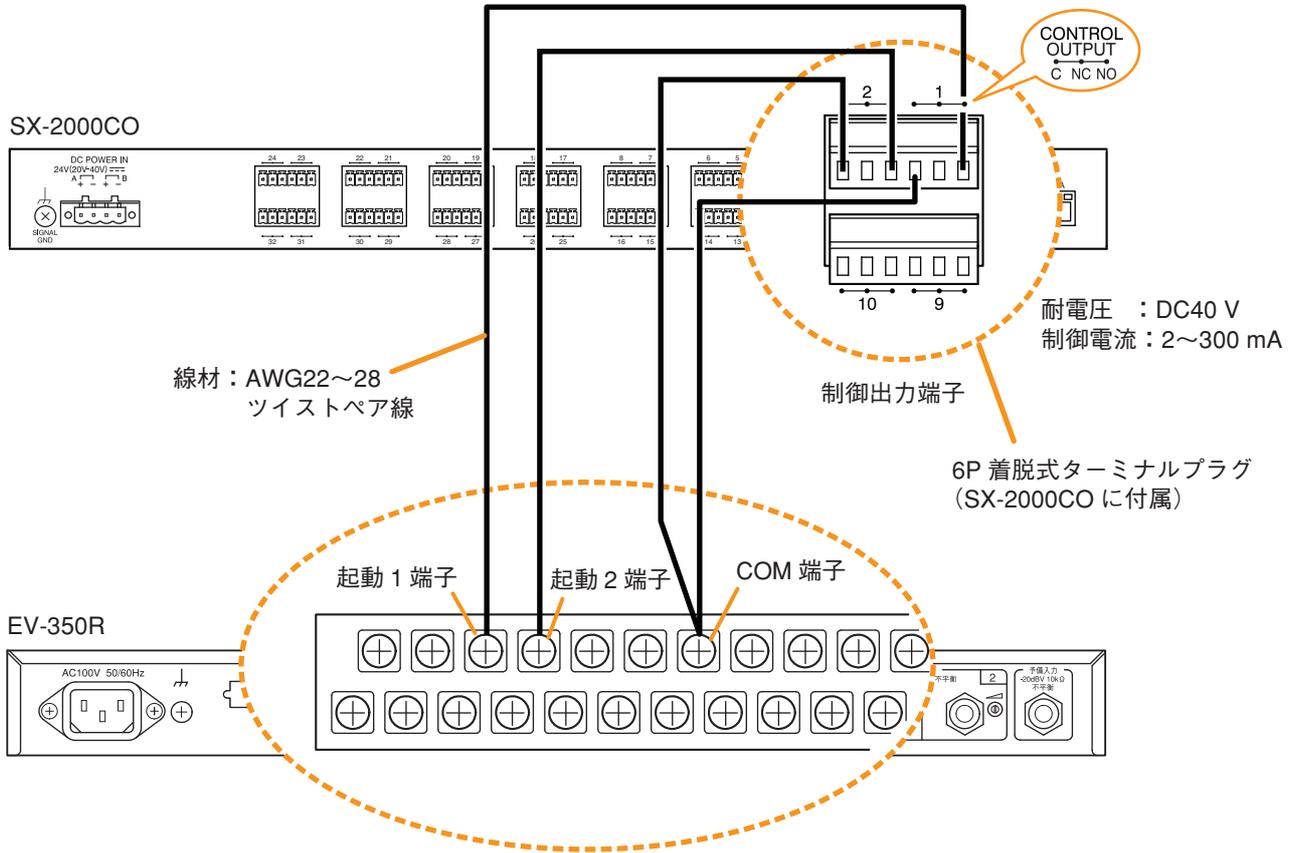


## ● SX-2000CO

### [制御出力端子とデジタルアナウンスマシン EV-350R との接続例]

外部の音源機器をリモート起動します。

SX-2000CO は、放送の起動がかかると設定された制御出力がメイクになり、EV-350R を起動します。



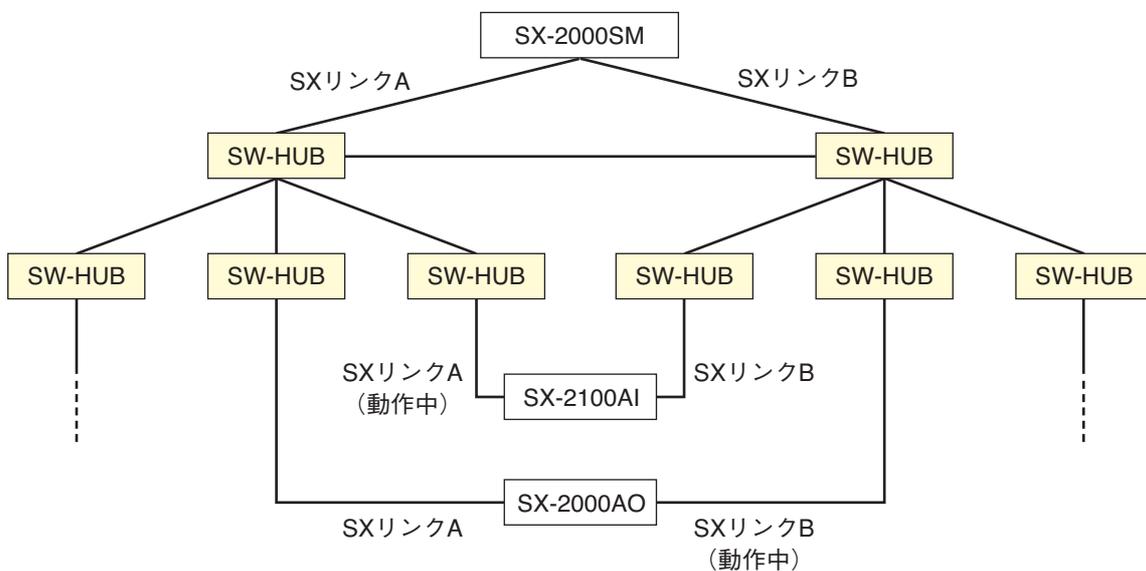
## ■ SXリンクの接続

システム内のすべてのSX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AOのSXリンク端子をスイッチングハブを介して接続します。SX LINK A、Bそれぞれを同じスイッチングハブまたはスター接続された異なるスイッチングハブに接続してください。

### ご注意

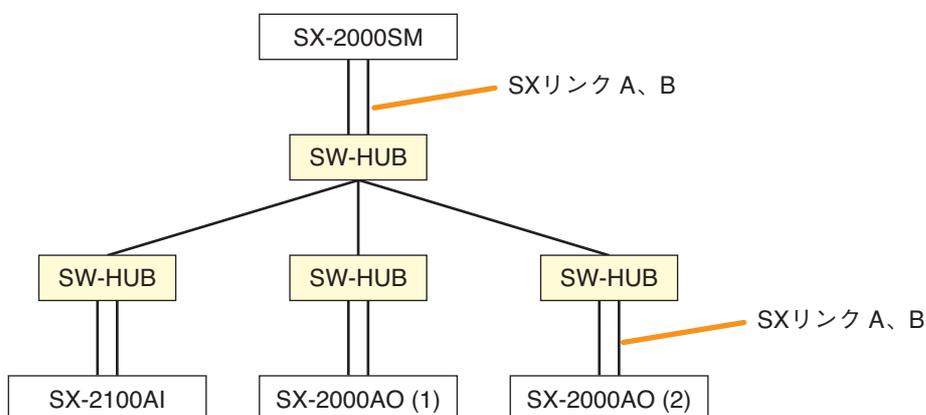
- SXリンクは、他のLANとは完全に独立させてください。
- SX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AO各機器からスイッチングハブまでの距離、およびスイッチングハブとスイッチングハブの間の距離は100 m以内です。
- 必ずA、B端子とも接続してください。
- 複数のスイッチングハブを使用するときは、接続例2のように、SX-2000SMが接続されているスイッチングハブからスター接続をしてください。

[接続例1：スイッチングハブの二重化\*をする場合]



\* 1つの機器のSX LINK A、Bを、接続された2系統のスイッチングハブに接続することにより、断線や故障によるシステムダウンを防ぐ方法。

[接続例2：スイッチングハブの二重化をしない場合]

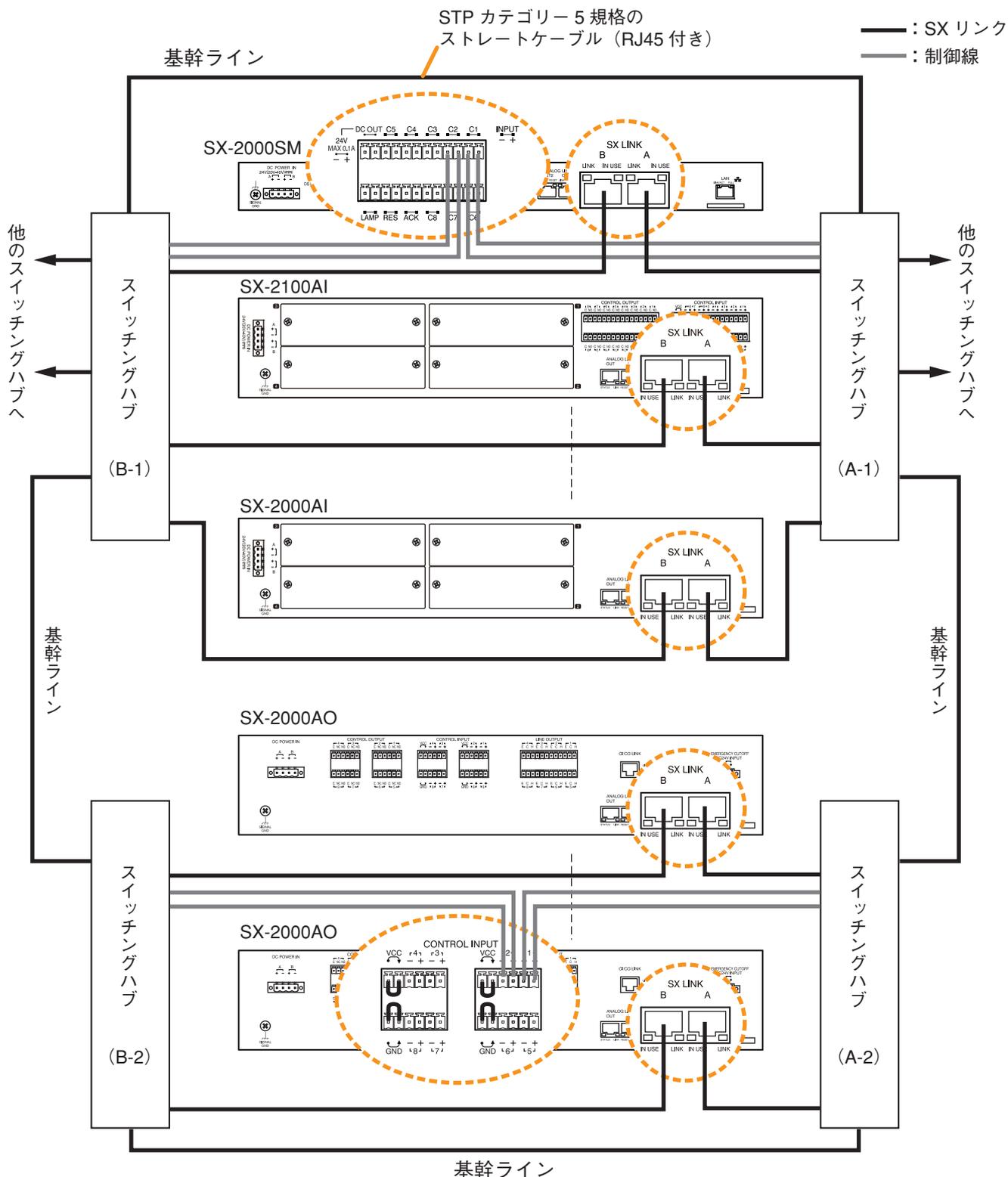


## ● スイッチングハブの二重化をする場合

この接続例では、各機器のSX LINK A、Bを異なるスイッチングハブに接続しています。故障出力機能を持ったスイッチングハブを用いることで、いずれかのスイッチングハブまたは、基幹ラインが故障または断線したときに故障を検知することができます。

### ご注意

- スイッチングハブの段数は7段までとしてください。
- 接続後、SX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AOのリセットキーを押して、再起動させてください。
- スパニングツリー設定をしてください。設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- スイッチングハブの故障出力を接続した制御入力端子に、「外部故障入力」の機能を割り当てる必要があります。（詳しくはソフトウェア取扱説明書の「イベント設定」をご確認ください。）

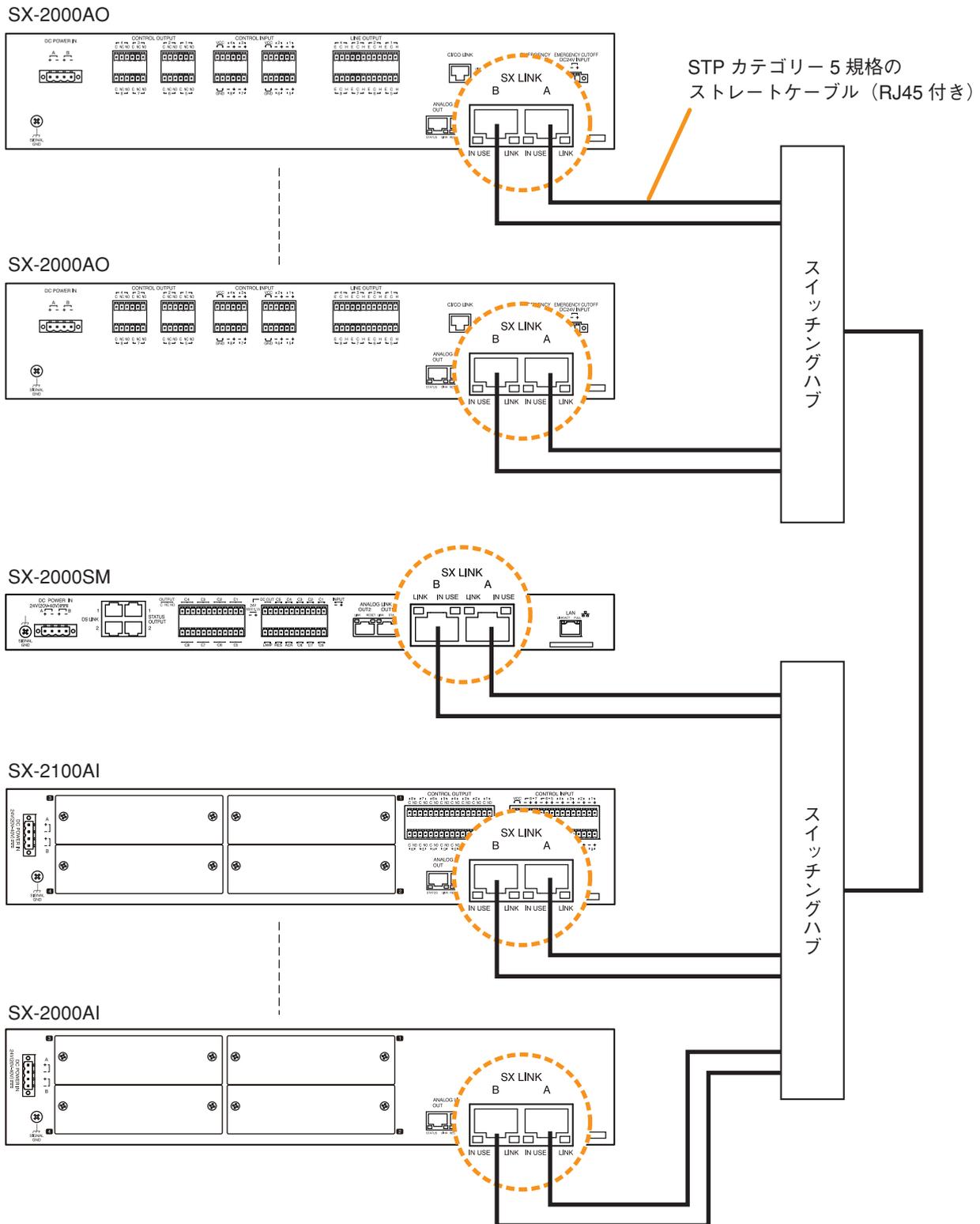


## ● スイッチングハブの二重化をしない場合

この接続例では、各機器のSX LINK A、Bを同じスイッチングハブに接続しています。

### ご注意

- スイッチングハブの段数は7段までとしてください。
- 接続後、SX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AOのリセットキーを押して、再起動させてください。



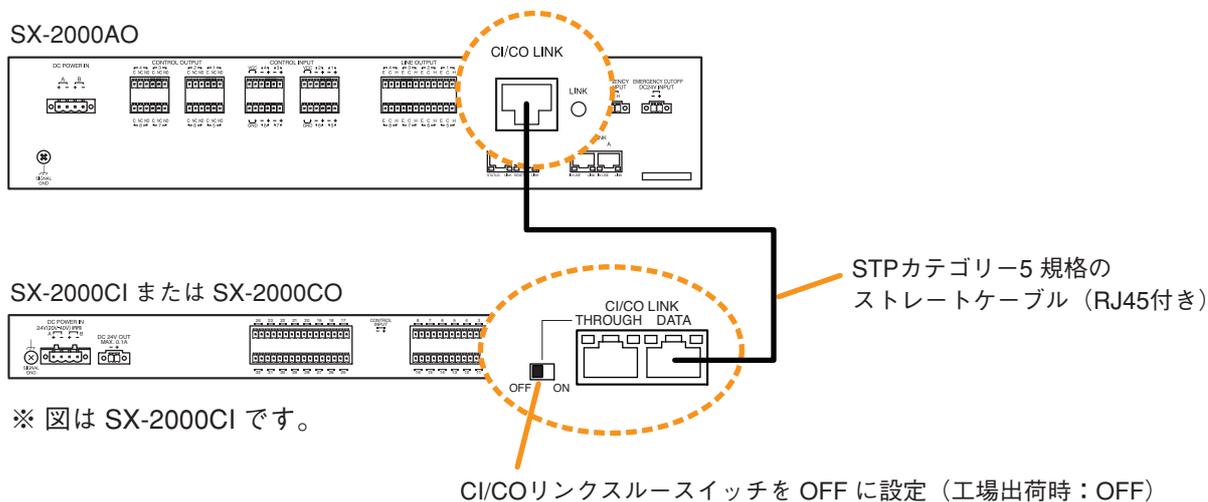
※ スイッチングハブについては、当社営業所にお問い合わせください。

## ■ CI/CO リンクの接続

SX-2000AO に SX-2000CI および SX-2000CO をそれぞれ 1 台ずつ接続することができます。

### ● SX-2000CI または SX-2000CO を 1 台接続する場合

SX-2000CI または SX-2000CO の CI/CO リンクスルースイッチを OFF に設定し、下図のように接続してください。

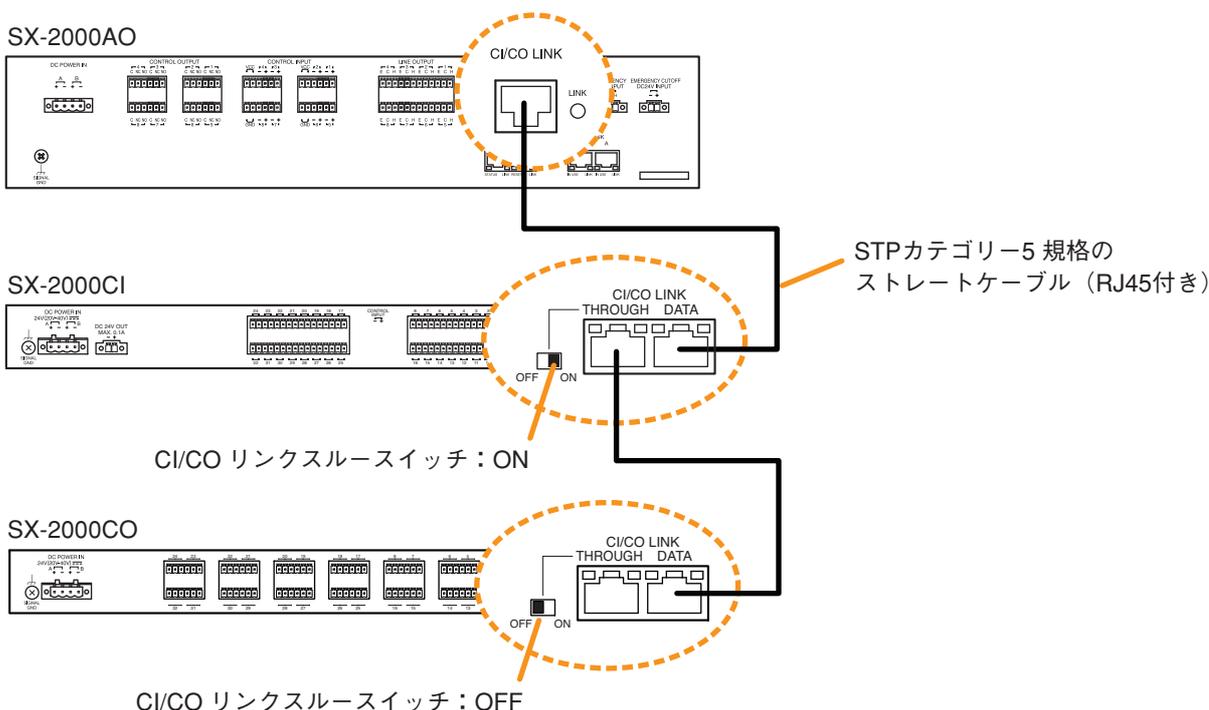


### ● SX-2000CI と SX-2000CO を 1 台ずつ接続する場合

SX-2000AO、SX-2000CI、SX-2000CO を下図のようにカスケード接続します。SX-2000CI と SX-2000CO の接続順序を入れ替えることもできます。SX-2000AO に直接接続する機器の CI/CO リンクスルースイッチを ON に、その次にカスケード接続する機器の CI/CO リンクスルースイッチを OFF にします。

**ご注意** システム内の CI/CO リンクの総延長距離は 800 m 以内にしてください。

※ 図は SX-2000CI を SX-2000AO に直接接続した例です。



## ■ アナログリンクの接続

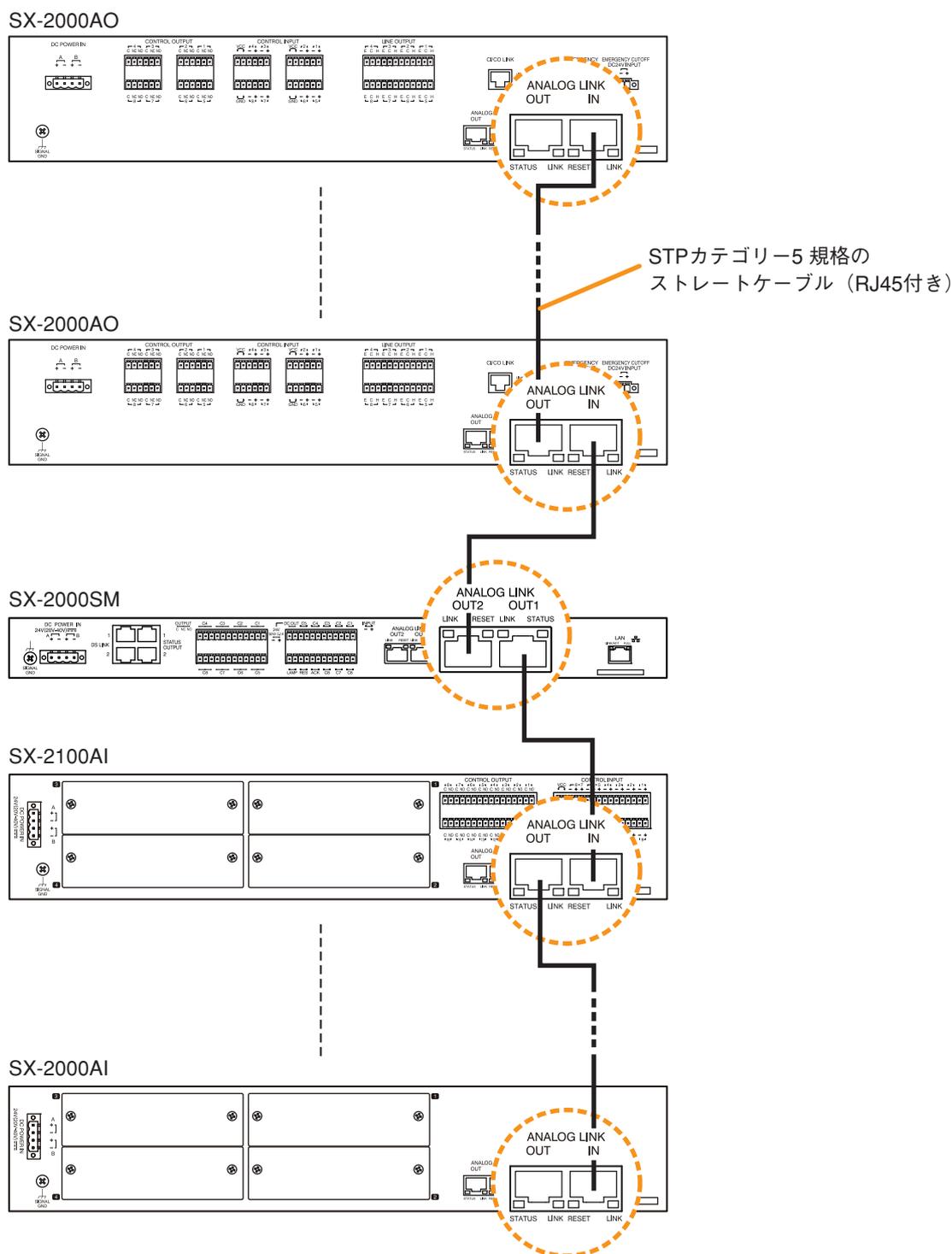
システム内のすべてのSX-2000SM、SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AOをアナログリンクで接続しておく、故障などで通常の放送ができないときに、この線を使用して、リモートマイクRM-200SAから緊急一斉放送を行うことができます。(CPU オフ機能の設定 参照 P. 54)

また、この線を使用してシステム全体をリセットします。( 参照 P. 6 「15.リセットキー」、P. 38 「システムリセットの有効/無効の設定」)

SX-2000SMのアナログリンク出力端子からSX-2000AI、SX-2100AI、またはSX-2000AOのアナログリンク入力端子へ、SX-2000AI、SX-2100AI、またはSX-2000AOのアナログリンク出力端子からSX-2000AI、SX-2100AI、またはSX-2000AOのアナログリンク入力端子へ接続します。

SX-2000SMのアナログ出力端子1と2は同じはたらきです。

**ご注意** システム内のアナログリンクの総延長距離は800 m以内にしてください。



## ■ 制御ラインの故障検知をする場合の接続

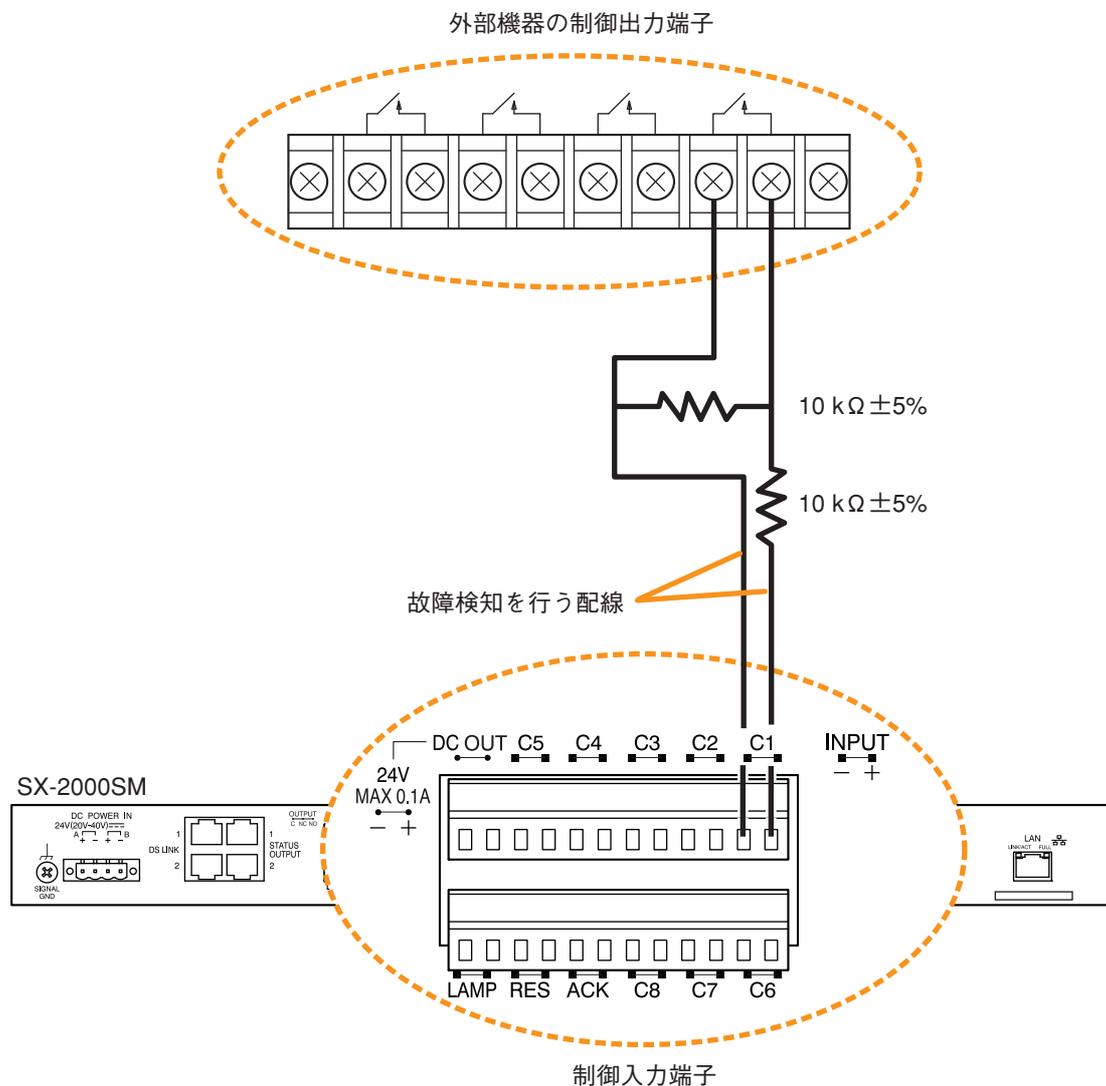
SX-2000SM および SX-2000CI の制御入力端子には、外部制御出力機器との配線に故障がないかどうかを検知する機能を設定することができます。

故障検知を行う配線には、下図のとおり、抵抗を挿入してください。

※ 制御入力端子に故障検知機能を設定する方法については、別冊のソフトウェア取扱説明書「故障検知設定」をお読みください。

### ご注意

- 抵抗は必ず下図のとおり接続してください。  
抵抗を接続しなかった場合や規定の抵抗値と異なる抵抗を使用した場合は、故障検知機能が正しく働きません。
- 安定した動作保証のため、ケーブル長を 10 m 以内にし、ツイストペアケーブル（シールド付き）を使用することを推奨します。



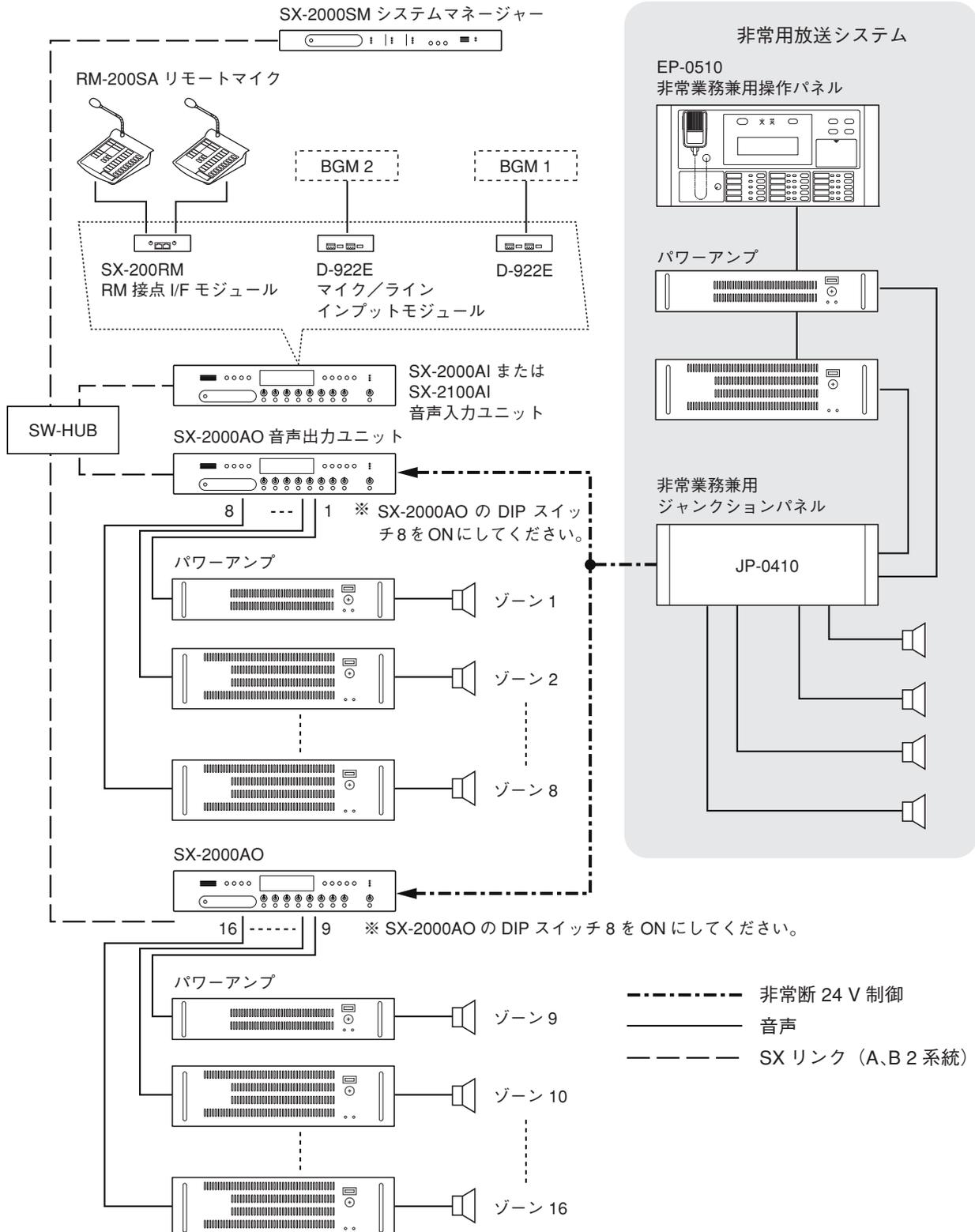
※ 図は SX-2000SM の場合の例です。SX-2000CI の場合も同様です。

※ ケーブルのシールド線は、各機器の機能アース端子に接続してください。

# 非常用システムとの組み合わせ

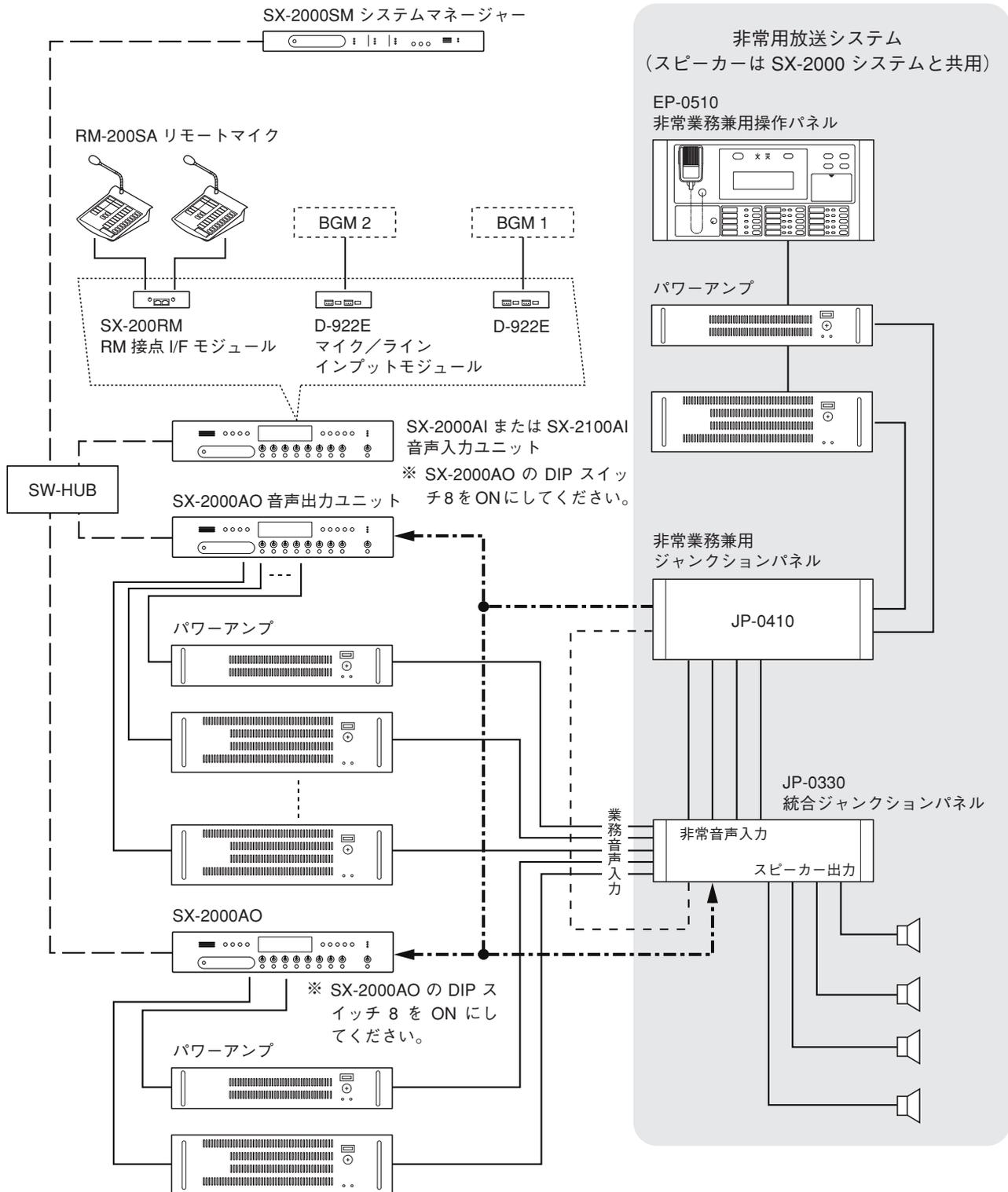
## ■ スピーカーもアンプも別系統の場合

通常時は非常断 24 V 制御のラインから DC24 V が SX-2000AO に供給され、SX-2000 システムが放送状態になります。非常用システムが起動されると、この DC24 V の供給が停止し、SX-2000 システムの放送を停止させます。その結果、システム全体が SX-2000 システムから非常用システムに切り換わります。このとき、SX-2000SM 前面の EMERGENCY 表示灯および非常断 24 V 状態になっている SX-2000AO の前面パネル蛍光表示部の EMERGENCY 表示が点滅します。



## ■ スピーカーは共通でアンプは別系統の場合

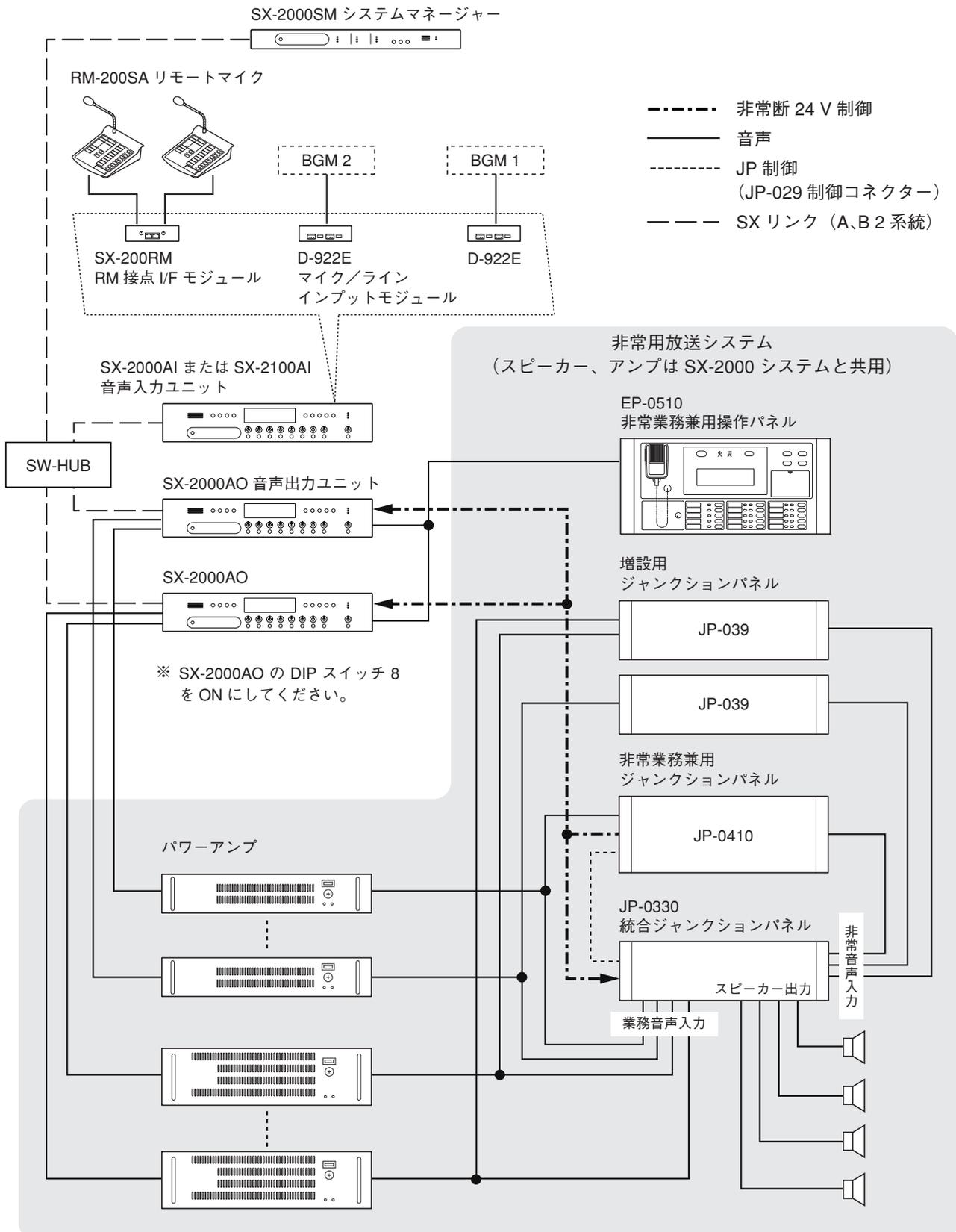
通常時は非常断 24 V 制御のラインから DC24 V が SX-2000AO に供給され、SX-2000 システムが放送状態になります。非常用システムが起動されると、この DC24 V の供給が停止し、SX-2000 システムの放送を停止させます。同時にジャンクションパネル JP-0330 によりスピーカーラインの接続が SX-2000 アンプから非常用アンプに切り換わります。このとき、SX-2000SM 前面の EMERGENCY 表示灯および非常断 24 V 状態になっている SX-2000AO の前面パネル蛍光表示部の EMERGENCY 表示が点滅します。



- 非常断 24 V 制御
- SX リンク (A,B 2 系統)
- 音声
- JP 制御 (JP-029 制御コネクター)

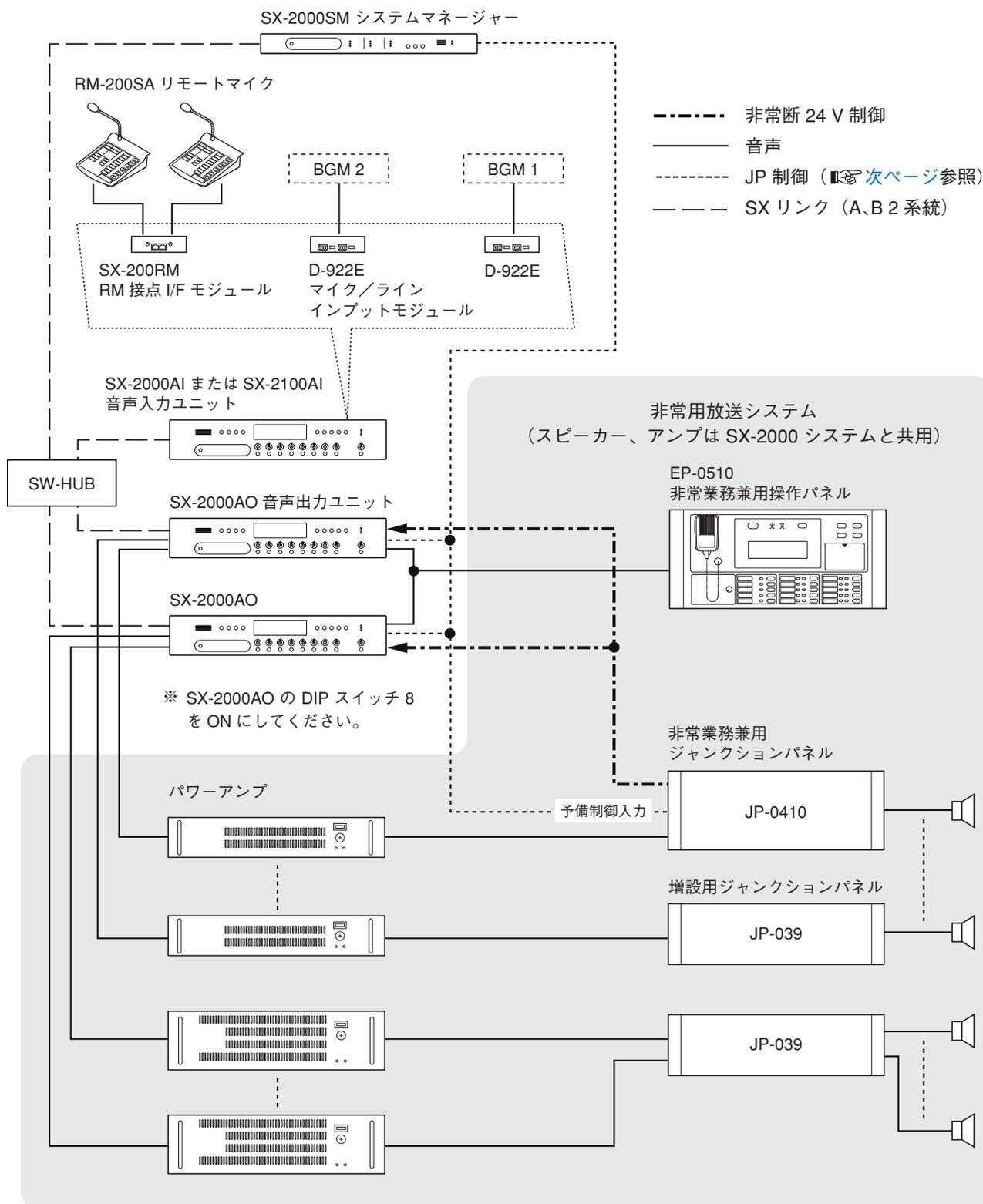
## ■ スピーカーもアンプも共通の場合 (1)

通常時は非常断 24 V 制御のラインから DC24 V が SX-2000AO に供給され、SX-2000 システムが放送状態になります。非常用システムが起動されると、この DC24 V の供給が停止し、SX-2000 システムの放送を停止させ SX-2000AO のすべての出力チャンネルから非常音声が入力されます。同時にジャンクションパネル JP-0330 の音声入力が業務音声入力から非常音声入力に切り換わります。このとき、SX-2000SM 前面の EMERGENCY 表示灯および非常断 24 V 状態になっている SX-2000AO の前面パネル蛍光表示部の EMERGENCY 表示が点滅します。



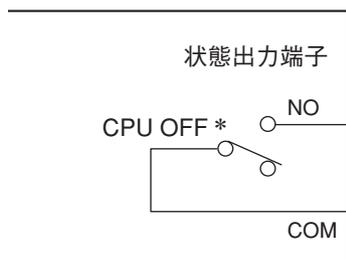
## ■ スピーカーもアンプも共通の場合 (2)

通常時は非常断 24 V 制御のラインから DC24 V が SX-2000AO に供給され、SX-2000 システムが放送状態になります。非常用システムが起動されると、この DC24 V の供給が停止し、SX-2000 システムの放送を停止させ SX-2000AO のすべての出力チャンネルから非常音声が出力されます。このとき、SX-2000SM 前面の EMERGENCY 表示灯および非常断 24 V 状態になっている SX-2000AO の前面パネル蛍光表示部の EMERGENCY 表示が点滅します。



JP 制御線は下図のように接続してください。

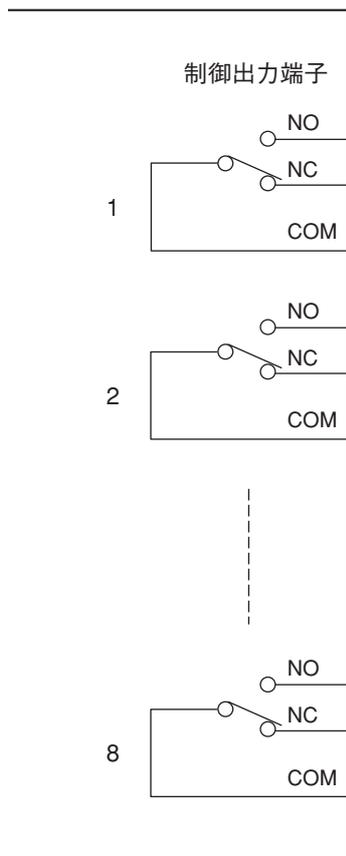
SX-2000SM システムマネージャー



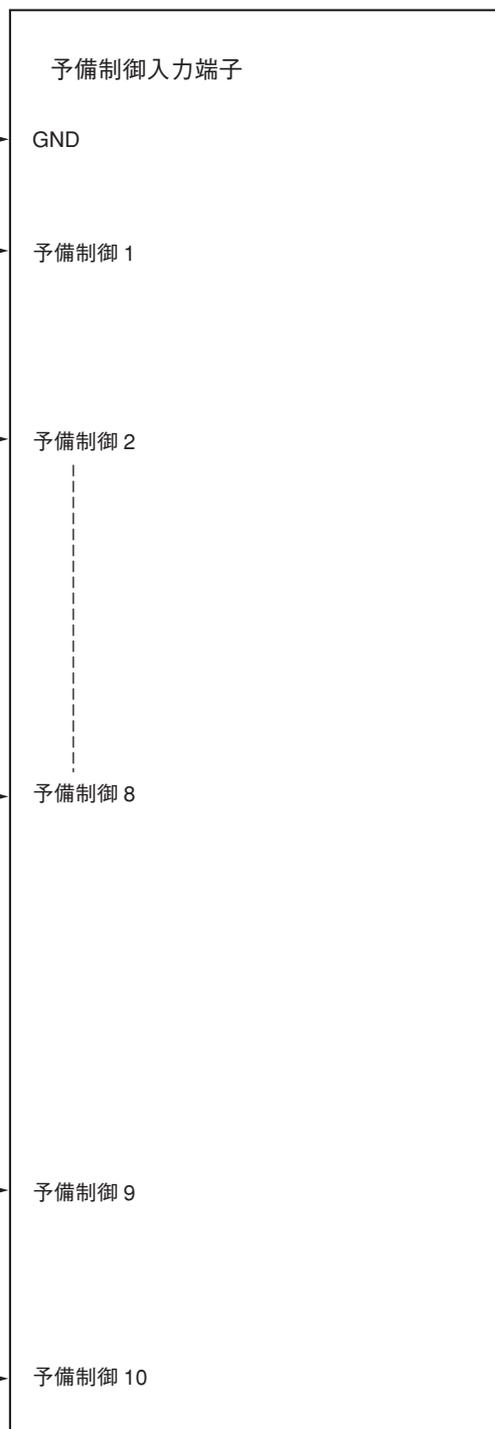
\* CPUオフ機能を使用した緊急一斉放送を行わない場合は、状態出力端子の「CPU OFF」とSX-2000AOの制御出力端子との接続は不要です。

線材：φ0.32～0.64 mm (AWG22～28)  
ツイストペア線

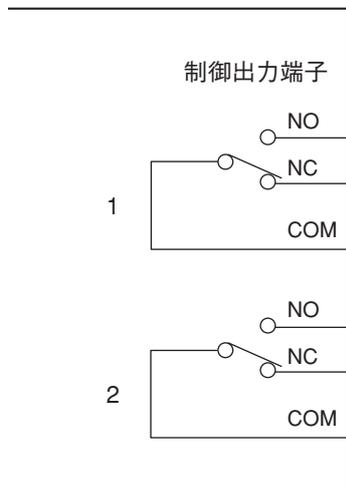
SX-2000AO 音声出力ユニット



JP-0410 非常業務兼用ジャンクションパネル



SX-2000AO 音声出力ユニット



# CFカードを挿入する

## ■ 設定データの使いかた

SX-2000 システムは、SX-2000 設定ソフトウェアで設定したデータを CF カードに保存し、その CF カードを SX-2000SM に挿入して運用します。

**ご注意** 設定データの入った CF カードを、必ず CF カードスロットに挿入してお使いください。

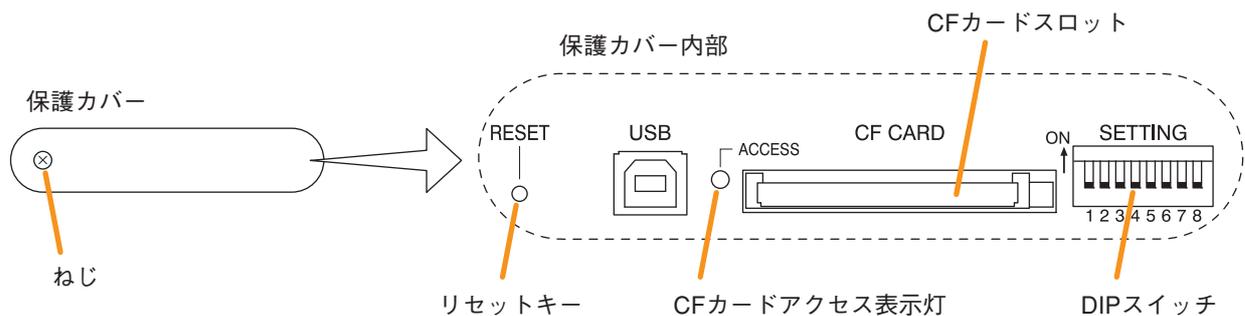
## ■ CF カードの挿入のしかた (SX-2000SM の DIP スイッチ 2 を操作)

SX-2000SM に CF カードを挿入するときは、DIP スイッチの操作が必要です。手順は以下のとおりです。

**ご注意** 保護カバー内部の CF カードアクセス表示灯の点滅中は、DIP スイッチの操作は行わないでください。

### 1 SX-2000SM 前面の保護カバーを取り外す。

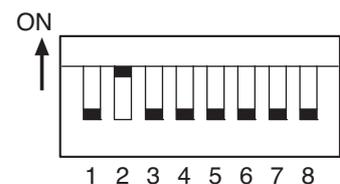
プラスドライバーでねじを外して、保護カバーを取り外します。



### 2 CF カードアクセス表示灯が消灯していることを確認する。

### 3 DIP スイッチ 2 を ON する。

※ 工場出荷時は OFF に設定されています。

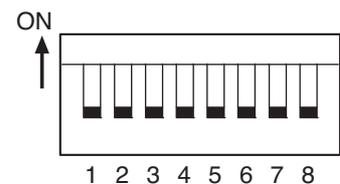


### 4 CF カードスロットに、設定データが保存されている CF カードを挿入する。

カードを挿入すると、ブザーが鳴ります。

手順5でDIPスイッチ2をOFFにすると、ブザーは停止します。

### 5 DIP スイッチ 2 を OFF する。



### 6 リセットキーを押す。

SX-2000 システムが再起動します。

**ご注意** 再起動すると、現在行われている放送は停止します。

### 7 保護カバーを元どおりに取り付ける。

# 時刻設定をする

SX-2000 システムの動作履歴を SX-2000SM で記録する際の時刻を設定する必要があります。

## ご注意

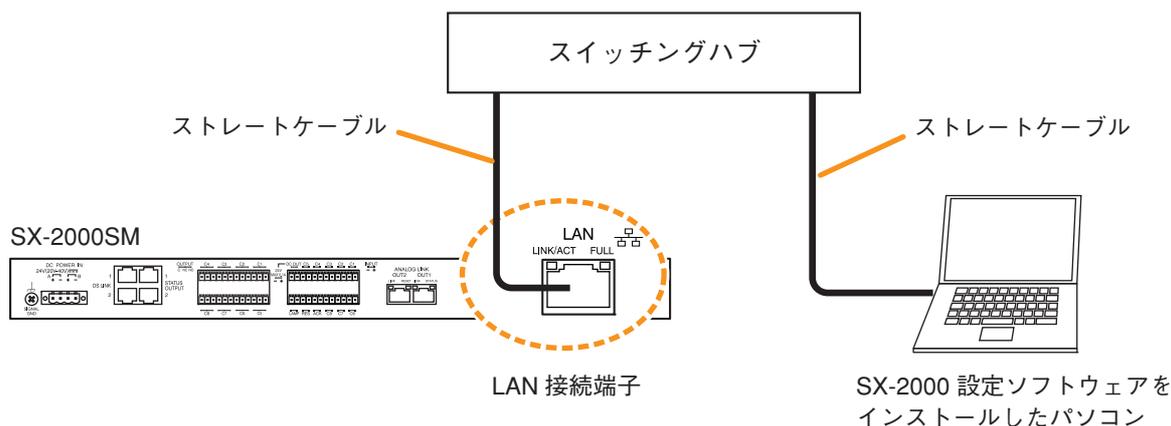
時刻設定データは SX-2000SM の内部のバッテリーで約 1 週間保持されます。組み立て、配線から現場設置までの間が 1 週間以上空くときは、現場設置後にもう一度時刻設定をしてください。

## 1 SX-2000SM と、SX-2000 設定ソフトウェアをインストールしたパソコンをスイッチングハブに接続する。

SX-2000SM の LAN 接続端子を 10BASE-T/100BASE-TX に対応したスイッチングハブに接続します。RJ45 コネクター付き STP カテゴリー 5 規格のストレートケーブルを使用してください。

## ご注意

- SX-2000SM からスイッチングハブまでの距離は 100 m 以内です。
- スwitchングハブを LAN に接続しないでください。
- SX-2000SM を直接、パソコンにクロスケーブルで接続することはやめてください。



## 2 パソコンから時刻設定をする。

詳しくは、別冊のソフトウェア取扱説明書「SX-2000SMの時刻を設定する」をお読みください。

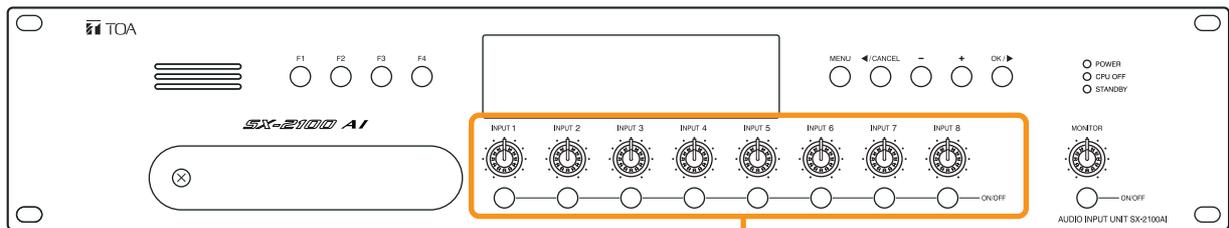
# キーロックの設定と解除

## SX-2000AI、SX-2100AI (DIPスイッチ1を操作)

誤操作を防ぐため、入力音量つまみとチャンネルキーの操作を無効にすることができます。キーロック中に操作した入力音量つまみの値は、キーロック解除後に有効になります。

### ご注意

キーロックが解除されているときにSX-2000システムが緊急放送状態になると、緊急音源を割り当てた入力音量つまみの値は無効になり、SX-2000設定ソフトウェアで設定された値になります。キーロック中は、SX-2000システムが緊急放送状態になっても、入力音量つまみで設定された値が有効になります。キーロックをするときは、緊急音源を割り当てた入力の音量も入力音量つまみで設定してください。

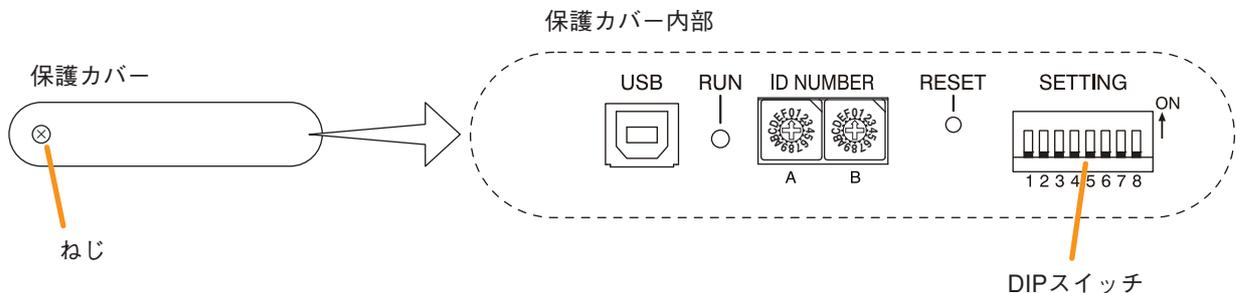


ロックできるキー

※ 図はSX-2100AIです。

## 1 SX-2000AI/2100AI 前面の保護カバーを取り外す。

プラスドライバーでねじを外して、保護カバーを取り外します。

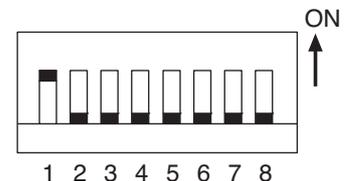


## 2 DIPスイッチを設定する。

※ 工場出荷時のDIPスイッチ1はOFFに設定されています。

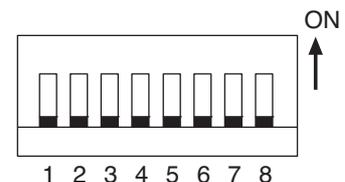
### 2-1 キーロックする場合

DIPスイッチ1をONに設定します。  
キーロックされると、蛍光表示部の「KEY LOCK」が点灯します。



### 2-2 キーロックを解除する場合

DIPスイッチ1をOFFに設定します。  
キーロックが解除されると、蛍光表示部の「KEY LOCK」が消灯します。



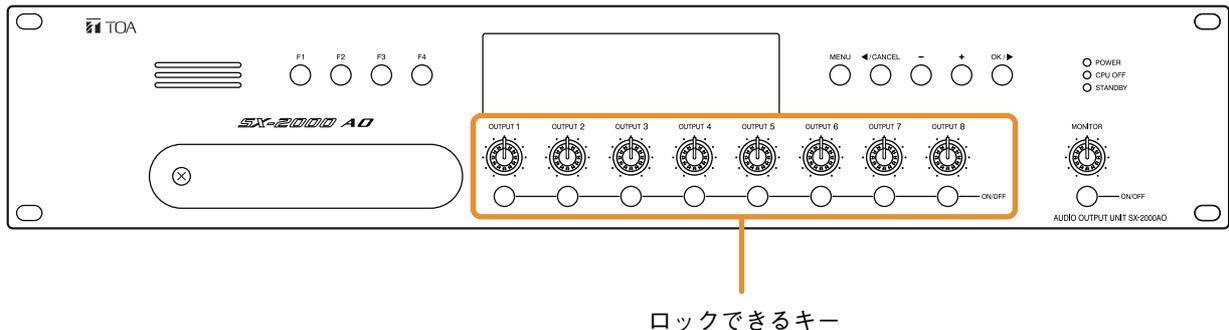
## 3 保護カバーを元どおりに取り付ける。

## ■ SX-2000AO (DIPスイッチ1を操作)

誤操作を防ぐため、出力音量つまみとチャンネルキーの操作を無効にすることができます。  
キーロック中に操作した出力音量つまみの値は、キーロック解除後に有効になります。

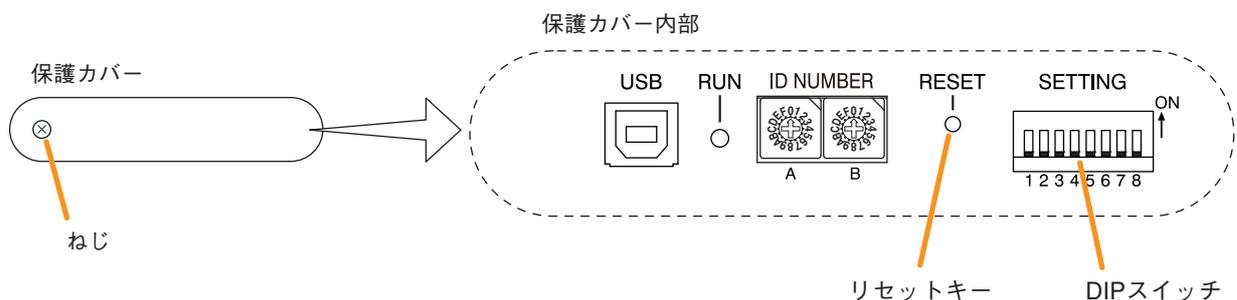
### ご注意

キーロックが解除されているときにSX-2000システムが緊急放送状態になると、緊急音源が放送されているゾーンの出力音量つまみの値は無効になり、SX-2000設定ソフトウェアで設定された値になります。  
キーロック中は、SX-2000システムが緊急放送状態になっても、出力音量つまみで設定された値が有効になります。キーロックをするときは、緊急音源が放送されているゾーンの音量も出力音量つまみで設定してください。



## 1 SX-2000AO 前面の保護カバーを取り外す。

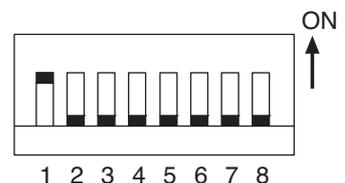
プラスドライバーでねじを外して、保護カバーを取り外します。



## 2 DIPスイッチを設定する。

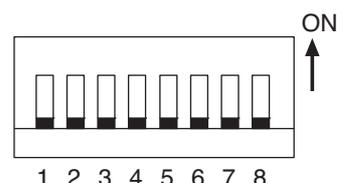
### 2-1 キーロックする場合

DIPスイッチ1をONに設定します。  
キーロックされると、蛍光表示部の「KEY LOCK」が点灯します。



### 2-2 キーロックを解除する場合

DIPスイッチ1をOFFに設定します。  
キーロックが解除されると、蛍光表示部の「KEY LOCK」が消灯します。



## 3 保護カバーを元どおりに取り付ける。

※ 工場出荷時のDIPスイッチ1はOFFに設定されています。

# 履歴データの取り込み (SX-2000SM の DIP スイッチ 1、2 を操作)

SX-2000 システムの履歴を s2l 形式のデータとして CF カードに書き込み、SX-2000 設定ソフトウェアを搭載したパソコンで表示して、Excel の CSV 形式のファイルとして出力させることができます。

履歴データには、すべてのログを含む動作履歴データと故障ログのみを含む故障履歴データがあります。

動作履歴データは Sx2kOp\*\*.s2l というファイル名、故障履歴データは Sx2kFa\*\*.s2l というファイル名が自動的に付けられて CF カードに保存されます。\*\*の部分にはデータが保存された順に 00～99 までの数字が入ります。100 個を超えて保存すると、古いデータから順に上書きされます。履歴の新旧はファイルの日付で判断してください。

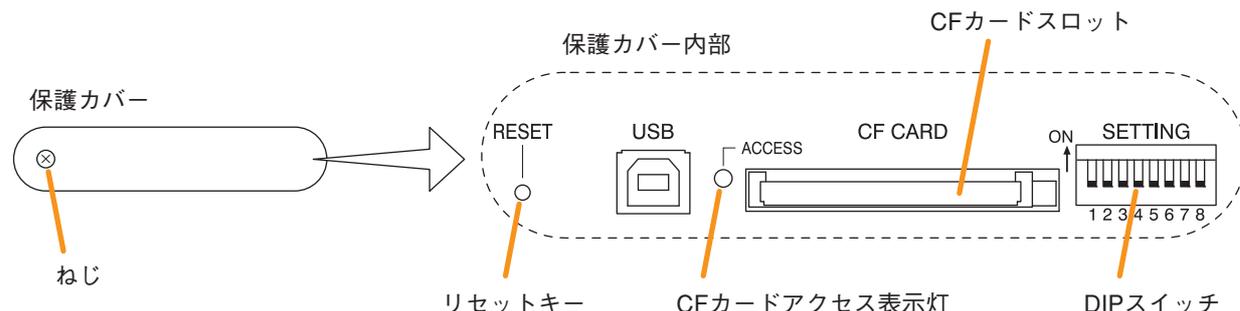
SX-2000SM の履歴データを CF カードに書き込む手順は以下のとおりです。

## ご注意

- 履歴データを CF カードに書き込むときは、CF カードに十分な空き容量があることをご確認ください。推奨する空き容量は 15 MB 以上です。
- 保護カバー内部の CF カードアクセス表示灯の点滅中は、DIP スイッチの操作は行わないでください。
- SX-2000SM のメモリーにある履歴データは、SX-2000SM の再起動で消失します。履歴データを CF カードに書き込む場合は、再起動する前に行ってください。
- 履歴取り込みのために CF カードを SX-2000SM から外した場合でも、SX-2000SM 本体を再起動するまでは、現在の設定データで動作します。
- 動作履歴データは 1 時間ごとにログを残します。
- 故障履歴データは故障発生後 100 秒以内にログを残します。

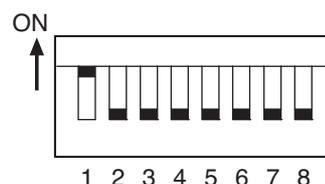
## 1 SX-2000SM 前面の保護カバーを取り外す。

プラスドライバーでねじを外して、保護カバーを取り外します。



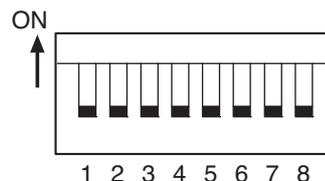
## 2 DIP スイッチ 1 を ON にする。

このタイミングで CF カードに履歴データが保存されます。



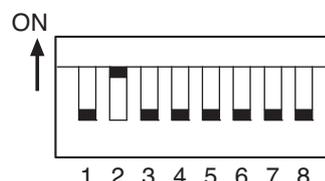
※ 工場出荷時の DIP スイッチ 1 は OFF に設定されています。

## 3 CF カードアクセス表示灯が消灯しているのを確認し、DIP スイッチ 1 を OFF にする。



## 4 DIP スイッチ 2 を ON にする。

CF カードへのアクセスが停止し、CF カードを抜くことができる状態になります。



5 CFカードスロットからCFカードを抜き取る。

6 設定用パソコンにCFカードを差し込み、SX-2000設定ソフトウェアを起動する。

SX-2000設定ソフトウェア上で履歴データを確認することができます。

詳しくは、別冊のソフトウェア取扱説明書「ユーティリティ」をお読みください。

7 SX-2000SMのCFカードスロットに設定データが保存されているCFカードを差し込む。

カードを挿入すると、ブザーが鳴ります。

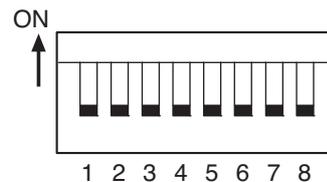
手順8でDIPスイッチ2をOFFにすると、ブザーは停止します。

8 DIPスイッチ2をOFFにする。

**ご注意**

設定データを変更した場合は、DIPスイッチ2をOFFにした後に必ずリセットキーを押して再起動させてください。

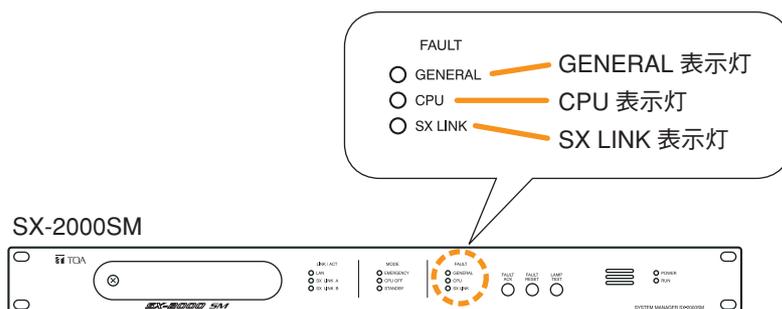
再起動すると、現在行われている放送は停止します。



9 保護カバーを元どおりに取り付ける。

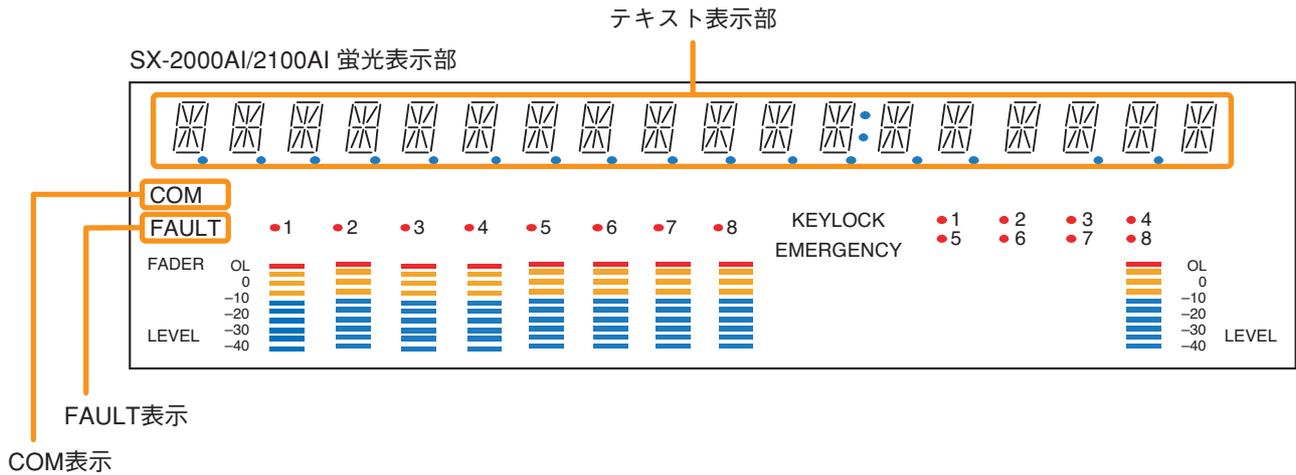
## 異常表示

### SX-2000SM



異常表示	内容
GENERAL 表示灯が黄色に点灯／点滅 <span style="color: yellow;">●</span> GENERAL または <span style="color: yellow;">●</span> GENERAL	システムに何らかの異常があります。
CPU 表示灯が黄色に点灯 <span style="color: yellow;">●</span> CPU	SX-2000SM に何らかの異常があります。
SX LINK 表示灯が黄色に点滅 <span style="color: yellow;">●</span> SX LINK	後面の SX リンク A/B 端子のどちらにも接続されていません。

# SX-2000AI、SX-2100AI



## [デフォルト表示の画面での異常表示]

異常表示	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「AI-xx UNLINKED」を表示</li> </ul>	<p><b>AI-xx UNLINKED</b></p> <p>SX-2000SMに正しく認識されていません。 機器番号が重複している可能性があります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「AI-xx UNCONFIGURED」を表示</li> </ul>	<p><b>AI-xx UNCONFIGURED</b></p> <p>設定の範囲外にあります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「AI-xx MISMATCH VER」を表示</li> </ul>	<p><b>AI-xx MISMATCH VER</b></p> <p>SX-2000SMとの互換性がありません。 SX-2000AI/2100AIまたはSX-2000SMを最新のファームウェアに更新してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「AI-xx PLEASE RESET」を表示</li> </ul>	<p><b>AI-xx PLEASE RESET</b></p> <p>機器番号が変更されました。 保護カバー内のリセットボタンを押してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「AI-xx *CHECK SLOT*」を表示</li> </ul>	<p><b>AI-xx *CHECK SLOT*</b></p> <p>互換性のないモジュールが装着されています。後面のモジュールスロットを確認してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「AI-xx ***CPU OFF***」を表示</li> </ul>	<p><b>AI-xx ***CPU OFF***</b></p> <p>緊急一斉放送中（CPUオフ状態）です。</p>

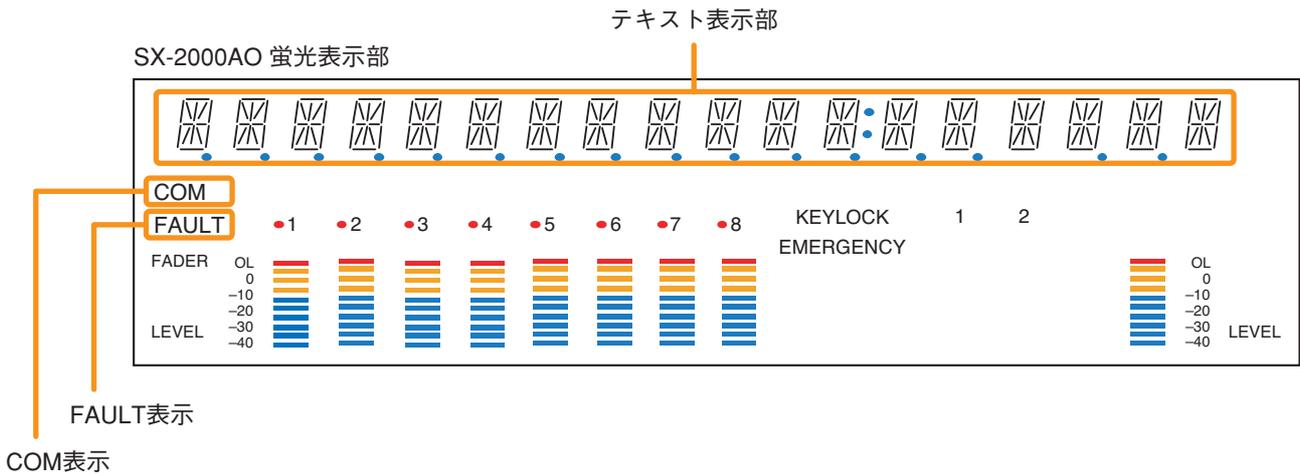
異常表示	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「AI-xx *CF ERROR*」を表示</li> </ul>	 <p>CFカードに異常があります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「AI-xx MAINTENANCE」を表示</li> </ul>	 <p>SX-2000SMにCFカードが挿入されていません。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「AI-xx SYSTEM MUTE」を表示</li> </ul>	 <p>SX-2000設定ソフトウェアで設定した入力音量が全チャンネルでミュートされています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「AI-xx *ALL CH OFF*」を表示</li> </ul>	 <p>前面パネルの入力音量つまみで設定された入力音量が、全チャンネルでミュートされています。</p>

#### [メニュー画面でのエラー表示]

デフォルト表示の画面でメニューキーを押し、次にOKキーを押すと、エラー表示画面になります。エラーがあるときは、次のように表示されます。(詳しくは、別冊の操作説明書「音声入力ユニットSX-2000AI」「音声入力ユニットSX-2100AI」をお読みください。)

異常表示	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「COMPONENT ERROR」を表示</li> <li>FAULT表示が点滅</li> </ul>	 <p>システム機器の構成またはモジュールの構成が、SX-2000設定ソフトウェアで設定された内容と異なります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「FAULT DETECTED」を表示</li> <li>FAULT表示が点滅</li> </ul>	 <p>システムに故障があります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「SX LINK COM FAULT」を表示</li> <li>COM表示が点滅</li> <li>FAULT表示が点滅</li> </ul>	 <p>SX-2000AI/2100AIがSX-2000SMと通信できない状態です。</p>

# SX-2000AO



## [デフォルト表示の画面での異常表示]

異常表示	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「AO-xx UNLINKED」を表示</li> </ul>	<p><b>AO-xx UNLINKED</b></p> <p>SX-2000SMに正しく認識されていません。機器番号が重複している可能性があります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「AO-xx UNCONFIGURED」を表示</li> </ul>	<p><b>AO-xx UNCONFIGURED</b></p> <p>設定の範囲外にあります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「AO-xx MISMATCH VER」を表示</li> </ul>	<p><b>AO-xx MISMATCH VER</b></p> <p>SX-2000SMとの互換性がありません。SX-2000AOまたはSX-2000SMを最新のファームウェアに更新してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「AO-xx PLEASE RESET」を表示</li> </ul>	<p><b>AO-xx PLEASE RESET</b></p> <p>機器番号が変更されました。保護カバー内のリセットボタンを押してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「AO-xx ***CPU OFF***」を表示</li> </ul>	<p><b>AO-xx *** CPU OFF ***</b></p> <p>緊急一斉放送中（CPUオフ状態）です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「AO-xx * CF ERROR *」を表示</li> </ul>	<p><b>AO-xx * CF ERROR *</b></p> <p>CFカードに異常があります。</p>

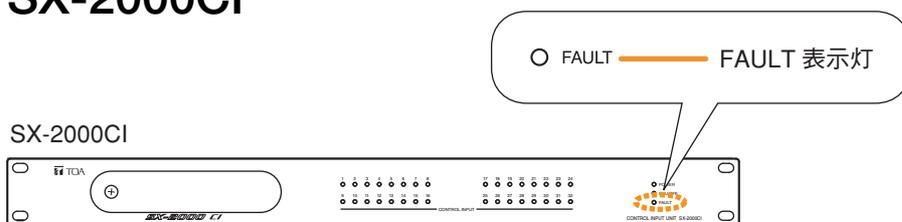
異常表示	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「AO-xx MAINTENANCE」を表示</li> </ul> <div data-bbox="580 197 1027 349" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <b>AO-xx MAINTENANCE</b> </div>	SX-2000SMにCFカードが挿入されていません。
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「AO-xx *ALL CH OFF*」を表示</li> </ul> <div data-bbox="580 409 1027 562" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <b>AO-xx *ALL CH OFF*</b> </div>	前面パネルの出力音量つまみで設定された出力音量が、全チャンネルでミュートされています。

#### [メニュー画面でのエラー表示]

デフォルト表示の画面でメニューキーを押し、次にOKキーを押すと、エラー表示画面になります。エラーがあるときは、次のように表示されます。(詳しくは、別冊の操作説明書「音声出力ユニットSX-2000AO」をお読みください。)

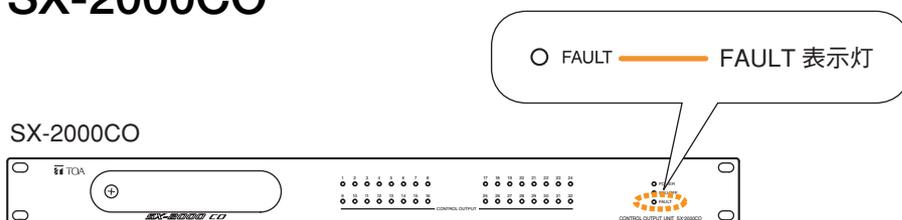
異常表示	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「COMPONENT ERROR」を表示</li> <li>FAULT表示が点滅</li> </ul> <div data-bbox="580 916 1027 1068" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <b>COMPONENT ERROR</b>   </div>	システム機器の構成またはモジュールの構成が、SX-2000設定ソフトウェアで設定された内容と異なります。
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「FAULT DETECTED」を表示</li> <li>FAULT表示が点滅</li> </ul> <div data-bbox="580 1128 1027 1281" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <b>FAULT DETECTED</b>   </div>	システムに故障があります。
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト表示部に「SX LINK COM FAULT」を表示</li> <li>COM表示が点滅</li> <li>FAULT表示が点滅</li> </ul> <div data-bbox="580 1341 1027 1494" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <b>SX LINK COM FAULT</b>   </div>	SX-2000AOがSX-2000SMと通信できない状態です。

## ■ SX-2000CI



異常表示		内容
FAULT 表示灯が黄色に点灯	● FAULT	接続先の SX-2000AO との通信が 5 秒以上途絶えています。
FAULT 表示灯が黄色に点滅	● FAULT	システムに何らかの異常があります。

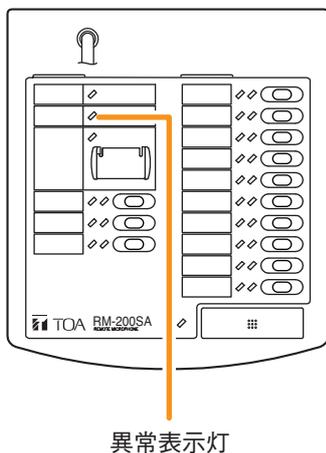
## ■ SX-2000CO



異常表示		内容
FAULT 表示灯が黄色に点灯	● FAULT	接続先の SX-2000AO との通信が 5 秒以上途絶えています。
FAULT 表示灯が黄色に点滅	● FAULT	システムに何らかの異常があります。

## ■ RM-200SA

RM-200SA 上面



異常表示		内容
異常表示灯が橙色に点灯	■	接続先の SX-2000AI/2100AI との通信が 5 秒以上途絶えています。
異常表示灯が橙色に点滅	■	システムに何らかの故障があります。

# 仕 様

## ■ システムマネージャー SX-2000SM

電 源	適合電源：AD-011、AD-031B DC24 V（動作範囲：DC20～40 V）2系統入力による電源2重化可能	
消 費 電 流	1.1 A 以下（電源動作範囲での最大値）、0.8 A 以下（DC24 V時）	
表 示 ・ 操 作	SXリンクアクセス表示数：2 LANアクセス表示数：1 モード表示数：3（EMERGENCY/STANDBY/CPU OFF） 故障表示数：3（GENERAL/CPU/SX LINK） 電源表示数：1（POWER） 本体動作表示数：1（RUN） 故障制御スイッチ数：3（FAULT ACK/FAULT RESET/LAMP TEST）	
S X リ ン ク	ネットワーク I/F	100BASE-TXの2系統、RJ45コネクタ
	マトリクスシステム仕様	バス：16 優先制御：512段階 最大音声入力：64 ch 動作履歴：1,000件 最大音声出力：256ゾーン 故障履歴：100件 最大接点入力：1416 最大接点出力：1416
	マトリクスシステム構成	SX-2000AI/2100AI接続台数：合計最大8 SX-2000AO接続台数：最大32 SX-2000CI接続台数：最大32（SX-2000AO1台につき1台） SX-2000CO接続台数：最大32（SX-2000AO1台につき1台） RM-200SA接続台数：最大64（SX-2000AI/2100AI 1台につき最大8台）
	接続線 / デバイス	シールド付きLAN用カテゴリ5ツイストペアケーブル（CAT5-STP） SX-2000AI、SX-2100AI、SX-2000AOをスイッチングハブを介して接続。 ※このネットワークは他のLANと完全に独立させる。 ※スイッチングハブについては、当社営業所にお問い合わせください
	スイッチングハブ段数	7段まで
	最大延長距離	100 m（本機～スイッチングハブ間、スイッチングハブ～スイッチングハブ間）
L A N	ネットワーク I/F	10BASE-T/100BASE-TXの1系統（自動認識で切り換え）、RJ45コネクタ、メンテナンス用
	ネットワークプロトコル	TCP/IP
	接続線	シールド付きLAN用カテゴリ5ツイストペアケーブル（CAT5-STP）
	最大延長距離	100 m（本機～スイッチングハブ、スイッチングハブ～PC間）
アナ ログ リ ン ク	入出力コネクタ	出力：2系統、RJ45コネクタ
	接続線	シールド付きLAN用カテゴリ5ツイストペアケーブル（CAT5-STP） （音声線1対＋CPU-OFF線1対＋リセット／起動制御線1対＋確認線1対）
	最大総延長距離	800 m
故 障 情 報 入 力	入力数3（ACK/RES/LAMP）、無電圧メイク接点入力、開放電圧：DC24 V、短絡電流：2 mA、フォトカプラー入力、着脱式ターミナルブロック（12P）	
故 障 状 態 出 力	出力数4（CPU FAULT/GENERAL FAULT/CPU OFF/BUZZER）、C接点、無電圧メイク接点出力：リレー接点出力（耐電圧：DC40 V、制御電流：2～300 mA）、RJ45コネクタ	
制 御 入 力	入力数8、無電圧メイク接点入力、開放電圧：DC24 V、短絡電流：2 mA、フォトカプラー入力、着脱式ターミナルブロック（12P）	
制 御 出 力	出力数8、C接点、無電圧メイク接点出力：リレー接点出力（耐電圧：DC40 V、制御電流：2～300 mA）、着脱式ターミナルブロック（12P）	
メ モ リ ー カ ー ド	実装スロット1、付属のCFカードを使用 設定データ、履歴データを保存	
使 用 温 度 範 囲	0～+40℃	
使 用 湿 度 範 囲	35～80% RH（ただし、結露がないこと）	
仕 上 げ	パネル：アルミ、黒（マンセルN1.0近似色）、アルマイト染色 ケース：表面処理鋼板	
寸 法	482（幅）×44（高さ）×333（奥行）mm	
質 量	3.8 kg	

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ● 付属品

CD (SX-2000 設定ソフトウェア、ソフトウェア取扱説明書、操作説明書) .....	1
CF カード .....	1
着脱式ターミナルプラグ (4P) .....	1
着脱式ターミナルプラグ (12P) .....	4
ラック取付ねじ (平座金付き) 5 × 12 .....	4
ドライバー .....	1
設置説明書 (本書) .....	1
はじめにお読みください .....	1

## ■ 音声入力ユニット SX-2000AI

電 源	適合電源：AD-011、AD-031B DC24 V（動作範囲：DC20～40 V）、2系統入力による電源2重化可能	
消 費 電 流	1.82 A 以下（電源動作範囲内での最大値） 1.35 A 以下（DC24 V 時） ※ ただし本機から給電する外部機器の消費電流を除く	
表 示 部	英数字（18文字）、レベル表示（8入力、モニター）、各種状態表示、電源表示灯、STANDBY 表示灯、CPU OFF 表示灯	
操 作 部	機能キー、入力音量つまみ、チャンネルキー、モニター音量つまみ、モニター ON/OFF キー、メニュー画面操作キー 5 種	
オ ー デ ィ オ 入 力	8 入力、モジュール式（最大 4 モジュール、別売）、 内蔵スピーカーによるモニター可能	
オ ー デ ィ オ 入 力 特 性	サンプリング周波数：48 kHz	
リ モ ー ト マ イ ク 接 続 台 数	最大 8 台	
リ モ ー ト マ イ ク 給 電	合計 8 A まで可能	
S X リ ン ク	ネ ッ ト ワ ー ク I / F	100BASE-TX の 2 系統、RJ45 コネクター、分散配置可能
	接 続 線 / デ バ イ ス	シールド付き LAN 用カテゴリ 5 ツイストペアケーブル（CAT5-STP） スイッチングハブを介して接続。 ※ このネットワークは他の LAN と完全に分離させる。 ※ スwitchングハブについては、当社営業所にお問い合わせください。
	最 大 延 長 距 離	100 m（本機～スイッチングハブ間）
ア ナ ロ グ リ ン ク	入 出 力 コ ネ ク タ ー	入力：1 系統、RJ45 コネクター 出力：1 系統、RJ45 コネクター
	接 続 線	シールド付き LAN 用カテゴリ 5 ツイストペアケーブル（CAT5-STP） （音声線 1 対 + CPU-OFF 線 1 対 + リセット / 起動制御線 1 対 + 確認線 1 対）
	最 大 総 延 長 距 離	800 m
使 用 温 度 範 囲	0～+40℃	
使 用 湿 度 範 囲	35～80% RH（ただし、結露がないこと）	
仕 上 げ	パネル：アルミ、黒（マンセル N1.0 近似色）、アルマイト染色 ケース：表面処理鋼板	
寸 法	482（幅）× 88.4（高さ）× 349（奥行）mm	
質 量	7 kg	

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

### ● 付属品

着脱式ターミナルプラグ（4P）…………… 1  
ラック取付ねじ（平座金付き）5×12…………… 4

### ● 別売品

RM モジュール …… : SX-200RM  
マイク / ラインインプットモジュール …… : D-921E、D-921F、D-922E、D-922F  
ステレオインプットモジュール …… : D-936R

※ 上記以外のモジュールは使用できません。

## ■ 音声入力ユニット SX-2100AI

電 源	適合電源：AD-011、AD-031B DC24 V（動作範囲：DC20～40 V）、2系統入力による電源2重化可能	
消 費 電 流	2.01 A 以下（電源動作範囲内での最大値） 1.50 A 以下（DC24 V 時） ※ ただし本機から給電する外部機器の消費電流を除く	
表 示 部	英数字（18文字）、レベル表示（8入力、モニター）、各種状態表示、電源表示灯、STANDBY 表示灯、CPU OFF 表示灯	
操 作 部	機能キー、入力音量つまみ、チャンネルキー、モニター音量つまみ、モニター ON/OFF キー、メニュー画面操作キー 5種	
オ ー デ ィ オ 入 力	8入力、モジュール式（最大4モジュール、別売）、 内蔵スピーカーによるモニター可能	
オ ー デ ィ オ 入 力 特 性	サンプリング周波数：48 kHz	
リ モ ー ト マ イ ク 接 続 台 数	最大8台	
リ モ ー ト マ イ ク 給 電	合計8 A まで可能	
S X リ ン ク	ネ ッ ト ワ ー ク I / F	100BASE-TX の 2 系統、RJ45 コネクター、分散配置可能
	接 続 線 / デ バ イ ス	シールド付き LAN 用カテゴリ 5 ツイストペアケーブル（CAT5-STP） スイッチングハブを介して接続。 ※ このネットワークは他の LAN と完全に分離させる。 ※ スwitchングハブについては、当社営業所にお問い合わせください。
	最 大 延 長 距 離	100 m（本機～スイッチングハブ間）
ア ナ ロ グ リ ン ク	入 出 力 コ ネ ク タ ー	入力：1系統、RJ45 コネクター 出力：1系統、RJ45 コネクター
	接 続 線	シールド付き LAN 用カテゴリ 5 ツイストペアケーブル（CAT5-STP） （音声線 1 対 + CPU-OFF 線 1 対 + リセット / 起動制御線 1 対 + 確認線 1 対）
	最 大 総 延 長 距 離	800 m
制 御 入 力	16入力、無電圧メイク接点入力、開放電圧：DC40 V 以下、短絡電流：2 mA フォトカプラー入力、着脱式ターミナルブロック（16P）	
制 御 出 力	16出力、a 接点（b 接点にも変更可能）、無電圧メイク接点出力：リレー接点出力 （耐電圧：DC40 V、制御電流：2～300 mA）、着脱式ターミナルブロック（16P）	
使 用 温 度 範 囲	0～+40℃	
使 用 湿 度 範 囲	35～80% RH（ただし、結露がないこと）	
仕 上 げ	パネル：アルミ、黒（マンセル N1.0 近似色）、アルマイト染色 ケース：表面処理銅板	
寸 法	482（幅）× 88.4（高さ）× 349（奥行）mm	
質 量	7.2 kg	

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

### ● 付属品

着脱式ターミナルプラグ（4P）…………… 1  
 着脱式ターミナルプラグ（16P）…………… 4  
 ラック取付ねじ（平座金付き）5×12…………… 4

### ● 別売品

RM モジュール …… : SX-200RM  
 マイク / ラインインプットモジュール …… : D-921E、D-921F、D-922E、D-922F  
 ステレオインプットモジュール …… : D-936R

※ 上記以外のモジュールは使用できません。

# ■ 音声出力ユニット SX-2000AO

電 源	適合電源：AD-011、AD-031B DC24 V（動作範囲：DC20～40 V）2系統入力による電源2重化可能	
消 費 電 流	1.2 A 以下（電源動作範囲での最大値） 0.79 A 以下（DC24 V 時） ※ ただし本機から給電する外部機器の消費電流を除く	
表 示 ・ 操 作	英数字（18文字）、レベル表示（8出力、モニター）、各種状態表示、電源表示灯、STANDBY表示灯、CPU OFF表示	
操 作 部	機能キー、出力音量つまみ、チャンネルキー、モニター音量つまみ、モニターON/OFFキー、メニュー画面操作キー5種	
オ ー デ ィ オ 出 力	8出力、0 dB*、適合負荷600 Ω以上、電子バランス（トランス出力に変更可能） 着脱式ターミナルブロック（12P）、内蔵スピーカーによるモニター可能	
オ ー デ ィ オ 出 力 特 性	周波数特性：20～20,000 Hz サンプリング周波数：48 kHz DAコンバーター：24 bit	
非 常 音 声 入 力	1入力（H、C、E）、リレーによる信号切換方式、着脱式ターミナルブロック（3P） 電源または非常断24 V入力が遮断したときに非常音声入力がすべての音声出力端子から出力されます。	
非 常 断 24 V 入 力	1入力、入力電流5 mA以下、着脱式ターミナルブロック（2P） DIPスイッチによりキャンセル可能	
SX リンク	ネットワークI/F	100BASE-TXの2系統、RJ45コネクタ、分散配置可能
	接続線/デバイス	シールド付きLAN用カテゴリ5ツイストペアケーブル（CAT5-STP） スイッチングハブを介して接続。 ※ このネットワークは他のLANと完全に分離させる。 ※ スwitchングハブについては、当社営業所にお問い合わせください。
	最大延長距離	100 m（本機～スイッチングハブ間）
アナログ リンク	入出力コネクタ	入力：1系統、RJ45コネクタ 出力：1系統、RJ45コネクタ
	接 続 線	シールド付きLAN用カテゴリ5ツイストペアケーブル（CAT5-STP）
	最大総延長距離	800 m
CI/CO リンク	適合ユニット	SX-2000CIまたはSX-2000CO
	コネクタ	1系統、RJ45コネクタ
	接 続 線	シールド付きLAN用カテゴリ5ツイストペアケーブル（CAT5-STP）
	最大延長距離	800 m
制 御 入 力	8入力、無電圧メイク接点入力、開放電圧：DC40 V以下、短絡電流：2 mA フォトカプラー入力、着脱式ターミナルブロック（6P）	
制 御 出 力	8出力、c接点、無電圧メイク接点出力：リレー接点出力（耐電圧：DC40 V、 制御電流：2～300 mA）、着脱式ターミナルブロック（6P）	
使 用 温 度 範 囲	0～+40℃	
使 用 湿 度 範 囲	35～80% RH（ただし、結露がないこと）	
仕 上 げ	パネル：アルミ、黒（マンセルN1.0近似色）、アルマイト染色 ケース：表面処理鋼板	
寸 法	482（幅）× 88.4（高さ）× 349（奥行）mm	
質 量	6.2 kg	

\* 0 dB = 1 V

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ● 付属品

着脱式ターミナルプラグ（12P）	2	着脱式ターミナルプラグ（3P）	1
着脱式ターミナルプラグ（6P）	8	着脱式ターミナルプラグ（2P）	1
着脱式ターミナルプラグ（4P）	1	ラック取付ねじ（平座金付き）5×12	4

## ● 別売品

平衡型トランス：IT-450

## ■ 制御入力ユニット SX-2000CI

電	源	適合電源：AD-011、AD-031B DC24 V（動作範囲：DC20～40 V）2系統入力による電源2重化可能				
消	費	電	流	0.7 A以下（電源動作範囲での最大値） 0.55 A以下（DC24 V時）		
表	示	部	電源表示灯、制御入力表示灯、CPU OFF表示灯、FAULT表示灯			
制	御	入	力	32入力、無電圧メイク接点入力、開放電圧：DC24 V、短絡電流：2 mA フォトカプラー入力、着脱式ターミナルブロック（16P）		
制御入力配線の故障検出部		ノンアクティブ状態にするための接続抵抗値：20 kΩ±5% アクティブ状態にするための接続抵抗値：10 kΩ±5% 接続線：ツイストペアケーブル（シールド付きを推奨） 最大延長距離：10 m				
CI/CO リンク	入出力コネクタ	入力：1系統、RJ45コネクタ 出力：1系統、RJ45コネクタ				
	接 続 線	シールド付きLAN用カテゴリ5ツイストペアケーブル（CAT5-STP） （データ線1対＋制御線1対）				
	最大延長距離	800 m				
DC24 V 出力部	コネクタ	着脱式ターミナルブロック（2P）				
	最大給電電流	100 mA				
	出力電圧	DC 24 V±10%以内				
使	用	温	度	範	囲	0～+40℃
使	用	湿	度	範	囲	35～80% RH（ただし、結露がないこと）
仕	上	げ	パネル：アルミ、黒（マンセルN1.0近似色）、アルマイト染色 ケース：表面処理鋼板			
寸	法	482（幅）×44（高さ）×331.5（奥行）mm				
質	量	3.6 kg				

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

### ● 付属品

着脱式ターミナルプラグ（16P）	4
着脱式ターミナルプラグ（4P）	1
着脱式ターミナルプラグ（2P）	1
ラック取付ねじ（平座金付き）5×12	4

## ■ 制御出力ユニット SX-2000CO

電	源	適合電源：AD-011、AD-031B DC24 V（動作範囲：DC20～40 V）2系統入力による電源2重化可能				
消	費	電	流	0.34 A 以下（電源動作範囲での最大値） 0.29 A 以下（DC24 V時）		
表	示	部	電源表示灯、制御出力表示灯、CPU OFF 表示灯、FAULT 表示灯			
制	御	出	力	32 出力、無電圧メイク接点出力、リレー接点出力（耐電圧：DC40 V、 制御電流：2～300 mA）、着脱式ターミナルブロック（6P）		
CI/CO リンク	入出力コネクタ	入力：1系統、RJ45 コネクタ 出力：1系統、RJ45 コネクタ				
	接 続 線	シールド付き LAN 用カテゴリ 5 ツイストペアケーブル（CAT5-STP） （データ線 1 対 + 制御線 1 対）				
	最大延長距離	800 m				
使	用	温	度	範	囲	0～+40℃
使	用	湿	度	範	囲	35～80% RH（ただし、結露がないこと）
仕	上	げ	パネル：アルミ、黒（マンセル N1.0 近似色）、アルマイト染色 ケース：表面処理銅板			
寸	法	482（幅）× 44（高さ）× 331.5（奥行）mm				
質	量	3.6 kg				

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

### ● 付属品

着脱式ターミナルプラグ（6P）	.....	16
着脱式ターミナルプラグ（4P）	.....	1
ラック取付ねじ（平座金付き）5×12	.....	4

## ■ リモートマイク RM-200SA

電 源	DC24 V (動作範囲：DC15～40 V、SX-200RM から供給) DC入力電源コネクタから供給可能 (適合電源：AD-246、別売品) 適合 DC 電源プラグ：外径 5.5 mm、内径 2.1 mm、長さ 9.5 mm、無極性
消 費 電 流	240 mA 以下
音 声 出 力	0 dB*、600 Ω 以上、平衡
外 部 マ イ ク 入 力	-40 dB*、2.2 kΩ 以上、不平衡、ミニジャック
歪 率	1%以下
周 波 数 特 性	100～20,000 Hz
S / N 比	60 dB 以上
マ イ ク ロ ホ ン	単一指向性エレクトレットコンデンサマイクrohン、AGC 付き (ON/OFF 可能)
チ ャ イ ム	内蔵 (PCM 音源)、内蔵スピーカーによりモニター可能
調 節 器	マイク感度調節器、モニタースピーカー音量調節器、 チャイム (SX-2000 設定ソフトウェアで調節)
接 続 線	幹線：シールド付き CPEV 線 (音声線 1 対 + データ線 1 対 + モニター/制御線 1 対 + 電源線 1 対) または シールド付き LAN 用カテゴリ 5 ツイストペアケーブル (CAT5-STP) 支線：シールド付き LAN 用カテゴリ 5 ツイストペアケーブル (CAT5-STP)、RJ45 コネクタ
最 大 延 長 距 離	800 m
拡 張 ユ ニ ッ ト 接 続 数	最大 4 台
モ ニ タ ー ス ピ ー カ ー	内蔵
操 作 部	機能キー、カバー付きキー、トークキー
表 示 部	電源表示灯、異常表示灯、状態表示灯、選択表示灯、マイク表示灯
使 用 温 度 範 囲	0～+40℃
使 用 湿 度 範 囲	35～80% RH (ただし、結露がないこと)
仕 上 げ	ABS 樹脂、ブルーグレー (マンセル 6.4PB 8.0/0.5 近似色)
寸 法	190 (幅) × 76.5 (高さ) × 215 (奥行) mm (マイクロホン含まず)
質 量	880 g

\* 0 dB = 1 V

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

### ● 別売品

AC アダプター：AD-246

壁取付金具：WB-RM200

## ■ リモートマイク拡張ユニット RM-210

電 源	親リモートマイクより供給
消 費 電 流	80 mA 以下（親リモートマイクの DC 入力での増加分）
操 作 部	機能キー
表 示 部	放送状態表示灯、選択表示灯
仕 上 げ	ABS 樹脂、ブルーグレー（マンセル 6.4PB 8.0/0.5 近似色）
寸 法	110（幅）× 76.5（高さ）× 215（奥行）mm
質 量	350 g

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

### ● 付属品

接続ケーブル（8P、8 cm）	1	連結用金具 B	1
連結用金具 A	2	連結ねじ	12

### ● 別売品

壁取付金具：WB-RM200

## ■ RJ45 端子盤 RM-200RJ

印 加 電 圧	40 V 以下
耐 電 流	1 A
電 圧 表 示 部	監視端子：7 番端子（+）と 8 番端子（-）、消灯電圧：14 V 以下、点灯電圧：21 V 以上、スイッチにより切り離し可能
コ ネ ク タ ー	RJ45 コネクター×1
端 子 台	M3 ねじ端子（10P）、バリアー間隔：6.62 mm
使 用 温 度 範 囲	0～+40℃
使 用 湿 度 範 囲	35～80% RH（ただし結露のないこと）
仕 上 げ	表面処理鋼板、黒（マンセル N1.0 近似色）、塗装
寸 法	84（幅）× 116（高さ）× 25.7（奥行）mm
質 量	250 g

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ■ RM モジュール SX-200RM

オ ー デ ィ オ 入 力	2 入力、0 dB*、RJ45 コネクター
オ ー デ ィ オ 入 力 特 性	サンプリング周波数：48 kHz AD コンバーター：24 bit
給 電	コネクターにつき最大 1 A
調 節 器	オーディオ入力（0～+12 dB）
仕 上 げ	パネル：プレコート鋼板、黒（マンセル N1.0 近似色）、3 分艶
寸 法	35（幅）× 119.5（高さ）× 178.4（奥行）mm
質 量	190 g

\* 0 dB = 1 V

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ■ マイク/ラインインプットモジュール D-921E

入 力	2チャンネルマイク/ライン切換式 マイク：-50/-36 dB*、4.7 kΩ、電子バランス、着脱式ターミナルブロック (3P) ライン：-10/+4 dB*、10 kΩ、電子バランス、着脱式ターミナルブロック (3P) ファンタム電源供給 (12 V、マイクに設定時使用可) グラウンドリフトスイッチ
A D コ ン バ ー タ ー	24 bit
サンプリング周波数	48 kHz
周 波 数 特 性	20～20,000 Hz、±1 dB (+4 dB*入力)
ダイナミックレンジ	100 dB (JIS-A) 以上 (+4 dB*入力)
全 高 調 波 歪 率	0.05%以下 (+4 dB*入力)
仕 上 げ	パネル：プレコート鋼板、黒 (マンセルN1.0近似色)、3分艶
寸 法	35 (幅) × 119.5 (高さ) × 178.4 (奥行) mm
質 量	140 g

\* 0 dB = 0.775 V

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

### ● 付属品

着脱式ターミナルプラグ (3P)、本体取付済み …………… 2

## ■ マイク/ラインインプットモジュール D-921F

入 力	2チャンネル、マイク/ライン切換式 マイク：-50/-36 dB*、4.7 kΩ、電子バランス、XLR-3-31 相当品 ライン：-10/+4 dB*、10 kΩ、電子バランス、XLR-3-31 相当品 ファンタム電源供給 (12 V、マイクに設定時使用可) グラウンドリフトスイッチ
A D コ ン バ ー タ ー	24 bit
サンプリング周波数	48 kHz
周 波 数 特 性	20～20,000 Hz、±1 dB (+4 dB*入力)
ダイナミックレンジ	100 dB (JIS-A) 以上 (+4 dB*入力)
全 高 調 波 歪 率	0.05%以下 (+4 dB*入力)
仕 上 げ	パネル：プレコート鋼板、黒 (マンセルN1.0近似色)、3分艶
寸 法	35 (幅) × 119.5 (高さ) × 178.4 (奥行) mm
質 量	150 g

\* 0 dB = 0.775 V

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ■ マイク/ラインインプットモジュール D-922E

入 力	2チャンネル、-50/-36/-10/+4 dB* (DIPスイッチで切り換え)、4.7 kΩ、電子バランス、着脱式ターミナルブロック (3P) ファンタム電源供給 (12 V、DIPスイッチで設定) グラウンドリフトスイッチ (DIPスイッチで設定)
A D コ ン バ ー タ ー	20 bit
サンプリング周波数	48 kHz
周 波 数 特 性	20～20,000 Hz、±1 dB (+4 dB*入力)
ダイナミックレンジ	85 dB (JIS-A) 以上 (+4 dB*入力)
全 高 調 波 歪 率	0.2%以下 (+4 dB*入力)
仕 上 げ	パネル：プレコート鋼板、黒 (マンセルN1.0近似色)、3分艶
寸 法	35 (幅) × 119.5 (高さ) × 178.4 (奥行) mm
質 量	125 g

\* 0 dB = 0.775 V

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

### ● 付属品

着脱式ターミナルプラグ (3P)、本体取付済み …………… 2

## ■ マイク/ラインインプットモジュール D-922F

入 力	2チャンネル、-50/-36/-10/+4 dB* (DIPスイッチで切り換え)、4.7 kΩ、電子バランス、XLR-3-31 相当品 ファンタム電源供給 (12 V、DIPスイッチで設定) グラウンドリフトスイッチ (DIPスイッチで設定)
A D コ ン バ ー タ ー	20 bit
サンプリング周波数	48 kHz
周 波 数 特 性	20～20,000 Hz、±1 dB (+4 dB*入力)
ダイナミックレンジ	85 dB (JIS-A) 以上 (+4 dB*入力)
全 高 調 波 歪 率	0.2%以下 (+4 dB*入力)
仕 上 げ	パネル：プレコート鋼板、黒 (マンセルN1.0近似色)、3分艶
寸 法	35 (幅) × 119.5 (高さ) × 178.4 (奥行) mm
質 量	135 g

\* 0 dB = 0.775 V

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ■ ステレオインプットモジュール D-936R

入 力	モノラル×2、-10 dB*、10 kΩ、RCAピンジャック
A D コ ン バ ー タ ー	24 bit
サンプリング周波数	48 kHz
周 波 数 特 性	20～20,000 Hz、±1 dB (+4 dB*入力)
ダイナミックレンジ	100 dB (JIS-A) 以上
全 高 調 波 歪 率	0.05%以下
仕 上 げ	パネル：プレコート鋼板、黒（マンセルN1.0近似色）、3分艶
寸 法	35（幅）×119.5（高さ）×178.4（奥行）mm
質 量	145 g

\* 0 dB = 0.775 V

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ■ スマートマトリクスIPモジュール SX-200IP

ネ ッ ト ワ ー ク 部	ネットワークI/F : 10BASE-T/100BASE-TX 自動切り換え ネットワークプロトコル : TCP/IP、UDP、ARP、ICMP、HTTP、RTP、IGMP 接続コネクタ : RJ-45 コネクタ 音声サンプリング周波数 : 16 kHz、8 kHz（ソフトウェア切換式）、SX-2000 システムのみ 48 kHz にサンプリング周波数変換 量子化ビット数 : 16 ビット 音声符号化方式 : Sub-band ADPCM、暗号化 音声パケット欠落補正 : 無音挿入 音声遅延時間 : 80 ms、320 ms（ソフトウェア切換式）
表 示	RUN 表示灯
使 用 温 度 範 囲	0～40℃
使 用 湿 度 範 囲	90% RH 以下（ただし結露のないこと）
仕 上 げ	パネル：プレコート鋼板、黒（マンセルN 1.0 近似色）、3分艶
寸 法	35（幅）×119.5（高さ）×178.4（奥行）mm
質 量	150 g

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

<b>TOA お客様相談センター</b>	フリーダイヤル <b>0120-108-117</b> ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00～17:00（土日、祝日除く）		

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

133-02-00448-00